

四街道市市民意識調査 報告書

【平成28年11月実施】

平成29年3月

四街道市

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査項目	2
4. 回収率	2
5. 報告書を読む際の注意事項	2
6. 四街道市内の地区区分	4
II. 調査結果	5
1. 回答者属性	6
(1) 性別	6
(2) 年代	6
(3) 居住地区	7
(4) 家族構成	8
(5) 同居家族	8
(6) 職業	9
(7) 勤務地（通学地）	9
(8) 居住年数	10
(9) 居住形態	10
2. 四街道市の住み心地について	11
(1) 住み良さに対する意識	11
(2) 定住意識	13
(3) 住み続けたい理由	16
(4) 移転したい理由	20
(5) 四街道市を好きと感じているか	24
3. 日常生活の活動について	25
(1) 日常生活で主に利用している市町村	25
4. 四街道市のまちづくりについて	31
(1) 施策の取組状況に対する現在の満足度及び今後の重要度	31
(2) 施策分野別の調査結果	38
5. 今後の人口減少を緩やかにする取組について	84
(1) 人口減少の見通しを知っていたか	84
(2) 人口減少社会に対応する取組について	86
(3) 四街道市の魅力について	106
(4) 四街道市をもっと魅力的にするモノ・コトについて	109
III. アンケート票サンプル	116

I . 調査の概要

1. 調査の目的

平成31年度を開始年度とする総合計画（後期基本計画）策定に向けて、市民の意向を把握することにより、四街道市の現状及び課題を抽出し、行政運営方針や計画立案のための基礎資料とすることを目的とします。

2. 調査方法

- ・ 調査区域 四街道市全域
- ・ 調査対象 四街道市内に居住する満18歳以上の男女
- ・ 標本数 3,000人
- ・ 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ・ 調査方法 郵送による
- ・ 調査期間 平成28年11月14日～11月28日

3. 調査項目

- ・ 四街道市の住み心地について
- ・ 日常生活の活動について
- ・ 四街道市のまちづくりについて
- ・ 今後の人口減少を緩やかにする取組について

4. 回収率

- ・ 設計標本数 3,000人
- ・ 有効回収標本数 1,549人
- ・ 有効回答率 51.6%

5. 報告書を読む際の注意事項

- ・ アンケート集計は、各設問の単純集計と平成18年調査、平成21年調査、平成23年調査との時系列比較並びに設問の特性に応じ、性別、年代、居住地区、居住年数と各設問間とのクロス集計を行っています。
- ・ 表中の比率（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しています。したがって、率の合計値が100％にならない場合があります。
- ・ 複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出しています。したがって、率の合計値が100％にならない場合があります。
- ・ 標本誤差について、今回の無作為抽出法による調査の場合は、ここで出された数値（％）をそのまま18歳以上の全市民の回答として単純に置き換えると、多少の誤差が生じます。統計学的には、次式で標本差を計算して、18歳以上の全市民の回答を推測します（信頼度95％）。

図 標本誤差の算定式

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数 (77,215 人*)

* 平成 28 年 11 月 1 日現在の 18 歳以上住民基本台帳人口

n = 比率算出の基数

P = 回答比率

表 今回の意識調査 (n=1,549) における回答比率別標本誤差

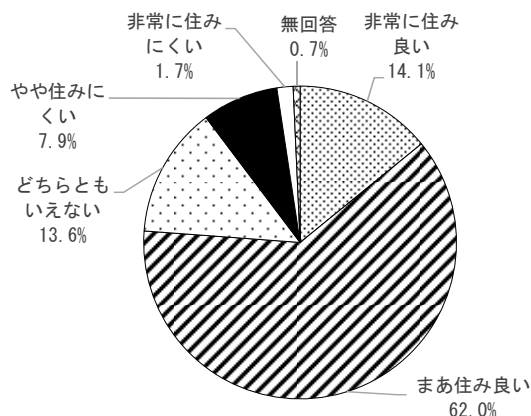
回答比率	標本誤差
10%または 90%	±1.5%
20%または 80%	±2.0%
30%または 70%	±2.3%
40%または 60%	±2.5%
50%	±2.5%

〈参考例：「問 1」の単純集計結果〉

問 1 あなたにとって、四街道市は、住み良いところですか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。

(回答結果)

1. 非常に住み良い (14.1%)
2. まあ住み良い (62.0%)
3. どちらともいえない (13.6%)
4. やや住みにくい (7.9%)
5. 非常に住みにくい (1.7%)



1. 「非常に住み良い」(14.1%) の場合

- * 14.1% (回答の比率 P) を前表で最も近い回答比率の 10% とすると、その標準誤差は「±1.5%」存在することになる。
- * したがって、18 歳以上全市民の中には、「1. 非常に住み良い」と回答する人が、12.6% ~ 15.6% (14.1% ± 1.5%) の範囲内において存在するものと推定される。

2. 「まあ住み良い」(62.0%) の場合

- * 62.0% (回答の比率 P) を前表で最も近い回答比率の 60% とすると、その標準誤差は「±2.5%」存在することになる。
- * したがって、18 歳以上全市民の中には、「2. まあ住み良い」と回答する人が、59.5% ~ 64.5% (62.0% ± 2.5%) の範囲内において存在するものと推定される。

6. 四街道市内の地区区分

本調査における四街道市内の地区区分を下表のとおりとし、調査結果の分析ではこの6地区による集計を行うものとします。

表 四街道市地区区分

地区名	地域名
地区A	亀崎、物井、長岡、千代田、池花、もねの里
地区B	栗山、内黒田、萱橋、大日（緑ヶ丘、桜ヶ丘以外）、つくし座、さちが丘
地区C	下志津新田、四街道、大日（緑ヶ丘、桜ヶ丘）、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央
地区D	鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘、めいわ
地区E	山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘、みそら
地区F	吉岡、鷹の台

II. 調查結果

1. 回答者属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が45.6%、「女性」が54.0%となっています。

図 回答者の性別

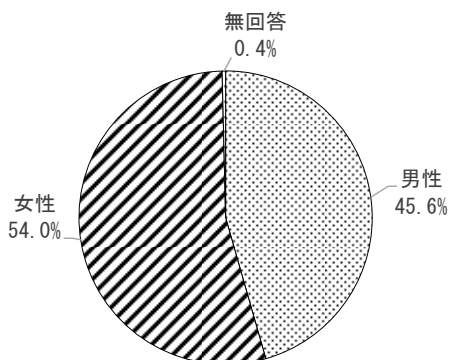


表 回答者の性別

性別	回答者数 (人)	構成比 (%)
男性	706	(45.6)
女性	837	(54.0)
無回答	6	(0.4)
合計	1,549	(100.0)

(2) 年代

回答者の年代区分は、「70歳代以上」が28.8%と最も高く、次いで「60歳代」22.3%、「40歳代」16.7%、「50歳代」13.1%、「30歳代」12.2%、「20歳代以下」6.5%となっています。

図 回答者の年代

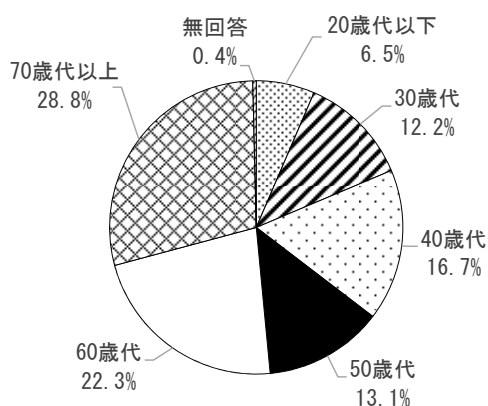


表 回答者の年代

年代	回答者数 (人)	構成比 (%)
20歳代以下	100	(6.5)
30歳代	189	(12.2)
40歳代	259	(16.7)
50歳代	203	(13.1)
60歳代	346	(22.3)
70歳代以上	446	(28.8)
無回答	6	(0.4)
合計	1,549	(100.0)

(3) 居住地区

回答者の居住地域は、下表に示すとおりとなっています。回答者数は、地区Cが最も多く、地区Fが最も少なくなっています。

表 回答者の居住地区

地区	居住地域	回答者数 (人)	構成比 (%)
地区A n=235 15.2%	亀崎・物井・長岡	31	(2.0)
	千代田	136	(8.8)
	池花	32	(2.1)
	もねの里	36	(2.3)
地区B n=257 16.6%	栗山・内黒田・萱橋	100	(6.5)
	大日(緑ヶ丘、桜ヶ丘以外)	90	(5.8)
	つくし座	44	(2.8)
	さちが丘	23	(1.5)
地区C n=413 26.7%	下志津新田	57	(3.7)
	四街道	123	(7.9)
	大日(緑ヶ丘、桜ヶ丘)	188	(12.1)
	鹿放ヶ丘	15	(1.0)
	さつきヶ丘	10	(0.6)
	中央	20	(1.3)
地区D n=370 23.9%	鹿渡	84	(5.4)
	和良比	122	(7.9)
	みのり町	9	(0.6)
	美しが丘	52	(3.4)
	めいわ	103	(6.6)
地区E n=190 12.3%	山梨	7	(0.5)
	小名木	11	(0.7)
	成山・中台・中野	4	(0.3)
	南波佐間・上野・和田	7	(0.5)
	旭ヶ丘	76	(4.9)
	みそら	85	(5.5)
地区F n=77 5.0%	吉岡	13	(0.8)
	鷹の台	64	(4.1)
無回答		7	(0.5)
合計		1,549	(100.0)

(4) 家族構成

回答者の家族構成は、「2世代世帯（親と子）」が50.5%で最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」30.6%、「一人暮らし」8.4%、「3世代世帯」7.2%、「その他の世帯」2.7%となっています。

図 回答者の家族構成

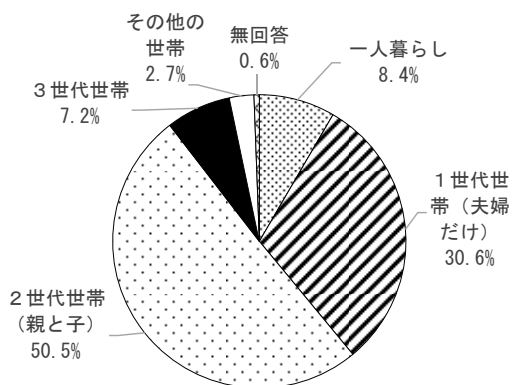


表 回答者の家族構成

家族構成	回答者数 (人)	構成比 (%)
一人暮らし	130	(8.4)
1世代世帯（夫婦だけ)	474	(30.6)
2世代世帯（親と子)	783	(50.5)
3世代世帯	111	(7.2)
その他の世帯	42	(2.7)
無回答	9	(0.6)
合計	1,549	(100.0)

(5) 同居家族

回答者の同居家族は、「65歳以上の家族がいる」が42.7%で最も高く、次いで「その他」21.9%、「小・中学生の子どもがいる」14.1%、「小学校入学前の子どもがいる」11.5%、「介護を必要とする家族がいる」5.7%となっています。

図 回答者の同居家族

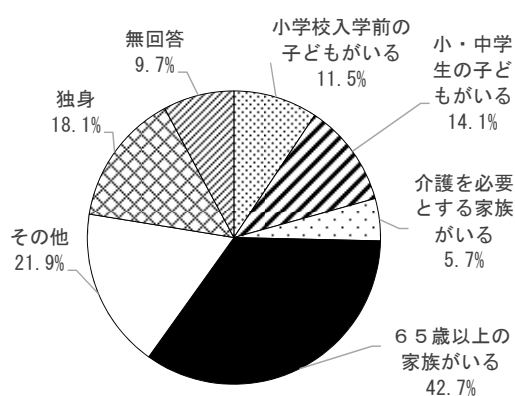


表 回答者の同居家族

同居家族	回答者数 (人)	構成比 (%)
小学校入学前の子どもがいる	178	(11.5)
小・中学生の子どもがいる	219	(14.1)
介護を必要とする家族がいる	89	(5.7)
65歳以上の家族がいる	662	(42.7)
その他	339	(21.9)
独身	280	(18.1)
無回答	150	(9.7)
合計	1,917	(123.8)
回答者数	1,549	(100.0)

(6) 職業

回答者の職業は、「正規雇用者（会社員・商店・医療施設等職員・サービス業・公務員など）」25.8%で最も高く、次いで「無職」24.7%、「専業主婦（夫）」20.2%、「アルバイト・パート」11.7%となっています。

図 回答者の職業

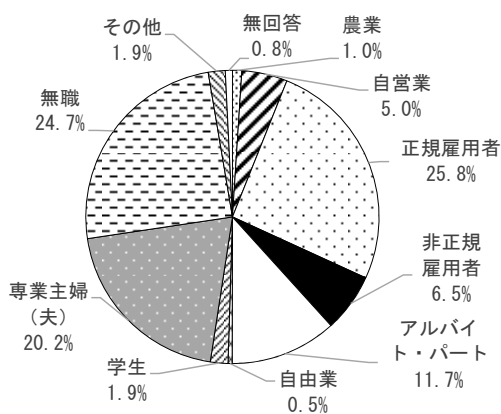


表 回答者の職業

職業	回答者数 (人)	構成比 (%)
農業	16	(1.0)
自営業	78	(5.0)
正規雇用者	399	(25.8)
非正規雇用者	100	(6.5)
アルバイト・パート	182	(11.7)
自由業	7	(0.5)
学生	30	(1.9)
専業主婦（夫）	313	(20.2)
無職	383	(24.7)
その他	29	(1.9)
無回答	12	(0.8)
合計	1,549	(100.0)

(7) 勤務地（通学地）

回答者の勤務地（通学地）は、「どこにも通勤（通学）していない」が31.5%で最も高く、次いで「千葉市」15.2%、「自宅以外の四街道市」11.4%、「東京都内」9.4%、「その他県内」9.2%となっており、最も低かったのは「県外（東京都以外）」となっています。

図 回答者の勤務地（通学地）

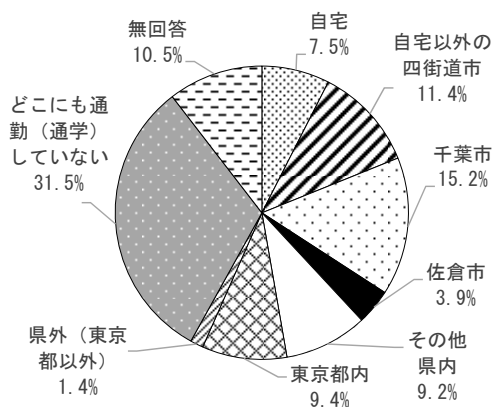


表 回答者の勤務地（通学地）

通勤地（通学地）	回答者数 (人)	構成比 (%)
自宅	116	(7.5)
自宅以外の四街道市	177	(11.4)
千葉市	236	(15.2)
佐倉市	61	(3.9)
その他県内	142	(9.2)
東京都内	145	(9.4)
県外（東京都以外）	22	(1.4)
通勤（通学）していない	488	(31.5)
無回答	162	(10.5)
合計	1,549	(100.0)

(8) 居住年数

回答者数の居住年数は、「30年以上」が39.2%で最も高く、次いで「20年以上30年未満」19.0%、「10年以上20年未満」17.6%、「5年以上10年未満」8.4%となっています。

図 回答者の居住年数

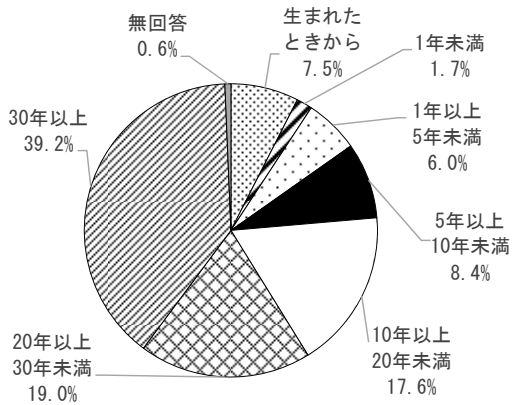


表 回答者の居住年数

居住年数	回答者数 (人)	構成比 (%)
生まれたときから	116	(7.5)
1年未満	27	(1.7)
1年以上5年未満	93	(6.0)
5年以上10年未満	130	(8.4)
10年以上20年未満	272	(17.6)
20年以上30年未満	294	(19.0)
30年以上	607	(39.2)
無回答	10	(0.6)
合計	1,549	(100.0)

(9) 居住形態

回答者の居住形態は、「一戸建て持ち家」が81.3%で最も高く、次いで「賃貸のマンション・アパート・テラスハウス」7.7%、「分譲のマンション・テラスハウス」6.6%となっています。

図 回答者の居住形態

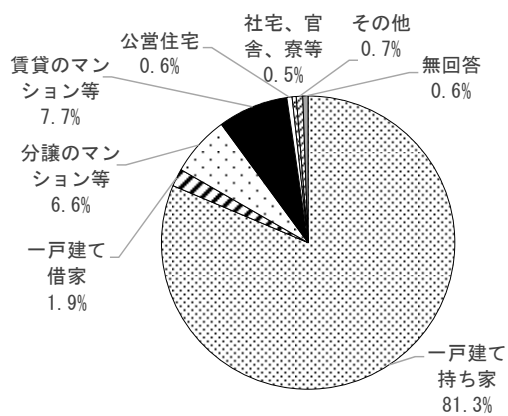


表 回答者の居住形態

居住形態	回答者数 (人)	構成比 (%)
一戸建て持ち家	1,260	(81.3)
一戸建て借家	30	(1.9)
分譲のマンション等	103	(6.6)
賃貸のマンション等	120	(7.7)
公営住宅	9	(0.6)
社宅、官舎、寮等	7	(0.5)
その他	11	(0.7)
無回答	9	(0.6)
合計	1,549	(100.0)

2. 四街道市の住み心地について

(1) 住み良さに対する意識

問1 あなたにとって、四街道市は、住み良いところですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

7割以上が、四街道市は“住み良い”と感じている

住み良さについてみると、「非常に住み良い」14.1%、「まあ住み良い」62.0%で、両者を合わせた76.1%が“住み良い”と感じています。一方、「やや住みにくい」は7.9%、「非常に住みにくい」は1.7%となっています。

これを平成23年調査の回答結果と比較すると、“住み良い”と回答した人の割合は1.9%増加し、“住みにくい”（「やや住みにくい」+「非常に住みにくい」）は1.1%減少しています。

図 住み良さに対する意識 (n=1,549)

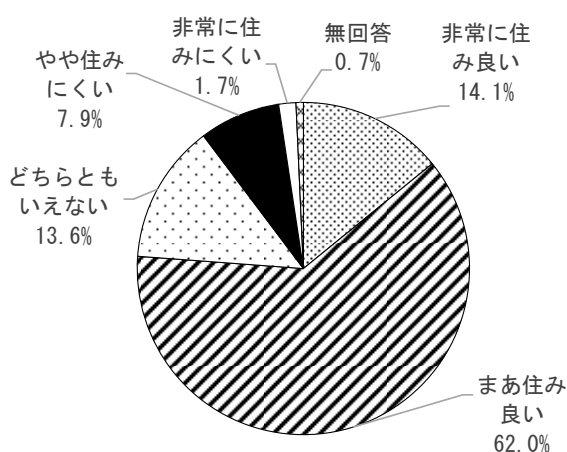
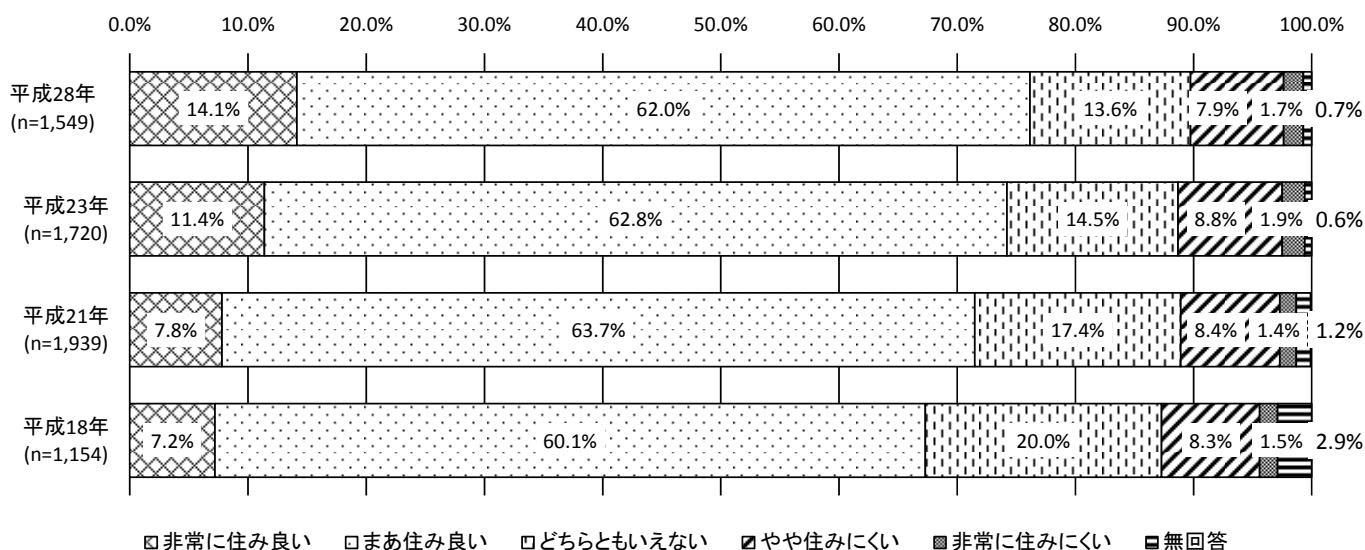


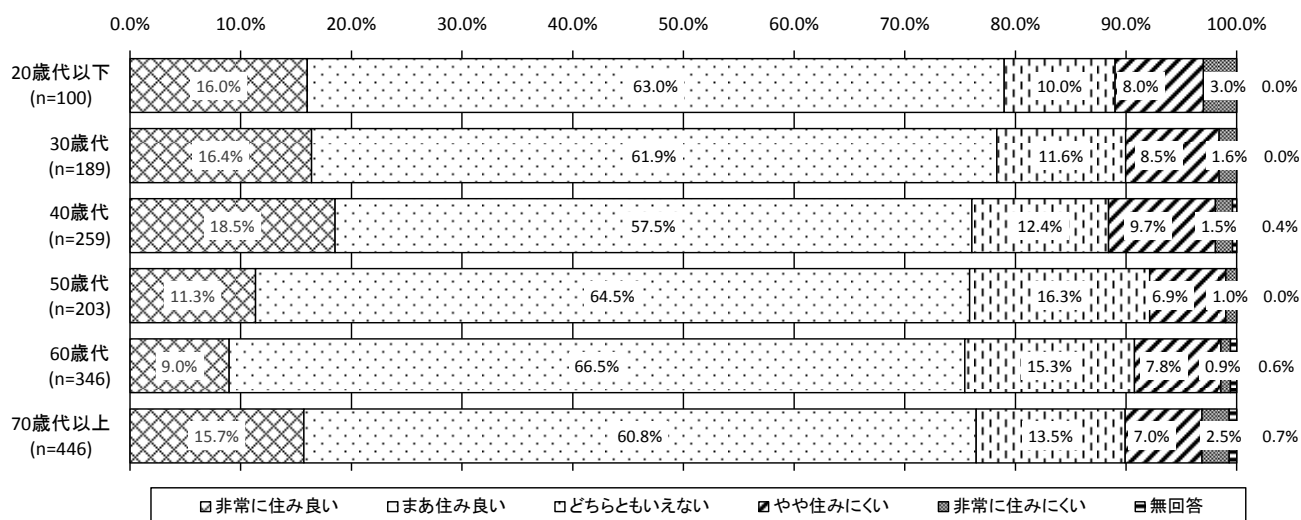
図 住み良さに対する意識【時系列】



【年代別】

すべての年代で“住み良い”と回答した人の割合が75%を超えています。

図 住み良さに対する意識【年代別】

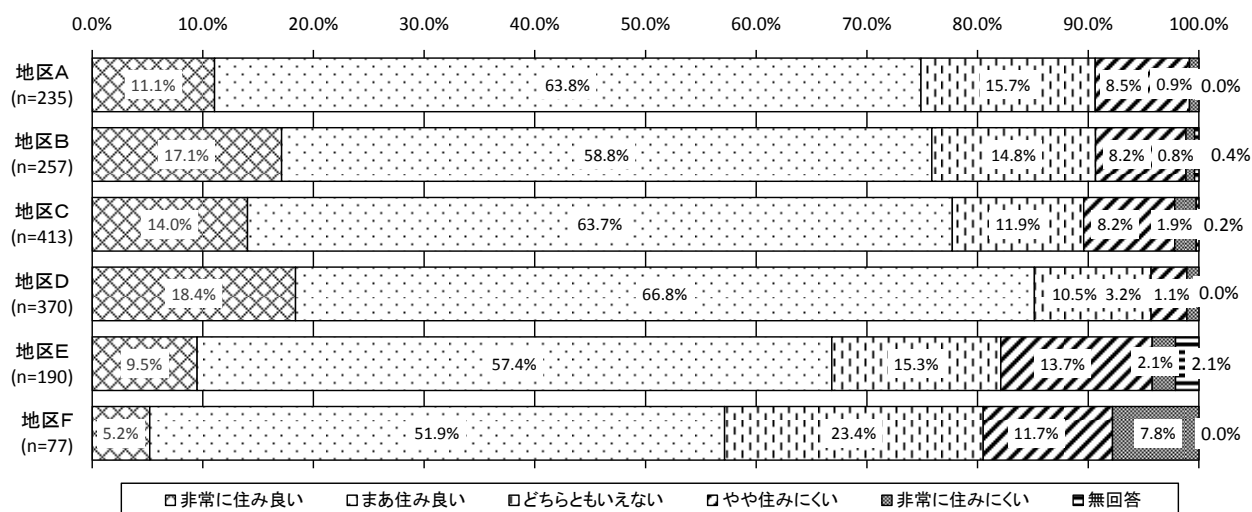


【居住地区別】

”住み良い”の割合が最も高いのは地区Dの85.2%となっており、次いで地区Cの77.7%、地区Bの75.9%の順となっています。

一方”住みにくい”の割合は、地区Fの19.5%が最も高く、次いで地区Eの15.8%、地区Cの10.1%の順となっています。

図 住み良さに対する意識【居住地区別】



(2) 定住意識

問2 あなたは、これからも四街道市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

“ずっと住み続けたい”という回答が過去と比べ増加

定住意識については、「ずっと住み続けたい」43.1%、「当分は住んでいたい」33.2%で、両者を合わせた76.3%が“住み続けたい”と回答しています。一方、「できれば移転したい」は7.9%、「すぐに移転したい」は0.6%となっています。

平成23年調査の回答結果と比較すると、“住み続けたい”と回答した人の割合は2.1%増加し、“移転したい”（「できれば移転したい」＋「すぐに移転したい」）と回答した人の割合は0.4%減少しています。

図 定住意識 (n=1,549)

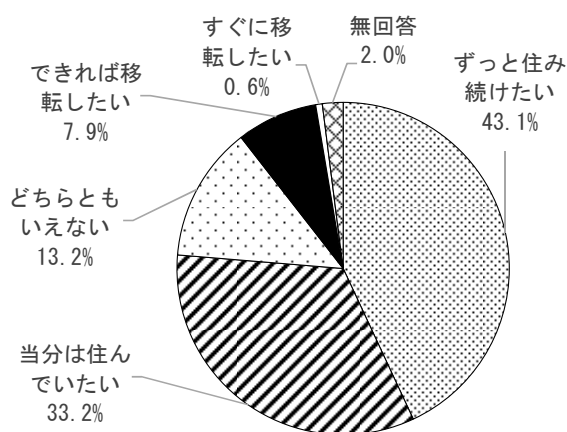


図 定住意識【時系列】

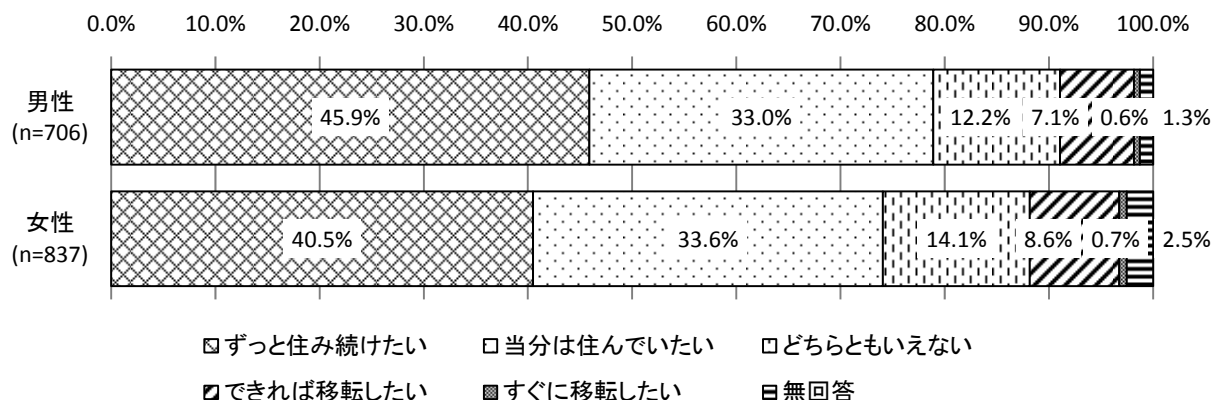


□ずっと住み続けたい □当分は住んでいたい □どちらともいえない ■できれば移転したい ■すぐに移転したい ■無回答

【性別】

“住み続けたい”と回答した人の割合は、男性が78.9%、女性が74.1%で、ほぼ同じとなっています。

図 定住意識【性別】

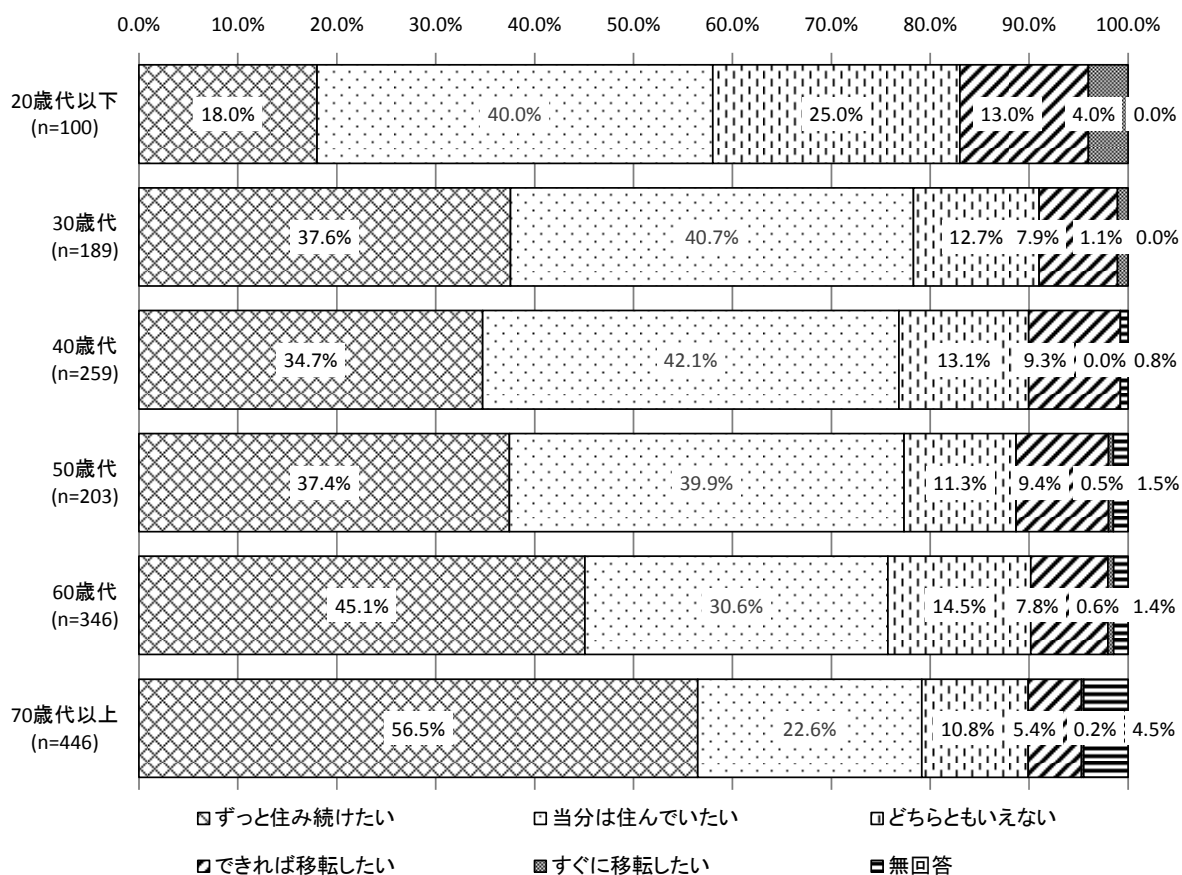


【年代別】

50歳代以下は「当分は住んでいたい」が最も高く、60歳代以上では「ずっと住み続けたい」が最も高くなっています。

“住み続けたい”と回答した人の割合は、30歳代～70歳代以上で75%を超えていますが、20歳代以下58.0%と定住意識が他の年代に比べ、やや低い結果となっています。

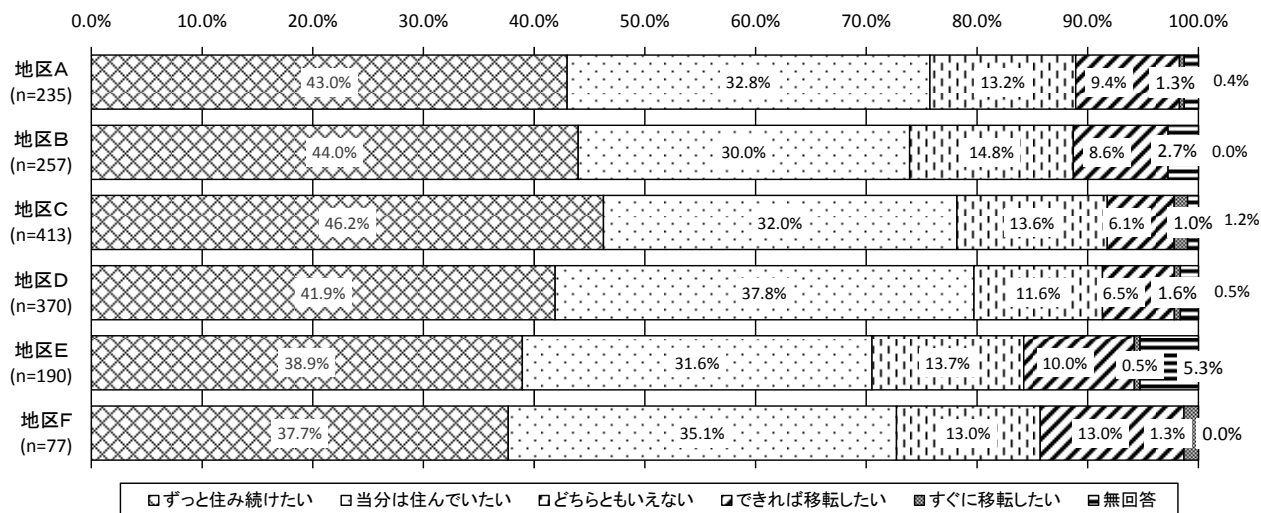
図 定住意識【年代別】



【居住地区別】

いずれの地区においても「ずっと住み続けたい」または「当分は住んでいたい」が第1位、第2位となっています。“住み続けたい”と回答した人の割合は、すべての地区で70%を超えています。

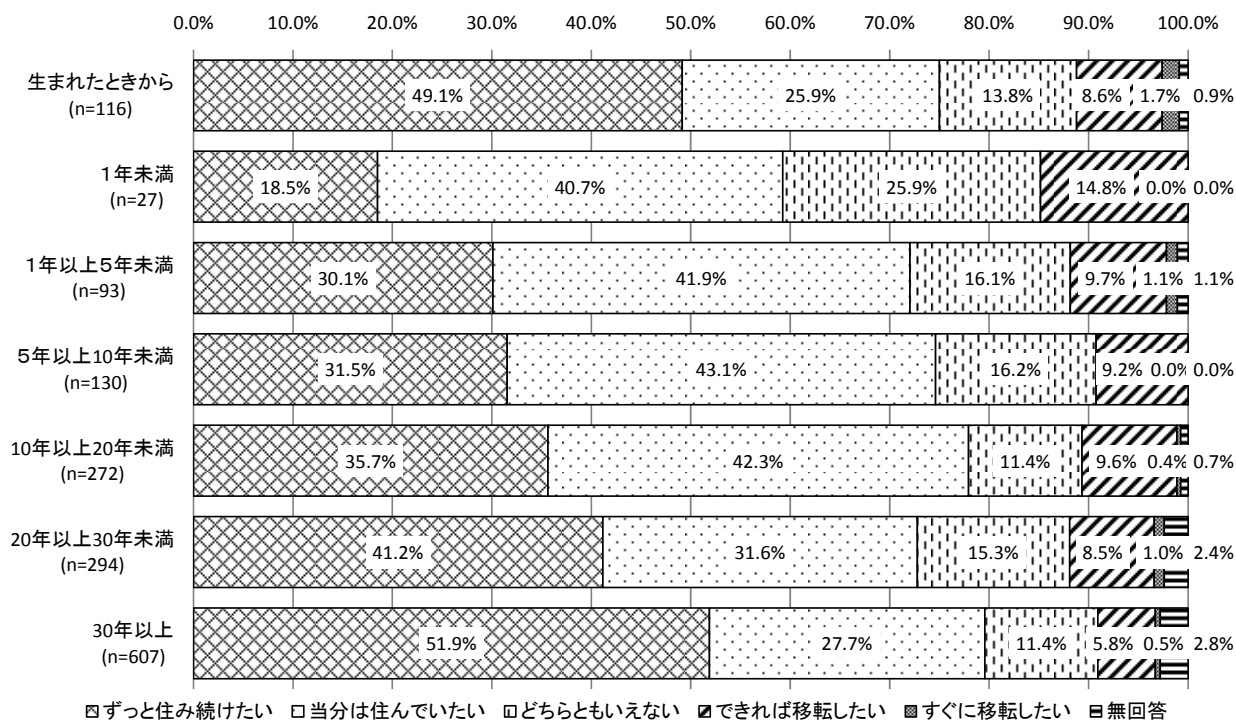
図 定住意識【居住地区別】



【居住年数別】

“住み続けたい”と回答した人の割合は「30年以上」79.6%が最も高く、次いで「10年以上20年未満」78.0%、「生まれたときから」75.0%「5年以上10年未満」74.6%、などとなっています。「30年以上」では50%以上が「ずっと住み続けたい」となっています。

図 定住意識【居住年数別】



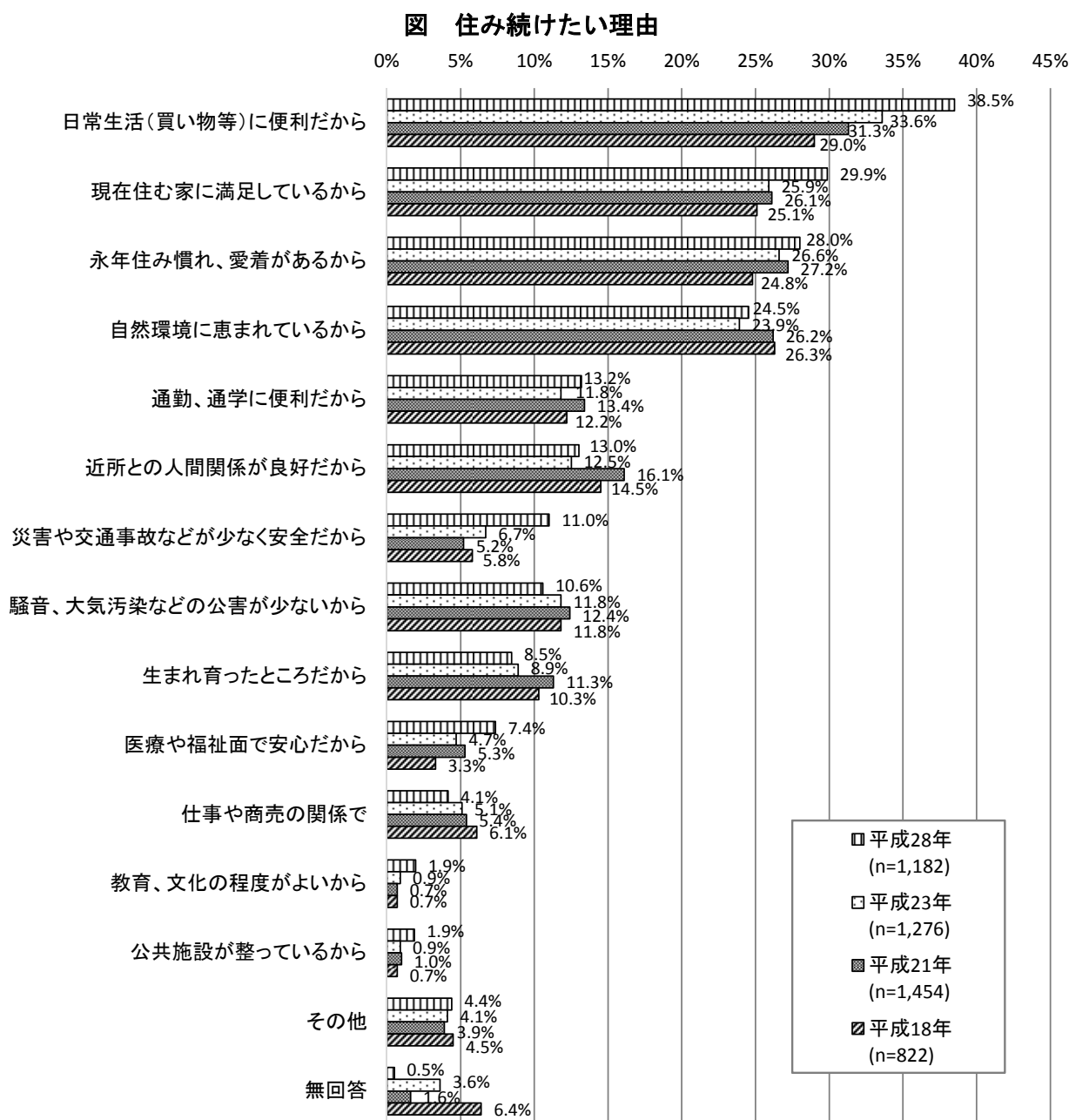
(3) 住み続けたい理由

問2-1 問2で「1」または「2」を選ばれた方におうかがいします。お答えの理由について、次の中からあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

■問2で「ずっと住み続けたい」、「当分は住んでいたい」を選ばれた方

「日常生活（買い物等）に便利だから」が約4割で第1位

住み続けたい理由は、「日常生活（買い物等）に便利だから」38.5%が最も高く、次いで「現在住む家に満足しているから」29.9%、「永年住み慣れ、愛着があるから」28.0%の順となっています。



◆住み続けたい理由（その他回答：52件）

件数	記述内容	主な回答
15件	人間関係	実家があるから、友達がいるから、親戚がいるから
13件	仕方なし	行くところがない、高齢だから、引っ越したばかり
6件	生活環境	都心に近いから、都会と田舎のバランスがよいから
4件	持ち家だから	—
3件	医療・福祉面	子どもの医療費の補助があるから

【年代別】

20歳代以下は「生まれ育ったところだから」、30～70歳代は「日常生活（買い物等）に便利だから」が最も回答が高くなっています。

表 住み続けたい理由【年代別】

	日常生活（買い物等）に便利だから	医療や福祉面で安心だから	通勤、通学に便利だから	自然環境に恵まれているから	騒音、大気汚染などの公害が少ないから	災害や交通事故などが少なく安全だから	公共施設が整っているから	教育、文化の程度がよいから
20歳代以下 (n=58)	20 (34.5)	2 (3.4)	12 (20.7)	10 (17.2)	6 (10.3)	7 (12.1)	0 (0.0)	1 (1.7)
30歳代 (n=148)	64 (43.2)	19 (12.8)	27 (18.2)	29 (19.6)	13 (8.8)	7 (4.7)	7 (4.7)	8 (5.4)
40歳代 (n=199)	87 (43.7)	17 (8.5)	55 (27.6)	42 (21.1)	21 (10.6)	20 (10.1)	3 (1.5)	8 (4.0)
50歳代 (n=157)	64 (40.8)	10 (6.4)	32 (20.4)	26 (16.6)	19 (12.1)	20 (12.7)	2 (1.3)	1 (0.6)
60歳代 (n=262)	96 (36.6)	11 (4.2)	19 (7.3)	65 (24.8)	28 (10.7)	34 (13.0)	3 (1.1)	2 (0.8)
70歳代以上 (n=353)	122 (34.6)	28 (7.9)	11 (3.1)	116 (32.9)	38 (10.8)	42 (11.9)	7 (2.0)	3 (0.8)

	仕事や商売の関係で	近所との人間関係が良好だから	現在住む家に満足しているから	生まれ育ったところだから	永年住み慣れ、愛着があるから	その他	無回答
20歳代以下 (n=58)	4 (6.9)	6 (10.3)	19 (32.8)	26 (44.8)	18 (31.0)	4 (6.9)	0 (0.0)
30歳代 (n=148)	7 (4.7)	18 (12.2)	44 (29.7)	23 (15.5)	27 (18.2)	8 (5.4)	1 (0.7)
40歳代 (n=199)	9 (4.5)	26 (13.1)	54 (27.1)	12 (6.0)	39 (19.6)	7 (3.5)	0 (0.0)
50歳代 (n=157)	15 (9.6)	16 (10.2)	51 (32.5)	10 (6.4)	45 (28.7)	7 (4.5)	1 (0.6)
60歳代 (n=262)	9 (3.4)	33 (12.6)	82 (31.3)	18 (6.9)	81 (30.9)	14 (5.3)	0 (0.0)
70歳代以上 (n=353)	5 (1.4)	55 (15.6)	102 (28.9)	11 (3.1)	120 (34.0)	12 (3.4)	3 (0.8)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

【居住地区別】

地区Aでは「現在住む家に満足しているから」、地区B、地区C、地区D、地区Fでは「日常生活（買い物等）に便利だから」（地区Fは同率で「現在住む家に満足しているから」）、地区Eでは「自然環境に恵まれているから」がそれぞれ最も高くなっています。

表 住み続けたい理由【居住地区別】

	日常生活（買い物等）に便利だから	医療や福祉面で安心だから	通勤、通学に便利だから	自然環境に恵まれているから	騒音、大気汚染などの公害が少ないから	災害や交通事故などが少なく安全だから	公共施設が整っているから	教育、文化の程度がよいから
地区A (n=178)	50 (28.1)	9 (5.1)	17 (9.6)	58 (32.6)	20 (11.2)	23 (12.9)	3 (1.7)	3 (1.7)
地区B (n=190)	70 (36.8)	19 (10.0)	21 (11.1)	43 (22.6)	14 (7.4)	24 (12.6)	3 (1.6)	2 (1.1)
地区C (n=323)	159 (49.2)	23 (7.1)	52 (16.1)	42 (13.0)	34 (10.5)	29 (9.0)	7 (2.2)	5 (1.5)
地区D (n=295)	137 (46.4)	26 (8.8)	49 (16.6)	68 (23.1)	40 (13.6)	31 (10.5)	6 (2.0)	9 (3.1)
地区E (n=134)	14 (10.4)	8 (6.0)	9 (6.7)	60 (44.8)	11 (8.2)	19 (14.2)	2 (1.5)	1 (0.7)
地区F (n=56)	24 (42.9)	2 (3.6)	8 (14.3)	17 (30.4)	5 (8.9)	4 (7.1)	1 (1.8)	3 (5.4)

	仕事や商売の関係で	近所との人間関係が良好だから	現在住む家に満足しているから	生まれ育ったところだから	永年住み慣れ、愛着があるから	その他	無回答
地区A (n=178)	4 (2.2)	31 (17.4)	67 (37.6)	12 (6.7)	61 (34.3)	6 (3.4)	1 (0.6)
地区B (n=190)	12 (6.3)	27 (14.2)	45 (23.7)	11 (5.8)	59 (31.1)	7 (3.7)	3 (1.6)
地区C (n=323)	17 (5.3)	34 (10.5)	88 (27.2)	29 (9.0)	89 (27.6)	16 (5.0)	1 (0.3)
地区D (n=295)	12 (4.1)	36 (12.2)	87 (29.5)	29 (9.8)	71 (24.1)	12 (4.1)	0 (0.0)
地区E (n=134)	2 (1.5)	20 (14.9)	41 (30.6)	14 (10.4)	41 (30.6)	7 (5.2)	0 (0.0)
地区F (n=56)	1 (1.8)	6 (10.7)	24 (42.9)	4 (7.1)	8 (14.3)	4 (7.1)	0 (0.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

【居住年数別】

生まれたときからは「生まれ育ったところだから」、1年未満、1年以上～5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上30年未満は「日常生活（買い物等）に便利だから」（1年未満は同率で「現在住む家に満足しているから」）、30年以上は「永年住み慣れ、愛着があるから」が最も高くなっています。

表 住み続けたい理由【居住年数別】

	日常生活(買い物等)に便利だから	医療や福祉面で安心だから	通勤、通学に便利だから	自然環境に恵まれているから	騒音、大気汚染などの公害が少ないから	災害や交通事故などが少なく安全だから	公共施設が整っているから	教育、文化の程度がよいから
生まれたときから (n=87)	21 (24.1)	1 (1.1)	6 (6.9)	15 (17.2)	4 (4.6)	12 (13.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
1年未満 (n=16)	7 (43.8)	0 (0.0)	3 (18.8)	5 (31.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.3)	3 (18.8)
1年以上5年未満 (n=67)	33 (49.3)	11 (16.4)	16 (23.9)	16 (23.9)	8 (11.9)	5 (7.5)	4 (6.0)	3 (4.5)
5年以上10年未満 (n=97)	51 (52.6)	12 (12.4)	28 (28.9)	17 (17.5)	8 (8.2)	7 (7.2)	2 (2.1)	4 (4.1)
10年以上20年未満 (n=212)	106 (50.0)	22 (10.4)	43 (20.3)	55 (25.9)	33 (15.6)	19 (9.0)	2 (0.9)	6 (2.8)
20年以上30年未満 (n=214)	85 (39.7)	17 (7.9)	22 (10.3)	51 (23.8)	27 (12.6)	25 (11.7)	7 (3.3)	2 (0.9)
30年以上 (n=483)	151 (31.3)	24 (5.0)	38 (7.9)	128 (26.5)	44 (9.1)	62 (12.8)	6 (1.2)	5 (1.0)

	仕事や商売の関係で	近所との人間関係が良好だから	現在住む家に満足しているから	生まれ育ったところだから	永年住み慣れ、愛着があるから	その他	無回答
生まれたときから (n=87)	3 (3.4)	6 (6.9)	24 (27.6)	47 (54.0)	31 (35.6)	2 (2.3)	0 (0.0)
1年未満 (n=16)	1 (6.3)	1 (6.3)	7 (43.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (12.5)	0 (0.0)
1年以上5年未満 (n=67)	10 (14.9)	7 (10.4)	18 (26.9)	0 (0.0)	1 (1.5)	4 (6.0)	0 (0.0)
5年以上10年未満 (n=97)	4 (4.1)	9 (9.3)	45 (46.4)	2 (2.1)	0 (0.0)	6 (6.2)	1 (1.0)
10年以上20年未満 (n=212)	7 (3.3)	32 (15.1)	68 (32.1)	5 (2.4)	24 (11.3)	6 (2.8)	0 (0.0)
20年以上30年未満 (n=214)	11 (5.1)	28 (13.1)	78 (36.4)	16 (7.5)	52 (24.3)	14 (6.5)	0 (0.0)
30年以上 (n=483)	13 (2.7)	70 (14.5)	111 (23.0)	30 (6.2)	221 (45.8)	18 (3.7)	4 (0.8)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(4) 移転したい理由

問2-2 問2で「4」または「5」を選ばれた方におうかがいします。お答えの理由について、次の中からあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

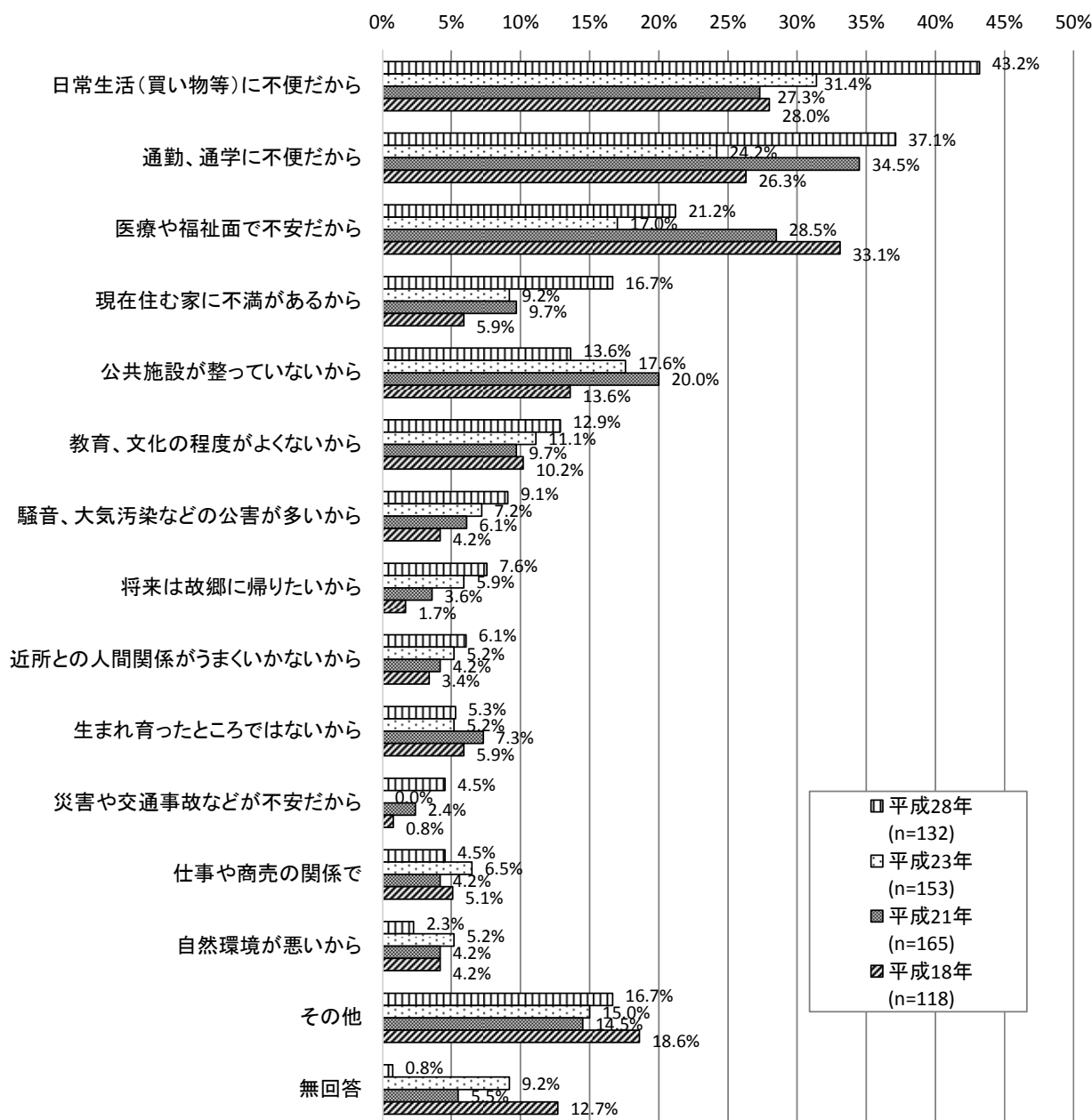
■問2で「できれば移転したい」、「すぐに移転したい」を選ばれた方

「日常生活（買い物等）に不便だから」が第1位

移転したい理由は「日常生活（買い物等）に不便だから」の43.2%が最も高く、次いで「通勤、通学に不便だから」37.1%、「医療や福祉面で不安だから」21.2%などとなっています。

平成23年と比較すると、「日常生活（買い物等）が不便だから」が増加する一方、「公共施設が整っていないから」、「仕事や商売の関係で」「自然環境が悪いから」は減少しています。

図 移転したい理由



◆住み続けたくない理由（その他回答：22件）

件数	記述内容	主な回答
4件	行財政運営	税金が高い、市政が納得できない
4件	道路・交通	坂が多い、交通の便が悪い、道路状況が悪い
3件	住環境	都内にマンションを所有、一戸建ての管理が大変
2件	みんなで地域づくり	自治会が面倒

【年代別】

20歳代以下と30歳代から50歳代は「通勤、通学に不便だから」（40歳代は同率で「日常生活（買い物等）に不便だから」、60歳代から70歳台以上は「日常生活（買い物等）に不便だから」が最も高くなっています。

表 移転したい理由【年代別】

	日常生活(買い物等)に不便だから	医療や福祉面で不安だから	通勤、通学に不便だから	自然環境が悪いから	騒音、大気汚染などの公害が多いから	災害や交通事故などが不安だから	公共施設が整っていないから	教育、文化の程度がよくないから
20歳代以下 (n=17)	4 (23.5)	0 (0.0)	12 (70.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (5.9)
30歳代 (n=17)	5 (29.4)	5 (29.4)	9 (52.9)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (5.9)	6 (35.3)	5 (29.4)
40歳代 (n=24)	12 (50.0)	2 (8.3)	12 (50.0)	0 (0.0)	1 (4.2)	1 (4.2)	2 (8.3)	3 (12.5)
50歳代 (n=20)	7 (35.0)	3 (15.0)	9 (45.0)	0 (0.0)	3 (15.0)	0 (0.0)	4 (20.0)	2 (10.0)
60歳代 (n=29)	15 (51.7)	11 (37.9)	3 (10.3)	1 (3.4)	4 (13.8)	0 (0.0)	2 (6.9)	1 (3.4)
70歳代以上 (n=25)	14 (56.0)	7 (28.0)	4 (16.0)	2 (8.0)	3 (12.0)	4 (16.0)	3 (12.0)	5 (20.0)

	仕事や商売の関係で	近所との人間関係がうまくいかないから	現在住む家に不満があるから	生まれ育ったところではないから	将来は故郷に帰りたいから	その他	無回答
20歳代以下 (n=17)	2 (11.8)	0 (0.0)	3 (17.6)	1 (5.9)	2 (11.8)	5 (29.4)	0 (0.0)
30歳代 (n=17)	3 (17.6)	0 (0.0)	4 (23.5)	2 (11.8)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
40歳代 (n=24)	1 (4.2)	2 (8.3)	2 (8.3)	2 (8.3)	2 (8.3)	5 (20.8)	0 (0.0)
50歳代 (n=20)	0 (0.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	2 (10.0)	4 (20.0)	0 (0.0)
60歳代 (n=29)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (27.6)	1 (3.4)	1 (3.4)	6 (20.7)	1 (3.4)
70歳代以上 (n=25)	0 (0.0)	4 (16.0)	4 (16.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	0 (0.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

【居住地区別】

地区A、地区B、地区Eでは、「日常生活（買い物等）に不便だから」、地区C、地区D、地区Fでは「通勤、通学に不便だから」が最も高くなっています。

表 移転したい理由【居住地区別】

	日常生活(買い物等)に不便だから	医療や福祉面で不安だから	通勤、通学に不便だから	自然環境が悪いから	騒音、大気汚染などの公害が多いから	災害や交通事故などが不安だから	公共施設が整っていないから	教育、文化の程度がよくないから
地区A (n=23)	13 (56.5)	5 (21.7)	9 (39.1)	2 (8.7)	2 (8.7)	2 (8.7)	4 (17.4)	2 (8.7)
地区B (n=22)	7 (31.8)	4 (18.2)	5 (22.7)	0 (0.0)	2 (9.1)	2 (9.1)	3 (13.6)	2 (9.1)
地区C (n=30)	10 (33.3)	7 (23.3)	12 (40.0)	1 (3.3)	4 (13.3)	1 (3.3)	6 (20.0)	4 (13.3)
地区D (n=26)	8 (30.8)	5 (19.2)	10 (38.5)	0 (0.0)	2 (7.7)	0 (0.0)	1 (3.8)	4 (15.4)
地区E (n=20)	16 (80.0)	6 (30.0)	7 (35.0)	0 (0.0)	2 (10.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	2 (10.0)
地区F (n=11)	3 (27.3)	1 (9.1)	6 (54.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	3 (27.3)	3 (27.3)

	仕事や商売の関係で	近所との人間関係がうまくいかないから	現在住む家に不満があるから	生まれ育ったところではないから	将来は故郷に帰りたいから	その他	無回答
地区A (n=23)	1 (4.3)	2 (8.7)	4 (17.4)	1 (4.3)	2 (8.7)	3 (13.0)	1 (4.3)
地区B (n=22)	1 (4.5)	1 (4.5)	4 (18.2)	2 (9.1)	3 (13.6)	2 (9.1)	0 (0.0)
地区C (n=30)	2 (6.7)	1 (3.3)	4 (13.3)	3 (10.0)	2 (6.7)	6 (20.0)	0 (0.0)
地区D (n=26)	2 (7.7)	1 (3.8)	7 (26.9)	1 (3.8)	3 (11.5)	7 (26.9)	0 (0.0)
地区E (n=20)	0 (0.0)	1 (5.0)	3 (15.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (15.0)	0 (0.0)
地区F (n=11)	0 (0.0)	2 (18.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

【居住年数別】

サンプル数が少ない居住年数別は参考値となりますが、どの居住年数でも、「日常生活（買い物等）に不便だから」、「通勤、通学に不便だから」が高い傾向にあります。また、1年未満では「生まれ育ったところではないから」、1年以上5年未満では「公共施設が整っていないから」が最も高くなっています。

表 移転したい理由【居住年数別】

	日常生活(買い物等)に不便だから	医療や福祉面で不安だから	通勤、通学に不便だから	自然環境が悪いから	騒音、大気汚染などの公害が多いから	災害や交通事故などが不安だから	公共施設が整っていないから	教育、文化の程度がよくないから
生まれたときから (n=12)	6 (50.0)	2 (16.7)	7 (58.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (16.7)	1 (8.3)
1年未満 (n=4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
1年以上5年未満 (n=10)	2 (20.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	3 (30.0)	1 (10.0)
5年以上10年未満 (n=12)	5 (41.7)	2 (16.7)	4 (33.3)	0 (0.0)	2 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)
10年以上20年未満 (n=27)	14 (51.9)	6 (22.2)	14 (51.9)	0 (0.0)	2 (7.4)	1 (3.7)	1 (3.7)	4 (14.8)
20年以上30年未満 (n=28)	10 (35.7)	5 (17.9)	11 (39.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (10.7)	9 (32.1)	2 (7.1)
30年以上 (n=38)	20 (52.6)	12 (31.6)	9 (23.7)	3 (7.9)	6 (15.8)	1 (2.6)	3 (7.9)	8 (21.1)

	仕事や商売の関係で	近所との人間関係がうまくいかないから	現在住む家に不満があるから	生まれ育ったところではないから	将来は故郷に帰りたいから	その他	無回答
生まれたときから (n=12)	1 (8.3)	0 (0.0)	2 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)	0 (0.0)
1年未満 (n=4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	0 (0.0)
1年以上5年未満 (n=10)	2 (20.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	0 (0.0)
5年以上10年未満 (n=12)	0 (0.0)	2 (16.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	0 (0.0)
10年以上20年未満 (n=27)	3 (11.1)	2 (7.4)	2 (7.4)	1 (3.7)	1 (3.7)	6 (22.2)	0 (0.0)
20年以上30年未満 (n=28)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (32.1)	0 (0.0)	2 (7.1)	3 (10.7)	0 (0.0)
30年以上 (n=38)	0 (0.0)	4 (10.5)	5 (13.2)	1 (2.6)	1 (2.6)	7 (18.4)	1 (2.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

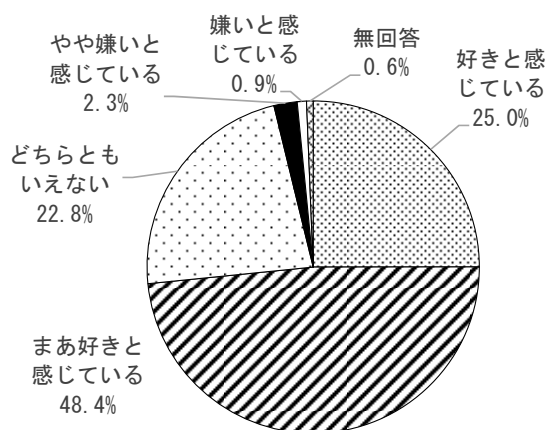
(5) 四街道市を好きと感じているか

問3 あなたは、四街道市を好きと感じていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

7割以上が、四街道市を“好き”と感じている

四街道市を好きと感じているかどうかについては、「好きと感じている」25.0%、「まあ好きと感じている」48.4%で、両者を合わせた73.4%が四街道を“好き”と感じています。一方、「やや嫌いと感じている」は2.3%、「嫌いと感じている」は0.9%となっています。

図 四街道市を好きと感じているかどうか (n=1,549)



3. 日常生活の活動について

(1) 日常生活で主に利用している市町村

問3 あなたは、日常生活における次の活動について、主にどの市町村を利用していますか。それぞれの活動について、最もよくあてはまる市町村を1つずつ選んで○をつけてください。

「食料品の買い物」は8割以上が市内を利用、

「芸術鑑賞・映画鑑賞など」は他市の割合が高い

①通勤・通学（幼稚園・保育園などへの送迎も含む）

四街道市内へ通っている割合が24.6%と最も高く、次いで千葉市15.0%、県外10.7%となっています。

②食料品の買い物

四街道市内の利用割合が80.9%と圧倒的に高く、次いで佐倉市7.2%、千葉市7.1%となっています。

③衣料品の買い物

四街道市内の利用割合が48.4%と最も高く、次いで千葉市25.8%となっています。

④家電製品・家具などの買い物

四街道市内の利用割合が54.0%と最も高く、次いで千葉市26.2%となっています。

⑤芸術鑑賞・映画鑑賞など

千葉市の利用割合が36.9%と最も高く、次いで県外19.6%、佐倉市14.0%となっています。四街道市内は4.5%にとどまっております、市外への流出が顕著に表れています。

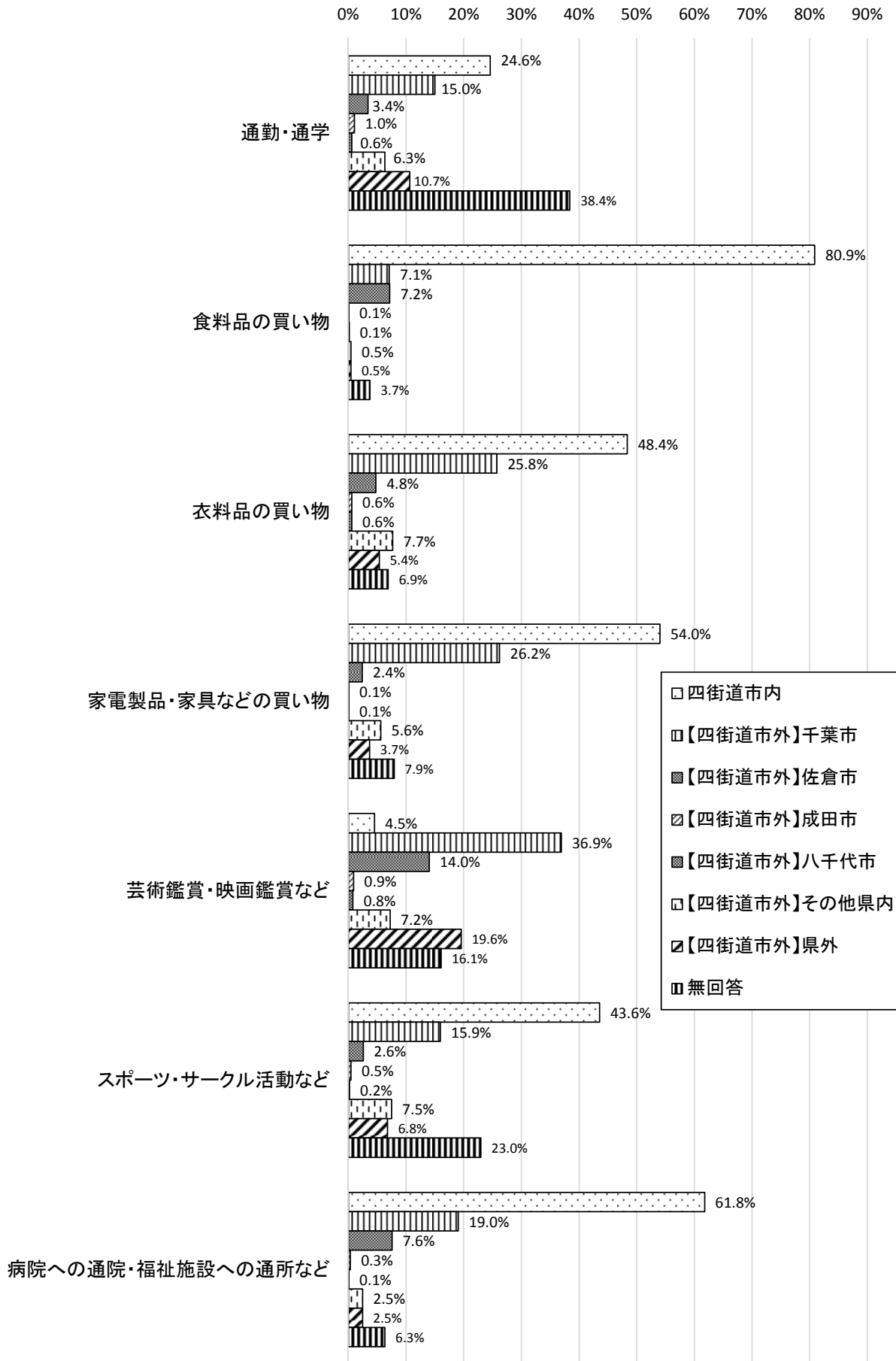
⑥スポーツ・サークル活動など

四街道市内の利用割合が43.6%と最も高く、次いで千葉市15.9%となっています。

⑦病院への通院・福祉施設への通所など

四街道市内の利用割合が61.8%で最も高く、次いで千葉市19.0%、佐倉市7.6%となっています。

図 日常生活で主に利用している市町村 (n=1,549)



【居住地区別】

① 通勤・通学（幼稚園・保育園などへの送迎も含む）

通勤・通学についてみると、四街道市内に通っている人の割合が20%を超えているのは地区A～D、地区Fとなっています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－通勤・通学

	四街道市内	四街道市外						無回答
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	
地区 A (n=235)	21.7%	14.5%	6.4%	1.7%	0.0%	6.0%	7.2%	42.6%
地区 B (n=257)	25.3%	14.0%	3.1%	0.4%	1.2%	5.1%	7.8%	43.2%
地区 C (n=413)	27.6%	15.3%	2.4%	1.5%	0.2%	6.1%	11.4%	35.6%
地区 D (n=370)	26.5%	18.9%	2.2%	0.5%	0.3%	6.8%	17.6%	27.3%
地区 E (n=190)	18.4%	6.8%	5.3%	1.6%	2.1%	6.8%	5.8%	53.2%
地区 F (n=77)	22.1%	20.8%	2.6%	0.0%	0.0%	9.1%	6.5%	39.0%

② 食料品の買い物

食料品の買い物についてみると、地区B～Eは四街道市内を利用している人が80%を超えて高い割合にあるのに対し、地区Fは45.5%とやや低くなっています。四街道市外の利用については、地区Aは佐倉市が26.8%、地区Fは千葉市が51.9%で相対的に高くなっています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－食料品の買い物

	四街道市内	四街道市外						無回答
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	
地区 A (n=235)	63.8%	2.6%	26.8%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	5.5%
地区 B (n=257)	83.7%	4.3%	7.0%	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	3.9%
地区 C (n=413)	85.2%	7.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%	4.1%
地区 D (n=370)	90.3%	4.6%	1.9%	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%	2.2%
地区 E (n=190)	85.8%	2.6%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
地区 F (n=77)	45.5%	51.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%

③ 衣料品の買い物

衣料品の買い物についてみると、地区A～Eは50%前後が四街道市内を利用しているのに対し、地区Fは千葉市の利用が70.1%を占めています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－衣料品の買い物

	四街道市内	四街道市外						
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	無回答
地区A (n=235)	41.3%	19.6%	15.7%	0.9%	0.9%	8.9%	5.1%	7.7%
地区B (n=257)	52.1%	18.7%	6.2%	1.2%	0.4%	8.9%	3.9%	8.6%
地区C (n=413)	53.0%	22.8%	2.2%	0.2%	1.2%	7.7%	6.3%	6.5%
地区D (n=370)	49.2%	30.5%	2.4%	0.8%	0.0%	7.0%	5.7%	4.3%
地区E (n=190)	54.2%	22.6%	1.6%	0.0%	0.5%	5.8%	5.8%	9.5%
地区F (n=77)	13.0%	70.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.8%	3.9%	5.2%

④ 家電製品・家具などの買い物

家電製品・家具などの買い物についてみると、地区A～C、地区Eは四街道市内を利用している人が50%を超えて高い割合にあるのに対し、地区Fは13.0%と低くなっています。四街道市外の利用については、地区Dは千葉市が36.2%、地区Fも千葉市が74.0%で相対的に高くなっています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－家電製品・家具などの買い物

	四街道市内	四街道市外						
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	無回答
地区A (n=235)	67.7%	8.5%	6.4%	0.0%	0.4%	5.1%	4.3%	7.7%
地区B (n=257)	60.7%	15.6%	4.7%	0.0%	0.0%	6.6%	3.1%	9.3%
地区C (n=413)	56.9%	27.8%	1.0%	0.0%	0.0%	3.4%	2.9%	8.0%
地区D (n=370)	43.2%	36.2%	0.5%	0.3%	0.0%	7.8%	5.7%	6.2%
地区E (n=190)	59.5%	21.1%	1.6%	0.0%	0.0%	5.3%	3.2%	9.5%
地区F (n=77)	13.0%	74.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	6.5%

⑤ 芸術鑑賞・映画鑑賞など

芸術鑑賞・映画鑑賞などについてみると、地区B～Eは千葉市が最も高く、特に地区Fは55.8%を占めています。地区Aでは佐倉市が最も高く25.5%となっています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－芸術鑑賞・映画鑑賞など

	四街道市内	四街道市外						
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	無回答
地区A (n=235)	6.0%	23.4%	25.5%	1.7%	1.7%	7.2%	19.1%	15.3%
地区B (n=257)	5.8%	30.7%	16.0%	1.2%	1.2%	7.4%	17.9%	19.8%
地区C (n=413)	3.9%	40.4%	12.1%	0.2%	0.2%	6.3%	19.9%	16.9%
地区D (n=370)	3.8%	44.9%	10.8%	0.8%	1.1%	7.6%	19.5%	11.6%
地区E (n=190)	5.3%	31.6%	13.2%	1.6%	0.0%	6.8%	22.6%	18.9%
地区F (n=77)	1.3%	55.8%	1.3%	0.0%	0.0%	11.7%	18.2%	11.7%

⑥ スポーツ・サークル活動など

スポーツ・サークル活動などについてみると、地区A～Eは四街道市内が最も高く、次いで千葉市となっています。地区Fは千葉市が39.0%で最も高く、四街道市内は26.0%となっています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－スポーツ・サークル活動など

	四街道市内	四街道市外						
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	無回答
地区A (n=235)	41.7%	11.5%	6.0%	0.9%	0.4%	6.8%	8.9%	23.8%
地区B (n=257)	47.9%	10.9%	1.9%	0.8%	0.0%	7.8%	4.3%	26.5%
地区C (n=413)	40.0%	19.1%	1.5%	0.2%	0.2%	6.1%	7.5%	25.4%
地区D (n=370)	47.8%	15.9%	1.9%	0.3%	0.0%	9.2%	7.6%	17.3%
地区E (n=190)	46.8%	12.6%	3.7%	0.5%	0.5%	8.9%	3.7%	23.2%
地区F (n=77)	26.0%	39.0%	1.3%	0.0%	0.0%	5.2%	9.1%	19.5%

⑦ 病院への通院・福祉施設への通所など

病院・福祉施設などについてみると、地区A～Eは四街道市内が過半数となっているのに対し、地区Fは千葉市が66.2%を占めています。

表 日常生活で主に利用している市町村【居住地区別】－病院・福祉施設など

	四街道市内	四街道市外						無回答
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他県内	県外	
地区A (n=235)	63.4%	9.8%	15.3%	0.4%	0.0%	2.1%	2.6%	6.4%
地区B (n=257)	61.5%	15.6%	8.9%	0.4%	0.0%	2.7%	1.9%	8.9%
地区C (n=413)	61.7%	18.9%	7.0%	0.7%	0.0%	3.4%	1.9%	6.3%
地区D (n=370)	67.0%	18.9%	3.8%	0.0%	0.3%	0.8%	4.3%	4.9%
地区E (n=190)	65.3%	16.3%	7.4%	0.0%	0.0%	3.7%	1.6%	5.8%
地区F (n=77)	26.0%	66.2%	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	3.9%

4. 四街道市のまちづくりについて

(1) 施策の取組状況に対する現在の満足度及び今後の重要度

問4 あなたは、次の項目（1～23）について、どの程度満足されていますか。また、今後どのくらい重要だと思えますか。「現在の満足度」については、日ごろの印象や日常生活から、「これからの重要度」については、市全体のことをお考えいただきながら、あなたご自身のお考えに最もよくあてはまる「現在の満足度」と「これからの重要度」をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

■現在の満足度

「生活基盤」の満足度が最も高く、「道路・交通」の不満足度が最も高い

満足度が高い（「満足」＋「どちらかといえば満足」の合計）施策分野は、「生活基盤」が42.2%、「消防・救急」39.2%、「住環境」35.1%、「循環型社会」33.3%、「環境保全」28.2%となっています。

不満足度が高い（「どちらかといえば不満」＋「不満」の合計）施策分野は「道路・交通」の38.9%のほか、「市街地形成」29.9%、「産業・就業支援」21.5%、「行財政運営」18.7%、「社会保障」18.6%となっています。

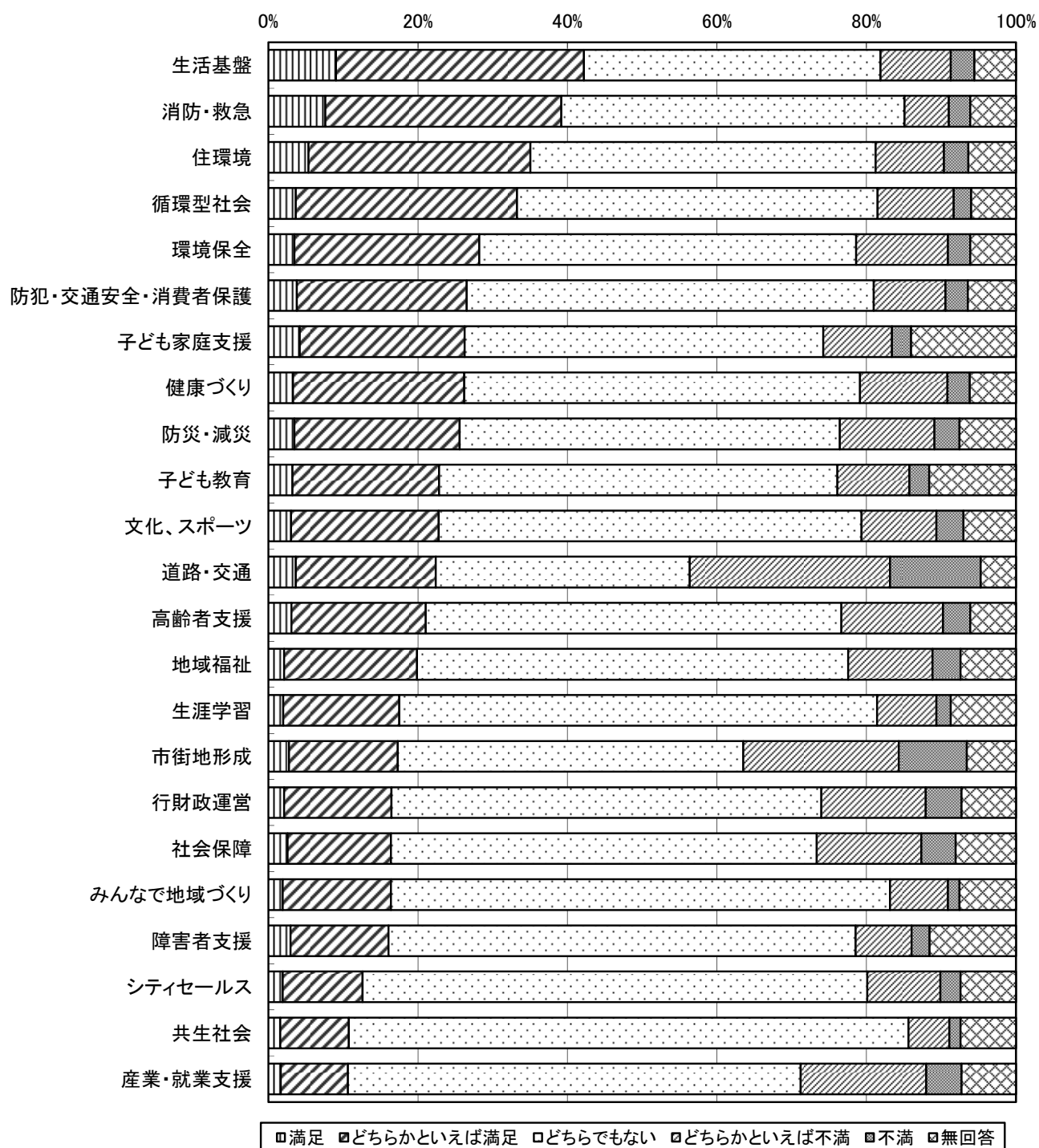
表 主な施策分野に対する現在の満足度

n=1,549 (単位：%)

項目	満足 + どちらか といえば満足	どちらか といえば満足		どちら でもない	どちらか といえば不満 + 不満	どちらか といえば不満	
		満足	どちらか といえば満足			どちらか といえば不満	不満
1 子ども家庭支援	26.3	4.2	22.1	48.0	11.8	9.2	2.6
2 高齢者支援	21.0	3.1	17.9	55.6	17.2	13.6	3.6
3 障害者支援	16.1	3.0	13.1	62.5	9.9	7.5	2.4
4 地域福祉	19.9	2.1	17.8	57.7	15.0	11.3	3.7
5 健康づくり	26.2	3.3	22.9	52.9	14.7	11.7	3.0
6 社会保障	16.4	2.6	13.8	56.9	18.6	14.0	4.6
7 防災・減災	25.6	3.5	22.1	50.9	16.1	12.7	3.4
8 消防・救急	39.2	7.6	31.6	45.9	8.7	5.9	2.8
9 防犯・交通安全・消費者保護	26.5	3.8	22.7	54.4	12.6	9.6	3.0
10 子ども教育	22.8	3.2	19.6	53.3	12.2	9.6	2.6
11 生涯学習	17.5	2.0	15.5	63.9	9.8	7.9	1.9
12 文化、スポーツ	22.8	3.0	19.8	56.6	13.6	10.0	3.6
13 環境保全	28.2	3.5	24.7	50.4	15.3	12.3	3.0
14 循環型社会	33.3	3.7	29.6	48.2	12.5	10.2	2.3
15 住環境	35.1	5.4	29.7	46.2	12.4	9.2	3.2
16 生活基盤	42.2	9.0	33.2	39.6	12.6	9.4	3.2
17 道路・交通	22.4	3.7	18.7	34.0	38.9	26.8	12.1
18 市街地形成	17.3	2.8	14.5	46.2	29.9	20.8	9.1
19 産業・就業支援	10.7	1.7	9.0	60.6	21.5	16.8	4.7
20 みんなで地域づくり	16.4	1.9	14.5	66.8	9.2	7.7	1.5
21 シティセールス	12.6	1.9	10.7	67.5	12.4	9.7	2.7
22 行財政運営	16.4	2.1	14.3	57.5	18.7	13.9	4.8
23 共生社会	10.8	1.6	9.2	74.8	7.0	5.5	1.5

※「無回答」は除いているため、合計値は100%にはならない。

図 主な施策分野に対する現在の満足度
 (「満足」・「どちらかといえば満足」の合計が高い順)



■今後の重要度

「高齢者支援」が最も重要度が高い

重要度が高い（「重要」＋「まあ重要」の合計）施策分野は、「高齢者支援」の82.4%が最も高く、「防災・減災」の77.9%、「道路・交通」の77.2%、「消防・救急」の77.1%、「子ども家庭支援」の74.1%が続いています。このうち「消防・救急」は、現在の満足度、今後の重要度のいずれも回答の割合が高くなっています。

一方、重要度が低い（「あまり重要ではない」＋「重要でない」の合計）施策分野は、「共生社会」9.1%、「シティセールス」9.0%、「文化、スポーツ」5.4%、「生涯学習」5.1%、「みんなで地域づくり」4.6%、となっています。

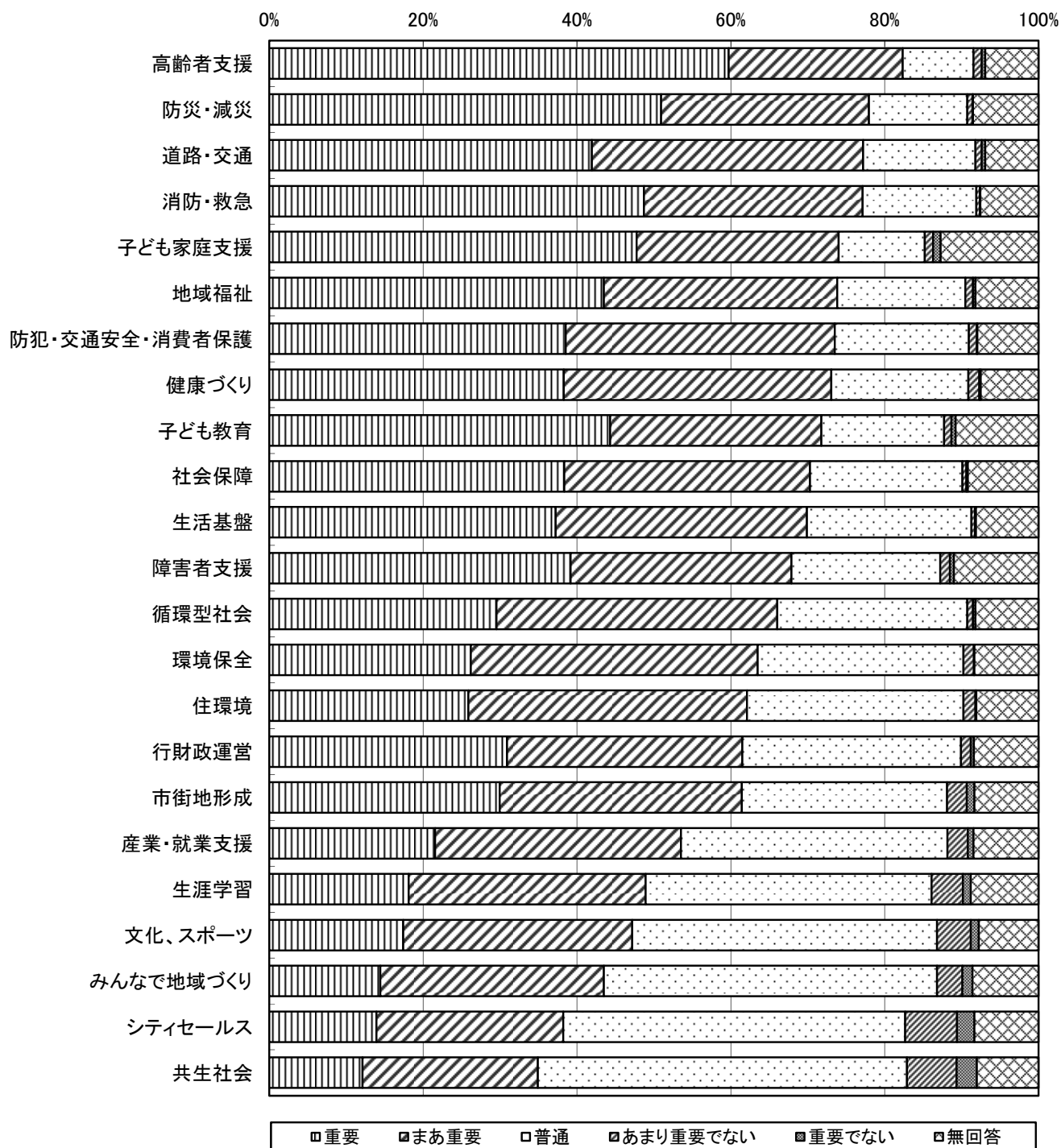
表 主な施策分野に対するこれからの重要度

n=1,549 （単位：％）

項目	重要 ＋ まあ重要			普通	あまり重要 ではない ＋ 重要でない	あまり重要 ではない ＋ 重要でない	重要でない
		重要	まあ重要				
1 子ども家庭支援	74.1	47.8	26.3	11.2	2.1	1.1	1.0
2 高齢者支援	82.4	59.7	22.7	9.2	1.6	1.1	0.5
3 障害者支援	67.9	39.2	28.7	19.3	1.8	1.3	0.5
4 地域福祉	73.8	43.5	30.3	16.7	1.3	1.0	0.3
5 健康づくり	73.1	38.3	34.8	17.8	1.6	1.4	0.2
6 社会保障	70.3	38.3	32.0	19.8	0.7	0.5	0.2
7 防災・減災	77.9	50.9	27.0	12.8	0.7	0.6	0.1
8 消防・救急	77.1	48.7	28.4	14.8	0.6	0.5	0.1
9 防犯・交通安全・消費者保護	73.5	38.5	35.0	17.4	1.1	1.0	0.1
10 子ども教育	71.8	44.4	27.4	15.9	1.5	1.0	0.5
11 生涯学習	48.9	18.1	30.8	37.2	5.1	4.1	1.0
12 文化、スポーツ	47.2	17.4	29.8	39.6	5.4	4.4	1.0
13 環境保全	63.5	26.2	37.3	26.7	1.5	1.4	0.1
14 循環型社会	66.1	29.6	36.5	24.7	1.0	0.7	0.3
15 住環境	62.1	25.9	36.2	28.1	1.6	1.5	0.1
16 生活基盤	69.9	37.2	32.7	21.4	0.6	0.5	0.1
17 道路・交通	77.2	42.0	35.2	14.6	1.3	0.8	0.5
18 市街地形成	61.5	30.0	31.5	26.7	3.6	2.6	1.0
19 産業・就業支援	53.6	21.6	32.0	34.7	3.3	2.6	0.7
20 みんなで地域づくり	43.6	14.5	29.1	43.3	4.6	3.3	1.3
21 シティセールス	38.2	13.9	24.3	44.5	9.0	6.7	2.3
22 行財政運営	61.5	30.9	30.6	28.4	1.7	1.3	0.4
23 共生社会	34.9	12.1	22.8	48.0	9.1	6.5	2.6

※「無回答」は除いているため、合計値は100%にはならない。

図 主な施策分野に対するこれからの重要度
 (「重要」・「まあ重要」の合計が高い順)

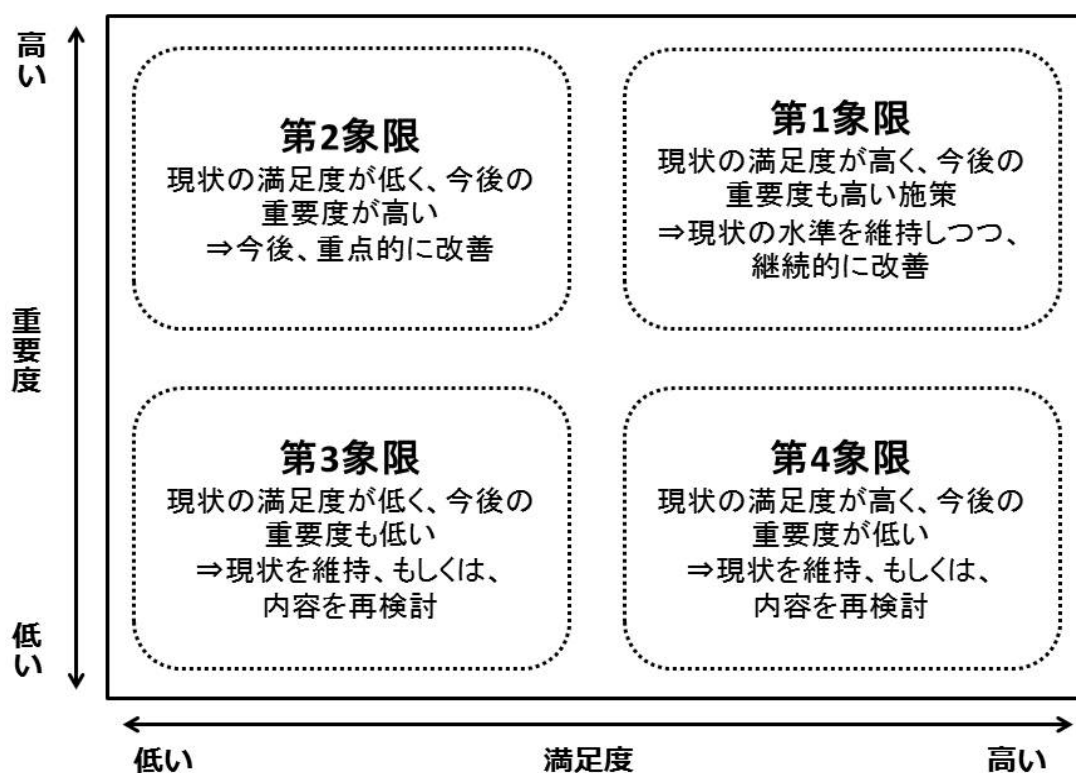


■加重平均値に基づく評価

表 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均の得点

現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	5.0	重要	5.0
どちらかといえば満足	4.0	まあ重要	4.0
どちらでもない	3.0	普通	3.0
どちらかといえば不満	2.0	あまり重要ではない	2.0
不満	1.0	重要でない	1.0

図 満足度・重要度散布図の概念



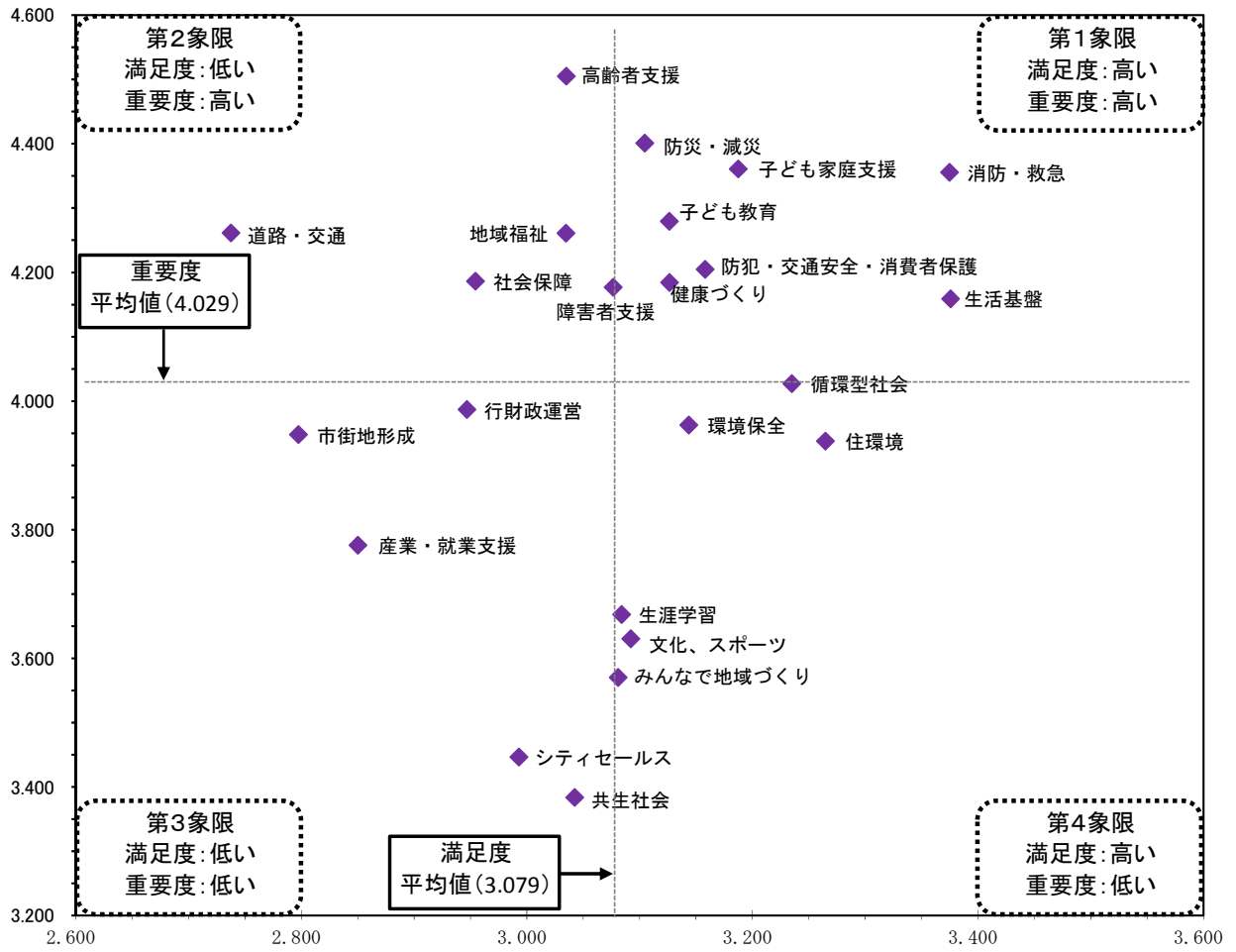
※「加重平均値」とは、満足度・重要度の水準を相対的に表すために、満足度・重要度の各々の段階に重みを設定し、重みを考慮した平均値を算出することを表します。本調査では満足度・重要度の5段階に各々5点、4点、3点、2点、1点という重みを設定し、例えば5段階各々に回答した人数が、 w_1 、 w_2 、 w_3 、 w_4 、 w_5 であった場合、加重平均値は以下の式で表されます。

$$(\text{加重平均値}) = \frac{5 \text{点} \times w_1 + 4 \text{点} \times w_2 + 3 \text{点} \times w_3 + 2 \text{点} \times w_4 + 1 \text{点} \times w_5}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5}$$

表 加重平均値に基づく評価

施策分野		満足度平均値	重要度平均値
1	子ども家庭支援	3.188	4.361
2	高齢者支援	3.035	4.505
3	障害者支援	3.077	4.177
4	地域福祉	3.035	4.261
5	健康づくり	3.127	4.184
6	社会保障	2.954	4.186
7	防災・減災	3.105	4.401
8	消防・救急	3.375	4.355
9	防犯・交通安全・消費者保護	3.158	4.205
10	子ども教育	3.126	4.279
11	生涯学習	3.084	3.668
12	文化、スポーツ	3.092	3.631
13	環境保全	3.144	3.963
14	循環型社会	3.235	4.027
15	住環境	3.265	3.938
16	生活基盤	3.376	4.159
17	道路・交通	2.738	4.261
18	市街地形成	2.798	3.948
19	産業・就業支援	2.850	3.776
20	みんなで地域づくり	3.081	3.570
21	シティセールス	2.993	3.446
22	行財政運営	2.947	3.987
23	共生社会	3.043	3.384
全体平均		3.079	4.029

図 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均値



(2) 施策分野別の調査結果*

*本項に掲載した「現在の満足度」の集計表について、合計は「無回答」を含んだ数値である。

1. 子ども家庭支援

現在の満足度は26.3%（「満足」4.2%+「どちらかといえば満足」22.1%）、不満度は11.8%（「どちらかといえば不満」9.2%+「不満」2.6%）で、それぞれ7番目、18番目となっています。

今後の重要度は74.1%（「重要」47.8%+「まあ重要」26.3%）で5番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

「小学校入学前の子どもがいる」世帯（178世帯）と「小・中学生の子どもがいる」世帯（219世帯）をみると、「小学校入学前の子どもがいる」世帯は、満足度が48.9%で市平均を上回っているものの、不満度も23.6%でやや高くなっています。また、「小・中学生の子どもがいる」世帯についても満足度が53.9%で市平均を上回っているものの、不満度も15.1%と高い水準にあります。

性別にみると、満足度は男性（26.9%）が女性（25.5%）を上回っており、不満度は女性（12.5%）が男性（10.9%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は30歳代（39.2%）で、不満度も30歳代（20.1%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区D（30.0%）で、不満度は地区F（15.6%）でそれぞれ最も高くなっています。

図 現在の満足度

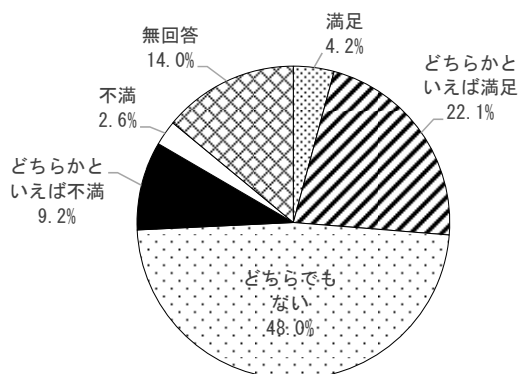


図 今後の重要度

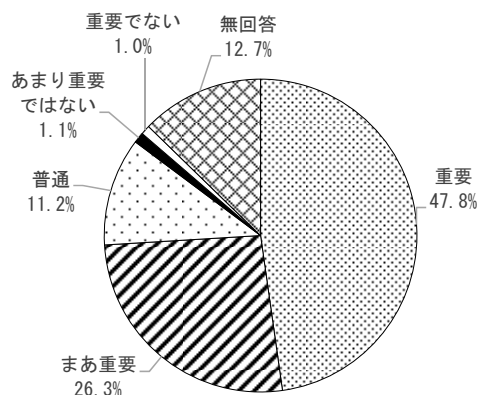


表 現在の満足度（子どものいる世帯）

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
小学校入学前の子どもがいる	178 (100.0)	18 (10.1)	69 (38.8)	46 (25.8)	33 (18.5)	9 (5.1)
小・中学生の子どもがいる	219 (100.0)	18 (8.2)	100 (45.7)	62 (28.3)	30 (13.7)	3 (1.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	27	163	364	61	16
	(100.0)	(3.8)	(23.1)	(51.6)	(8.6)	(2.3)
女性	837	38	176	378	80	24
	(100.0)	(4.5)	(21.0)	(45.2)	(9.6)	(2.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	23	60	8	3
	(100.0)	(2.0)	(23.0)	(60.0)	(8.0)	(3.0)
30歳代	189	19	55	71	29	9
	(100.0)	(10.1)	(29.1)	(37.6)	(15.3)	(4.8)
40歳代	259	16	85	119	24	9
	(100.0)	(6.2)	(32.8)	(45.9)	(9.3)	(3.5)
50歳代	203	7	48	123	15	4
	(100.0)	(3.4)	(23.6)	(60.6)	(7.4)	(2.0)
60歳代	346	7	54	197	35	9
	(100.0)	(2.0)	(15.6)	(56.9)	(10.1)	(2.6)
70歳代以上	446	14	74	172	30	6
	(100.0)	(3.1)	(16.6)	(38.6)	(6.7)	(1.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	7	54	103	25	4
	(100.0)	(3.0)	(23.0)	(43.8)	(10.6)	(1.7)
地区B	257	12	55	112	29	6
	(100.0)	(4.7)	(21.4)	(43.6)	(11.3)	(2.3)
地区C	413	18	92	210	30	13
	(100.0)	(4.4)	(22.3)	(50.8)	(7.3)	(3.1)
地区D	370	17	94	178	32	10
	(100.0)	(4.6)	(25.4)	(48.1)	(8.6)	(2.7)
地区E	190	8	30	99	16	4
	(100.0)	(4.2)	(15.8)	(52.1)	(8.4)	(2.1)
地区F	77	3	13	40	9	3
	(100.0)	(3.9)	(16.9)	(51.9)	(11.7)	(3.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

2. 高齢者支援

現在の満足度は21.0%（「満足」3.1%+「どちらかといえば満足」17.9%）、不満度は17.2%（「どちらかといえば不満」13.6%+「不満」3.6%）で、それぞれ13番目、6番目となっています。

今後の重要度は82.4%（「重要」59.7%+「まあ重要」22.7%）で1番目となっており、加重平均値からみると第2象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（22.8%）が男性（19.0%）を上回っており、不満度は男性（17.6%）が女性（16.8%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（30.3%）で、不満度は60歳代（21.7%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（26.8%）で、不満度は地区F（22.1%）で最も高くなっています。

図 現在の満足度

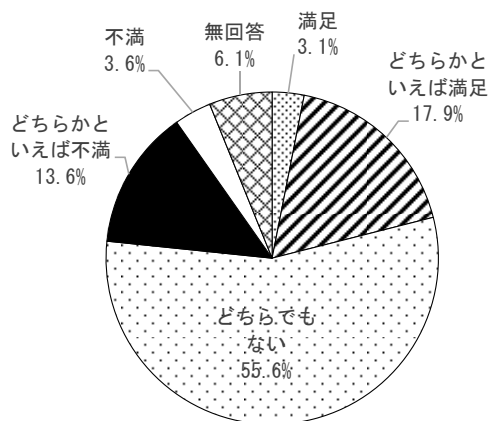


図 今後の重要度

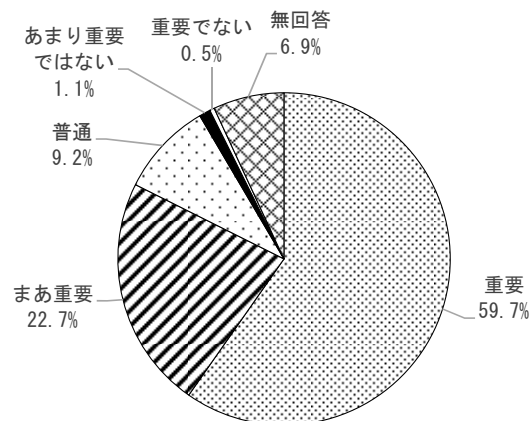


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	16	118	413	96	28
	(100.0)	(2.3)	(16.7)	(58.5)	(13.6)	(4.0)
女性	837	32	159	446	113	28
	(100.0)	(3.8)	(19.0)	(53.3)	(13.5)	(3.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	3	16	68	8	1
	(100.0)	(3.0)	(16.0)	(68.0)	(8.0)	(1.0)
30歳代	189	4	25	129	16	9
	(100.0)	(2.1)	(13.2)	(68.3)	(8.5)	(4.8)
40歳代	259	6	34	186	23	7
	(100.0)	(2.3)	(13.1)	(71.8)	(8.9)	(2.7)
50歳代	203	3	37	122	30	7
	(100.0)	(1.5)	(18.2)	(60.1)	(14.8)	(3.4)
60歳代	346	9	53	189	58	17
	(100.0)	(2.6)	(15.3)	(54.6)	(16.8)	(4.9)
70歳代以上	446	23	112	165	74	15
	(100.0)	(5.2)	(25.1)	(37.0)	(16.6)	(3.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	7	40	133	29	8
	(100.0)	(3.0)	(17.0)	(56.6)	(12.3)	(3.4)
地区B	257	9	60	120	40	10
	(100.0)	(3.5)	(23.3)	(46.7)	(15.6)	(3.9)
地区C	413	15	67	234	58	17
	(100.0)	(3.6)	(16.2)	(56.7)	(14.0)	(4.1)
地区D	370	10	62	226	45	7
	(100.0)	(2.7)	(16.8)	(61.1)	(12.2)	(1.9)
地区E	190	7	39	98	27	7
	(100.0)	(3.7)	(20.5)	(51.6)	(14.2)	(3.7)
地区F	77	0	8	48	10	7
	(100.0)	(0.0)	(10.4)	(62.3)	(13.0)	(9.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

3. 障害者支援

現在の満足度は16.1%（「満足」3.0%+「どちらかといえば満足」13.1%）、不満度は9.9%（「どちらかといえば不満」7.5%+「不満」2.4%）で、それぞれ20番目、19番目となっています。

今後の重要度は67.9%（「重要」39.2%+「まあ重要」28.7%）で12番目となっており、加重平均値からみると第2象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（16.0%）が女性（16.1%）でほぼ同じとなっており、不満度も男性（9.6%）が女性（9.9%）でほぼ同じとなっています。

年代別にみると、満足度は30歳代（20.1%）で、不満度は60歳代（12.2%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（20.3%）で、不満度は地区F（14.3%）で最も高くなっています。

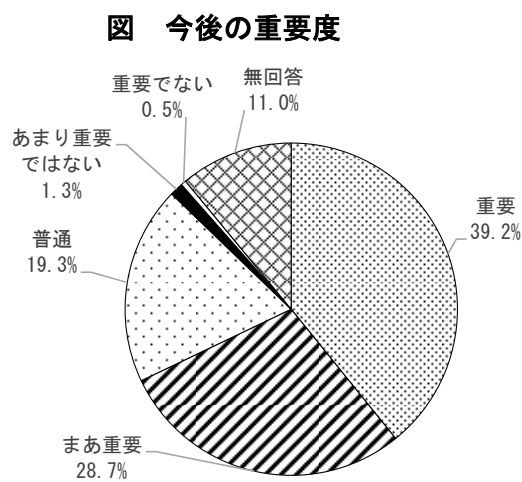
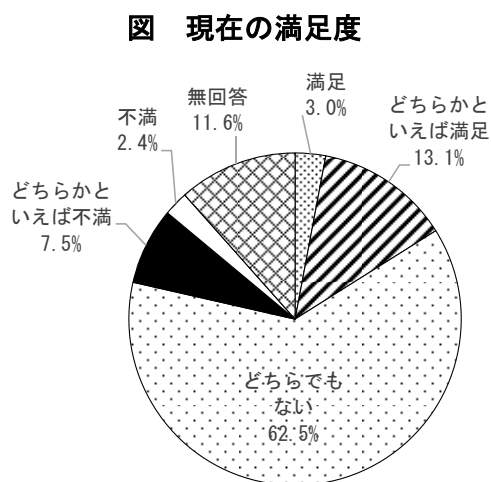


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	25	88	454	48	20
	(100.0)	(3.5)	(12.5)	(64.3)	(6.8)	(2.8)
女性	837	21	114	512	66	17
	(100.0)	(2.5)	(13.6)	(61.2)	(7.9)	(2.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	4	8	79	4	0
	(100.0)	(4.0)	(8.0)	(79.0)	(4.0)	(0.0)
30歳代	189	7	31	129	12	5
	(100.0)	(3.7)	(16.4)	(68.3)	(6.3)	(2.6)
40歳代	259	11	29	194	17	5
	(100.0)	(4.2)	(11.2)	(74.9)	(6.6)	(1.9)
50歳代	203	4	27	148	14	4
	(100.0)	(2.0)	(13.3)	(72.9)	(6.9)	(2.0)
60歳代	346	7	42	222	29	13
	(100.0)	(2.0)	(12.1)	(64.2)	(8.4)	(3.8)
70歳代以上	446	13	65	194	38	10
	(100.0)	(2.9)	(14.6)	(43.5)	(8.5)	(2.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	4	31	143	16	9
	(100.0)	(1.7)	(13.2)	(60.9)	(6.8)	(3.8)
地区B	257	12	40	147	19	7
	(100.0)	(4.7)	(15.6)	(57.2)	(7.4)	(2.7)
地区C	413	17	47	265	27	9
	(100.0)	(4.1)	(11.4)	(64.2)	(6.5)	(2.2)
地区D	370	7	58	244	26	3
	(100.0)	(1.9)	(15.7)	(65.9)	(7.0)	(0.8)
地区E	190	5	21	118	18	6
	(100.0)	(2.6)	(11.1)	(62.1)	(9.5)	(3.2)
地区F	77	1	4	49	8	3
	(100.0)	(1.3)	(5.2)	(63.6)	(10.4)	(3.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

4. 地域福祉

現在の満足度は19.9%（「満足」2.1%+「どちらかといえば満足」17.8%）、不満度は15.0%（「どちらかといえば不満」11.3%+「不満」3.7%）で、それぞれ14番目、9番目となっています。

今後の重要度は73.8%（「重要」43.5%+「まあ重要」30.3%）で6番目となっており、加重平均値からみると第2象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性、女性ともに19.9%となっており、不満度は女性（16.4%）が男性（13.3%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は20歳代以下（26.0%）で、不満度は60歳代（19.1%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（24.9%）で、不満度は地区F（22.1%）で最も高くなっています。

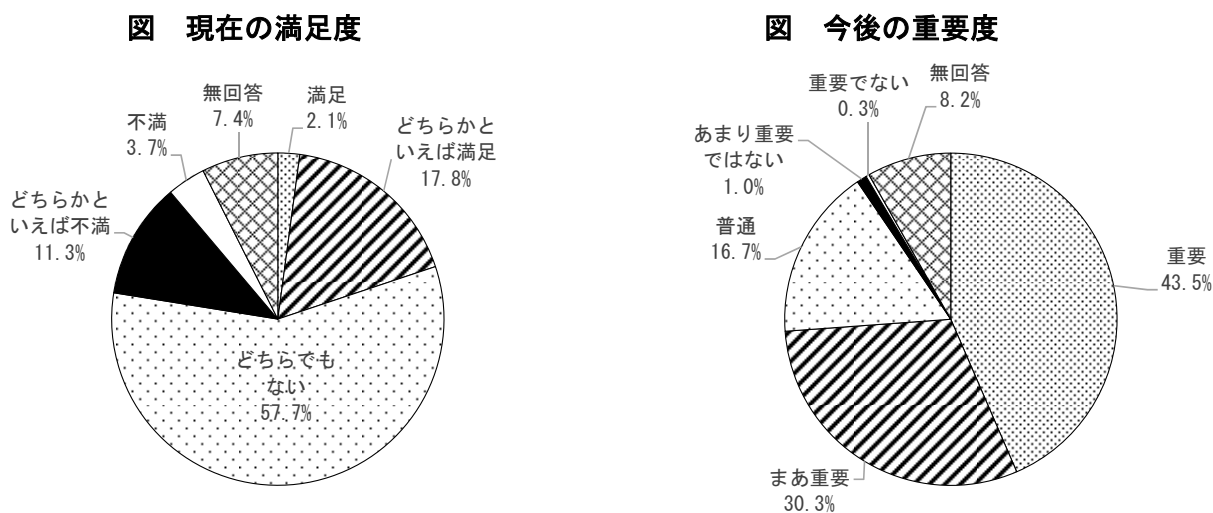


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	13	128	434	72	22
	(100.0)	(1.8)	(18.1)	(61.5)	(10.2)	(3.1)
女性	837	19	147	457	101	36
	(100.0)	(2.3)	(17.6)	(54.6)	(12.1)	(4.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	24	63	3	4
	(100.0)	(2.0)	(24.0)	(63.0)	(3.0)	(4.0)
30歳代	189	4	37	115	23	4
	(100.0)	(2.1)	(19.6)	(60.8)	(12.2)	(2.1)
40歳代	259	8	39	175	28	7
	(100.0)	(3.1)	(15.1)	(67.6)	(10.8)	(2.7)
50歳代	203	3	40	134	16	4
	(100.0)	(1.5)	(19.7)	(66.0)	(7.9)	(2.0)
60歳代	346	4	54	204	45	21
	(100.0)	(1.2)	(15.6)	(59.0)	(13.0)	(6.1)
70歳代以上	446	11	81	200	58	18
	(100.0)	(2.5)	(18.2)	(44.8)	(13.0)	(4.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	3	40	137	24	11
	(100.0)	(1.3)	(17.0)	(58.3)	(10.2)	(4.7)
地区B	257	10	54	138	29	8
	(100.0)	(3.9)	(21.0)	(53.7)	(11.3)	(3.1)
地区C	413	8	65	253	40	18
	(100.0)	(1.9)	(15.7)	(61.3)	(9.7)	(4.4)
地区D	370	6	78	219	40	7
	(100.0)	(1.6)	(21.1)	(59.2)	(10.8)	(1.9)
地区E	190	4	28	101	28	9
	(100.0)	(2.1)	(14.7)	(53.2)	(14.7)	(4.7)
地区F	77	1	9	43	12	5
	(100.0)	(1.3)	(11.7)	(55.8)	(15.6)	(6.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

5. 健康づくり

現在の満足度は26.2%（「満足」3.3%+「どちらかといえば満足」22.9%）、不満度は14.7%（「どちらかといえば不満」11.7%+「不満」3.0%）で、それぞれ8番目、10番目となっています。

今後の重要度は73.1%（「重要」38.3%+「まあ重要」34.8%）で8番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（29.6%）が男性（22.4%）を上回っており、不満度は男性（15.4%）が女性（13.9%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（33.6%）で、不満度は60歳代（20.2%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区A（27.2%）で、不満度は地区F（20.8%）で最も高くなっています。

図 現在の満足度

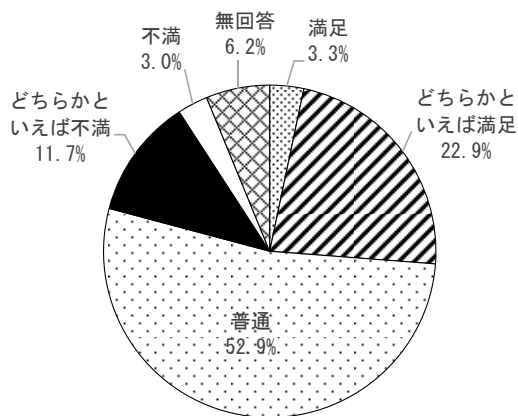


図 今後の重要度

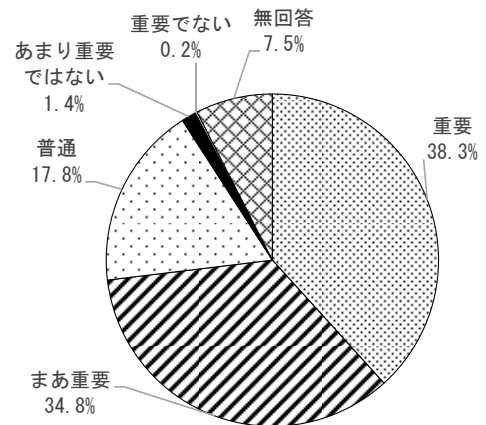


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満
男性	706	19	139	406	91	18
	(100.0)	(2.7)	(19.7)	(57.5)	(12.9)	(2.5)
女性	837	32	216	411	89	28
	(100.0)	(3.8)	(25.8)	(49.1)	(10.6)	(3.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	3	21	62	5	4
	(100.0)	(3.0)	(21.0)	(62.0)	(5.0)	(4.0)
30歳代	189	9	38	109	16	11
	(100.0)	(4.8)	(20.1)	(57.7)	(8.5)	(5.8)
40歳代	259	8	51	167	23	8
	(100.0)	(3.1)	(19.7)	(64.5)	(8.9)	(3.1)
50歳代	203	4	39	122	29	6
	(100.0)	(2.0)	(19.2)	(60.1)	(14.3)	(3.0)
60歳代	346	9	74	180	61	9
	(100.0)	(2.6)	(21.4)	(52.0)	(17.6)	(2.6)
70歳代以上	446	18	132	177	46	8
	(100.0)	(4.0)	(29.6)	(39.7)	(10.3)	(1.8)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	5	59	124	24	4
	(100.0)	(2.1)	(25.1)	(52.8)	(10.2)	(1.7)
地区B	257	15	54	129	30	10
	(100.0)	(5.8)	(21.0)	(50.2)	(11.7)	(3.9)
地区C	413	8	101	211	56	12
	(100.0)	(1.9)	(24.5)	(51.1)	(13.6)	(2.9)
地区D	370	17	80	211	38	8
	(100.0)	(4.6)	(21.6)	(57.0)	(10.3)	(2.2)
地区E	190	6	45	101	20	8
	(100.0)	(3.2)	(23.7)	(53.2)	(10.5)	(4.2)
地区F	77	0	15	41	12	4
	(100.0)	(0.0)	(19.5)	(53.2)	(15.6)	(5.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

6. 社会保障

現在の満足度は16.4%（「満足」2.6%+「どちらかといえば満足」13.8%）、不満度は18.6%（「どちらかといえば不満」14.0%+「不満」4.6%）で、それぞれ17番目（20.「みんなで地域づくり」、22.「行財政運営」と同率）、5番目となっています。

今後の重要度は70.3%（「重要」38.3%+「まあ重要」32.0%）で10番目となっており、加重平均値からみると第2象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（16.1%）が女性（16.6%）でほぼ同じとなっており、不満度は女性（19.2%）が男性（17.7%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（19.5%）で、不満度は50歳代（24.1%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（21.0%）で、不満度は地区E（25.8%）で最も高くなっています。

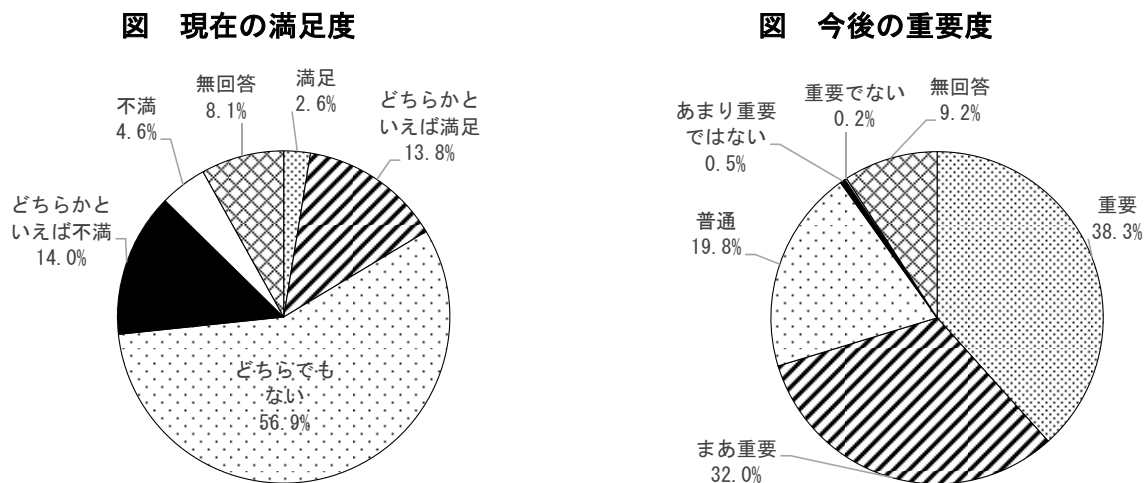


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	18	96	428	88	37
	(100.0)	(2.5)	(13.6)	(60.6)	(12.5)	(5.2)
女性	837	21	118	453	128	33
	(100.0)	(2.5)	(14.1)	(54.1)	(15.3)	(3.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	1	15	64	11	5
	(100.0)	(1.0)	(15.0)	(64.0)	(11.0)	(5.0)
30歳代	189	6	21	123	22	11
	(100.0)	(3.2)	(11.1)	(65.1)	(11.6)	(5.8)
40歳代	259	9	33	175	28	10
	(100.0)	(3.5)	(12.7)	(67.6)	(10.8)	(3.9)
50歳代	203	6	24	118	42	7
	(100.0)	(3.0)	(11.8)	(58.1)	(20.7)	(3.4)
60歳代	346	6	45	198	58	20
	(100.0)	(1.7)	(13.0)	(57.2)	(16.8)	(5.8)
70歳代以上	446	11	76	203	55	16
	(100.0)	(2.5)	(17.0)	(45.5)	(12.3)	(3.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	8	29	138	29	10
	(100.0)	(3.4)	(12.3)	(58.7)	(12.3)	(4.3)
地区B	257	9	45	130	34	16
	(100.0)	(3.5)	(17.5)	(50.6)	(13.2)	(6.2)
地区C	413	10	52	238	60	21
	(100.0)	(2.4)	(12.6)	(57.6)	(14.5)	(5.1)
地区D	370	6	57	235	44	4
	(100.0)	(1.6)	(15.4)	(63.5)	(11.9)	(1.1)
地区E	190	5	24	94	37	12
	(100.0)	(2.6)	(12.6)	(49.5)	(19.5)	(6.3)
地区F	77	1	6	45	12	7
	(100.0)	(1.3)	(7.8)	(58.4)	(15.6)	(9.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

7. 防災・減災

現在の満足度は25.6%（「満足」3.5%+「どちらかといえば満足」22.1%）、不満度は16.1%（「どちらかといえば不満」12.7%+「不満」3.4%）で、それぞれ9番目、7番目となっています。

今後の重要度は77.9%（「重要」50.9%+「まあ重要」27.0%）で2番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（26.3%）が男性（24.6%）を上回っており、不満度は男性（17.7%）が女性（14.6%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は30歳代（27.6%）で、不満度は50歳代（21.1%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区D（31.1%）で、不満度は地区F（31.2%）で最も高くなっています。

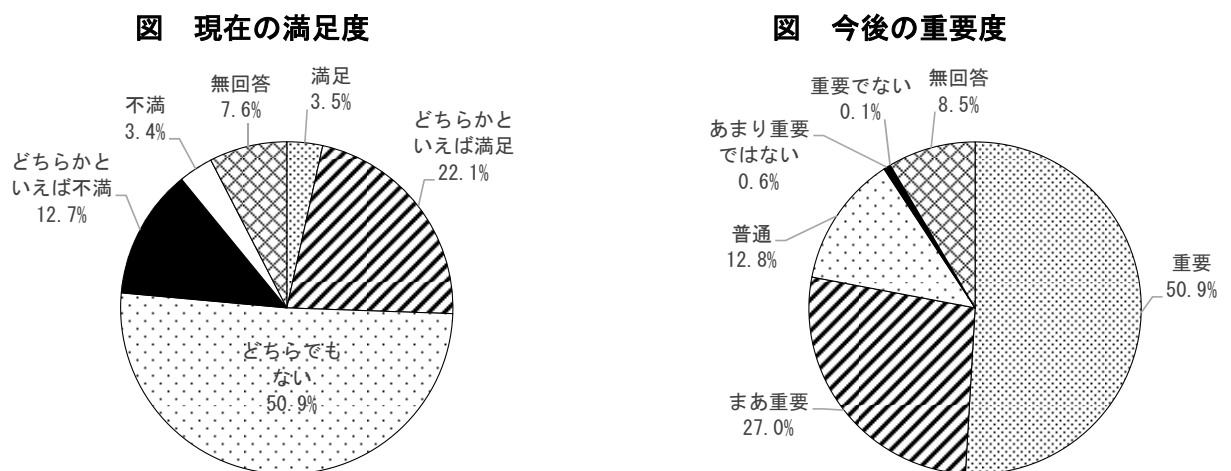


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	24 (3.4)	150 (21.2)	372 (52.7)	100 (14.2)	25 (3.5)
女性	837 (100.0)	29 (3.5)	191 (22.8)	414 (49.5)	96 (11.5)	26 (3.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	25	55	12	2
	(100.0)	(2.0)	(25.0)	(55.0)	(12.0)	(2.0)
30歳代	189	9	43	109	17	4
	(100.0)	(4.8)	(22.8)	(57.7)	(9.0)	(2.1)
40歳代	259	8	55	148	36	9
	(100.0)	(3.1)	(21.2)	(57.1)	(13.9)	(3.5)
50歳代	203	5	40	111	35	8
	(100.0)	(2.5)	(19.7)	(54.7)	(17.2)	(3.9)
60歳代	346	8	77	185	43	14
	(100.0)	(2.3)	(22.3)	(53.5)	(12.4)	(4.0)
70歳代以上	446	21	101	178	53	14
	(100.0)	(4.7)	(22.6)	(39.9)	(11.9)	(3.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	5	53	120	28	7
	(100.0)	(2.1)	(22.6)	(51.1)	(11.9)	(3.0)
地区B	257	16	62	115	31	14
	(100.0)	(6.2)	(24.1)	(44.7)	(12.1)	(5.4)
地区C	413	13	73	223	56	15
	(100.0)	(3.1)	(17.7)	(54.0)	(13.6)	(3.6)
地区D	370	10	105	199	31	5
	(100.0)	(2.7)	(28.4)	(53.8)	(8.4)	(1.4)
地区E	190	8	38	90	31	5
	(100.0)	(4.2)	(20.0)	(47.4)	(16.3)	(2.6)
地区F	77	1	9	39	19	5
	(100.0)	(1.3)	(11.7)	(50.6)	(24.7)	(6.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

8. 消防・救急

現在の満足度は39.2%（「満足」7.6%+「どちらかといえば満足」31.6%）、不満度は8.7%（「どちらかといえば不満」5.9%+「不満」2.8%）で、それぞれ2番目、22番目となっています。

今後の重要度は77.1%（「重要」48.7%+「まあ重要」28.4%）で4番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（39.9%）が男性（38.4%）を上回っており、不満度は男性（9.0%）が女性（8.5%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（46.6%）で、不満度は50歳代（11.3%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区E（45.2%）で、不満度は地区F（44.2%）で最も高くなっています。

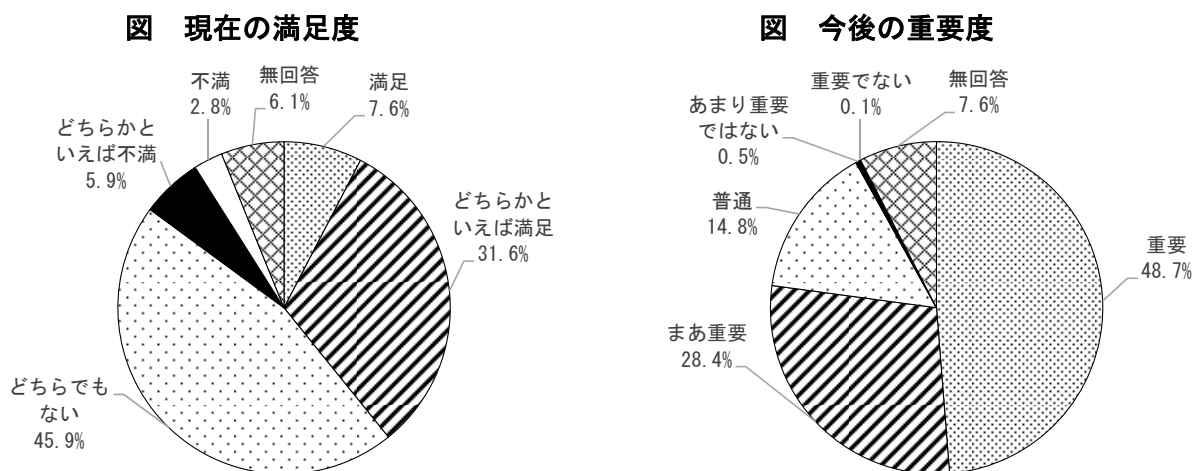


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	41	230	342	42	22
	(100.0)	(5.8)	(32.6)	(48.4)	(5.9)	(3.1)
女性	837	76	258	368	49	22
	(100.0)	(9.1)	(30.8)	(44.0)	(5.9)	(2.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	7	23	61	4	1
	(100.0)	(7.0)	(23.0)	(61.0)	(4.0)	(1.0)
30歳代	189	20	48	94	13	8
	(100.0)	(10.6)	(25.4)	(49.7)	(6.9)	(4.2)
40歳代	259	18	82	131	17	9
	(100.0)	(6.9)	(31.7)	(50.6)	(6.6)	(3.5)
50歳代	203	10	64	101	15	8
	(100.0)	(4.9)	(31.5)	(49.8)	(7.4)	(3.9)
60歳代	346	17	107	185	18	9
	(100.0)	(4.9)	(30.9)	(53.5)	(5.2)	(2.6)
70歳代以上	446	45	163	138	24	9
	(100.0)	(10.1)	(36.5)	(30.9)	(5.4)	(2.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	18	81	105	10	5
	(100.0)	(7.7)	(34.5)	(44.7)	(4.3)	(2.1)
地区B	257	22	88	102	16	10
	(100.0)	(8.6)	(34.2)	(39.7)	(6.2)	(3.9)
地区C	413	32	121	210	19	7
	(100.0)	(7.7)	(29.3)	(50.8)	(4.6)	(1.7)
地区D	370	28	116	186	19	3
	(100.0)	(7.6)	(31.4)	(50.3)	(5.1)	(0.8)
地区E	190	16	70	81	7	5
	(100.0)	(8.4)	(36.8)	(42.6)	(3.7)	(2.6)
地区F	77	1	11	25	20	14
	(100.0)	(1.3)	(14.3)	(32.5)	(26.0)	(18.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

9. 防犯・交通安全・消費者保護

現在の満足度は26.5%（「満足」3.8%+「どちらかといえば満足」22.7%）、不満度は12.6%（「どちらかといえば不満」9.6%+「不満」3.0%）で、それぞれ6番目、12番目（16.「生活基盤」と同率）となっています。

今後の重要度は73.5%（「重要」38.5%+「まあ重要」35.0%）で7番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（28.6%）が男性（24.1%）を上回っており、不満度は男性（14.6%）が女性（10.8%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（29.4%）で、不満度は50歳代（15.3%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（29.9%）で、不満度は地区F（36.4%）で最も高くなっています。

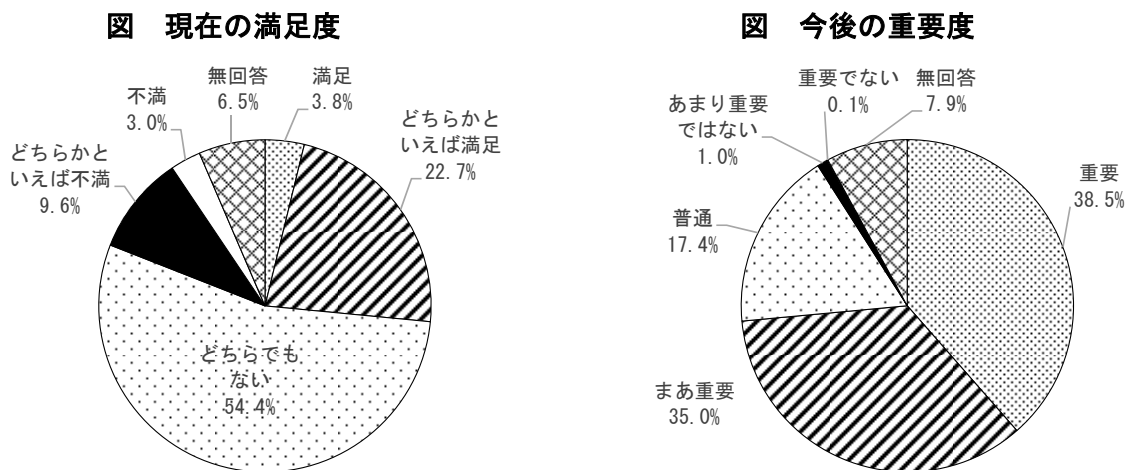


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	23 (3.3)	147 (20.8)	399 (56.5)	80 (11.3)	23 (3.3)
女性	837 (100.0)	35 (4.2)	204 (24.4)	443 (52.9)	68 (8.1)	23 (2.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	1	25	59	8	2
	(100.0)	(1.0)	(25.0)	(59.0)	(8.0)	(2.0)
30歳代	189	8	38	115	13	9
	(100.0)	(4.2)	(20.1)	(60.8)	(6.9)	(4.8)
40歳代	259	9	62	150	25	11
	(100.0)	(3.5)	(23.9)	(57.9)	(9.7)	(4.2)
50歳代	203	8	49	112	27	4
	(100.0)	(3.9)	(24.1)	(55.2)	(13.3)	(2.0)
60歳代	346	8	70	208	38	9
	(100.0)	(2.3)	(20.2)	(60.1)	(11.0)	(2.6)
70歳代以上	446	24	107	197	37	11
	(100.0)	(5.4)	(24.0)	(44.2)	(8.3)	(2.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	7	58	125	17	6
	(100.0)	(3.0)	(24.7)	(53.2)	(7.2)	(2.6)
地区B	257	16	61	124	33	6
	(100.0)	(6.2)	(23.7)	(48.2)	(12.8)	(2.3)
地区C	413	12	85	247	35	11
	(100.0)	(2.9)	(20.6)	(59.8)	(8.5)	(2.7)
地区D	370	13	94	213	30	6
	(100.0)	(3.5)	(25.4)	(57.6)	(8.1)	(1.6)
地区E	190	9	45	97	14	8
	(100.0)	(4.7)	(23.7)	(51.1)	(7.4)	(4.2)
地区F	77	1	7	35	19	9
	(100.0)	(1.3)	(9.1)	(45.5)	(24.7)	(11.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

10. 子ども教育

現在の満足度は22.8%（「満足」3.2%+「どちらかといえば満足」19.6%）、不満度は12.2%（「どちらかといえば不満」9.6%+「不満」2.6%）で、それぞれ10番目（12.「文化、スポーツ」と同率）、17番目となっています。

今後の重要度は71.8%（「重要」44.4%+「まあ重要」27.4%）で9番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

「小学校入学前の子どもがいる」世帯（178世帯）と「小・中学生の子どもがいる」世帯（219世帯）をみると、「小学校入学前の子どもがいる」世帯は、満足度が34.3%で市平均を上回っているものの、不満度も20.2%でやや高くなっています。また、「小・中学生の子どもがいる」世帯についても満足度が41.5%で市平均を上回っているものの、不満度も23.3%と高い水準にあります。

性別にみると、満足度は女性（23.6%）が男性（22.1%）を上回っており、不満度は男性及び女性ともに（12.2%）となっています。

年代別にみると、満足度は40歳代（30.5%）で、不満度も40歳代（18.6%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B、地区D（25.7%）で、不満度は地区F（31.2%）で最も高くなっています。

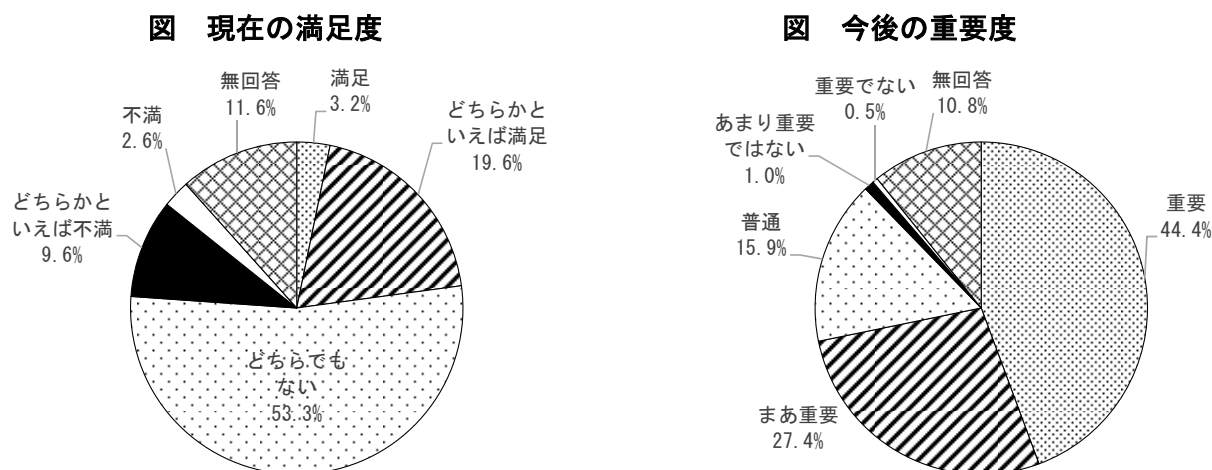


表 現在の満足度（子どものいる世帯）

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
小学校入学前の子どもがいる	178 (100.0)	13 (7.3)	48 (27.0)	78 (43.8)	28 (15.7)	8 (4.5)
小・中学生の子どもがいる	219 (100.0)	15 (6.8)	76 (34.7)	72 (32.9)	44 (20.1)	7 (3.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	22	134	400	70	16
	(100.0)	(3.1)	(19.0)	(56.7)	(9.9)	(2.3)
女性	837	28	170	424	77	25
	(100.0)	(3.3)	(20.3)	(50.7)	(9.2)	(3.0)

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	23	60	8	3
	(100.0)	(2.0)	(23.0)	(60.0)	(8.0)	(3.0)
30歳代	189	13	39	99	23	9
	(100.0)	(6.9)	(20.6)	(52.4)	(12.2)	(4.8)
40歳代	259	15	64	128	38	10
	(100.0)	(5.8)	(24.7)	(49.4)	(14.7)	(3.9)
50歳代	203	4	37	134	18	4
	(100.0)	(2.0)	(18.2)	(66.0)	(8.9)	(2.0)
60歳代	346	4	54	217	29	8
	(100.0)	(1.2)	(15.6)	(62.7)	(8.4)	(2.3)
70歳代以上	446	12	87	185	31	7
	(100.0)	(2.7)	(19.5)	(41.5)	(7.0)	(1.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	4	55	111	23	8
	(100.0)	(1.7)	(23.4)	(47.2)	(9.8)	(3.4)
地区B	257	10	56	136	19	3
	(100.0)	(3.9)	(21.8)	(52.9)	(7.4)	(1.2)
地区C	413	15	71	233	35	14
	(100.0)	(3.6)	(17.2)	(56.4)	(8.5)	(3.4)
地区D	370	11	84	205	30	8
	(100.0)	(3.0)	(22.7)	(55.4)	(8.1)	(2.2)
地区E	190	10	30	100	20	4
	(100.0)	(5.3)	(15.8)	(52.6)	(10.5)	(2.1)
地区F	77	0	7	38	20	4
	(100.0)	(0.0)	(9.1)	(49.4)	(26.0)	(5.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

11. 生涯学習

現在の満足度は17.5%（「満足」2.0%+「どちらかといえば満足」15.5%）、不満度は9.8%（「どちらかといえば不満」7.9%+「不満」1.9%）で、それぞれ15番目、20番目となっています。

今後の重要度は48.9%（「重要」18.1%+「まあ重要」30.8%）で19番目となっており、加重平均値からみると第4象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（18.9%）が男性（15.9%）を上回っており、不満度も男性（11.8%）が女性（8.3%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（23.4%）で、不満度は20歳代以下（12.0%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（21.4%）で、不満度は地区F（20.8%）で最も高くなっています。

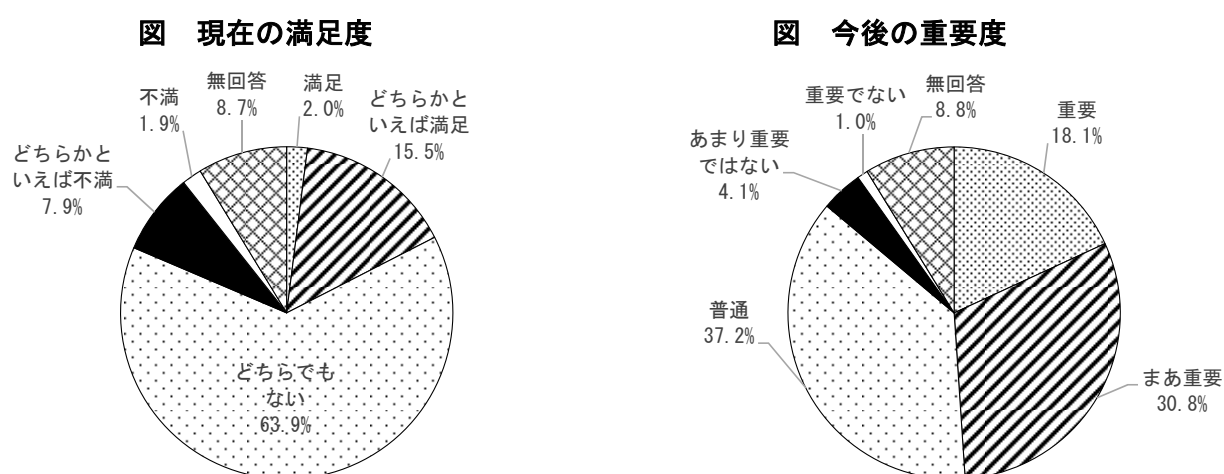


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	11 (1.6)	101 (14.3)	468 (66.3)	67 (9.5)	16 (2.3)
女性	837 (100.0)	20 (2.4)	138 (16.5)	521 (62.2)	55 (6.6)	14 (1.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	12	69	10	2
	(100.0)	(2.0)	(12.0)	(69.0)	(10.0)	(2.0)
30歳代	189	7	27	134	12	2
	(100.0)	(3.7)	(14.3)	(70.9)	(6.3)	(1.1)
40歳代	259	6	30	202	11	8
	(100.0)	(2.3)	(11.6)	(78.0)	(4.2)	(3.1)
50歳代	203	3	27	145	23	1
	(100.0)	(1.5)	(13.3)	(71.4)	(11.3)	(0.5)
60歳代	346	2	50	229	31	10
	(100.0)	(0.6)	(14.5)	(66.2)	(9.0)	(2.9)
70歳代以上	446	11	93	209	35	7
	(100.0)	(2.5)	(20.9)	(46.9)	(7.8)	(1.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	6	40	146	15	5
	(100.0)	(2.6)	(17.0)	(62.1)	(6.4)	(2.1)
地区B	257	10	45	152	21	6
	(100.0)	(3.9)	(17.5)	(59.1)	(8.2)	(2.3)
地区C	413	6	57	282	27	6
	(100.0)	(1.5)	(13.8)	(68.3)	(6.5)	(1.5)
地区D	370	7	56	248	28	6
	(100.0)	(1.9)	(15.1)	(67.0)	(7.6)	(1.6)
地区E	190	2	35	111	19	3
	(100.0)	(1.1)	(18.4)	(58.4)	(10.0)	(1.6)
地区F	77	0	5	49	12	4
	(100.0)	(0.0)	(6.5)	(63.6)	(15.6)	(5.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

12. 文化、スポーツ

現在の満足度は22.8%（「満足」3.0%+「どちらかといえば満足」19.8%）、不満度は13.6%（「どちらかといえば不満」10.0%+「不満」3.6%）で、それぞれ10番目（10.「子ども教育」と同率）、11番目となっています。

今後の重要度は47.2%（「重要」17.4%+「まあ重要」29.8%）で20番目となっており、加重平均値からみると第4象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（25.7%）が男性（19.4%）を上回っており、不満度は男性（16.0%）が女性（11.6%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（25.5%）で、不満度は20歳代以下（16.0%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（26.5%）で、不満度は地区F（27.3%）で最も高くなっています。

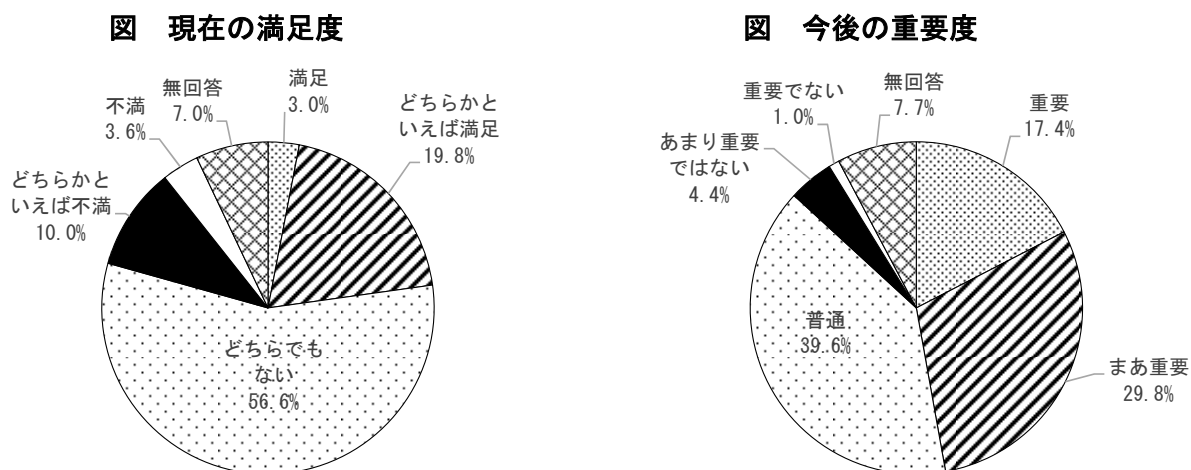


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	20	117	419	83	30
	(100.0)	(2.8)	(16.6)	(59.3)	(11.8)	(4.2)
女性	837	27	188	456	71	26
	(100.0)	(3.2)	(22.5)	(54.5)	(8.5)	(3.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	4	18	58	12	4
	(100.0)	(4.0)	(18.0)	(58.0)	(12.0)	(4.0)
30歳代	189	9	37	112	18	7
	(100.0)	(4.8)	(19.6)	(59.3)	(9.5)	(3.7)
40歳代	259	11	46	171	15	14
	(100.0)	(4.2)	(17.8)	(66.0)	(5.8)	(5.4)
50歳代	203	4	38	129	23	6
	(100.0)	(2.0)	(18.7)	(63.5)	(11.3)	(3.0)
60歳代	346	6	65	201	39	15
	(100.0)	(1.7)	(18.8)	(58.1)	(11.3)	(4.3)
70歳代以上	446	13	101	203	47	10
	(100.0)	(2.9)	(22.6)	(45.5)	(10.5)	(2.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	6	45	143	18	5
	(100.0)	(2.6)	(19.1)	(60.9)	(7.7)	(2.1)
地区B	257	10	58	134	24	10
	(100.0)	(3.9)	(22.6)	(52.1)	(9.3)	(3.9)
地区C	413	12	71	241	41	18
	(100.0)	(2.9)	(17.2)	(58.4)	(9.9)	(4.4)
地区D	370	12	75	215	40	10
	(100.0)	(3.2)	(20.3)	(58.1)	(10.8)	(2.7)
地区E	190	6	42	104	15	8
	(100.0)	(3.2)	(22.1)	(54.7)	(7.9)	(4.2)
地区F	77	1	12	38	16	5
	(100.0)	(1.3)	(15.6)	(49.4)	(20.8)	(6.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

13. 環境保全

現在の満足度は28.2%（「満足」3.5%+「どちらかといえば満足」24.7%）、不満度は15.3%（「どちらかといえば不満」12.3%+「不満」3.0%）で、それぞれ5番目、8番目となっています。

今後の重要度は63.5%（「重要」26.2%+「まあ重要」37.3%）で14番目となっており、加重平均値からみると第4象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（28.3%）が女性（27.9%）でほぼ同じとなっており、不満度も男性（15.4%）、女性（15.2%）でほぼ同じとなっています。

年代別にみると、満足度は20歳代以下（36.0%）で、不満度は50歳代（17.8%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区F（35.1%）で、不満度は地区E（22.1%）で最も高くなっています。

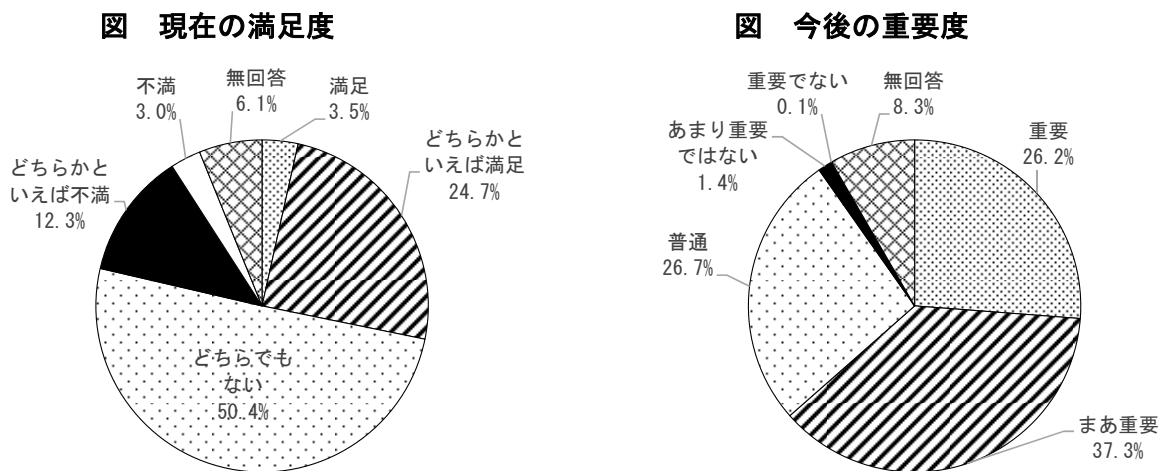


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	32 (4.5)	168 (23.8)	371 (52.5)	92 (13.0)	17 (2.4)
女性	837 (100.0)	22 (2.6)	212 (25.3)	408 (48.7)	98 (11.7)	29 (3.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	3	33	51	5	3
	(100.0)	(3.0)	(33.0)	(51.0)	(5.0)	(3.0)
30歳代	189	10	46	103	20	5
	(100.0)	(5.3)	(24.3)	(54.5)	(10.6)	(2.6)
40歳代	259	10	62	149	28	7
	(100.0)	(3.9)	(23.9)	(57.5)	(10.8)	(2.7)
50歳代	203	5	51	107	30	6
	(100.0)	(2.5)	(25.1)	(52.7)	(14.8)	(3.0)
60歳代	346	7	70	195	48	11
	(100.0)	(2.0)	(20.2)	(56.4)	(13.9)	(3.2)
70歳代以上	446	19	119	174	59	13
	(100.0)	(4.3)	(26.7)	(39.0)	(13.2)	(2.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	7	59	115	37	6
	(100.0)	(3.0)	(25.1)	(48.9)	(15.7)	(2.6)
地区B	257	10	61	130	29	10
	(100.0)	(3.9)	(23.7)	(50.6)	(11.3)	(3.9)
地区C	413	11	88	227	49	11
	(100.0)	(2.7)	(21.3)	(55.0)	(11.9)	(2.7)
地区D	370	13	102	194	35	6
	(100.0)	(3.5)	(27.6)	(52.4)	(9.5)	(1.6)
地区E	190	11	45	76	31	11
	(100.0)	(5.8)	(23.7)	(40.0)	(16.3)	(5.8)
地区F	77	2	25	36	9	2
	(100.0)	(2.6)	(32.5)	(46.8)	(11.7)	(2.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

14. 循環型社会

現在の満足度は33.3%（「満足」3.7%+「どちらかといえば満足」29.6%）、不満度は12.5%（「どちらかといえば不満」10.2%+「不満」2.3%）で、それぞれ4番目、14番目となっています。

今後の重要度は66.1%（「重要」29.6%+「まあ重要」36.5%）で13番目となっており、加重平均値からみると第4象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（34.5%）が男性（31.6%）を上回っており、不満度は男性（13.3%）が女性（12.0%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（39.7%）で、不満度は40歳代（15.5%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区F（36.4%）で、不満度は地区E（17.4%）で最も高くなっています。

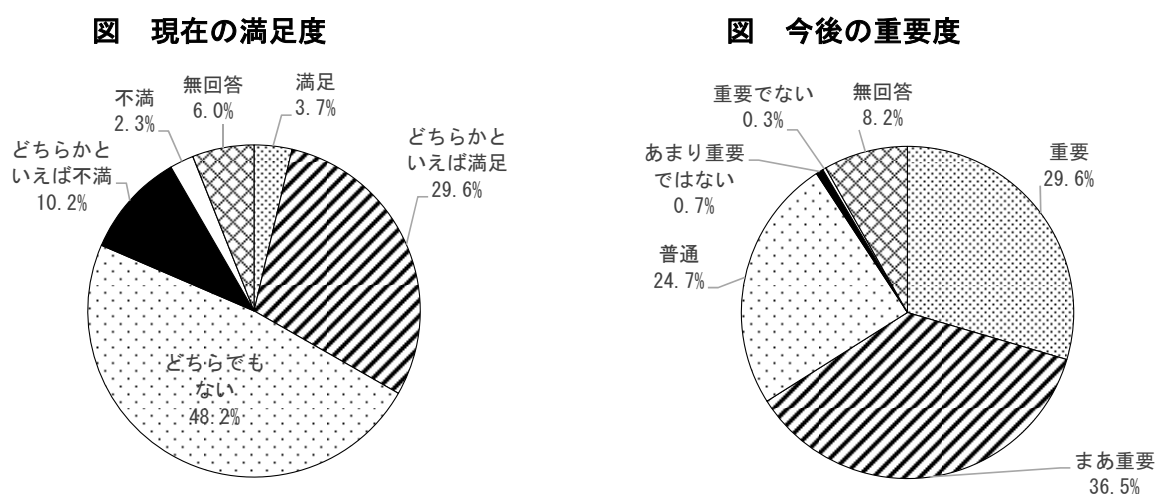


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	27 (3.8)	196 (27.8)	357 (50.6)	78 (11.0)	16 (2.3)
女性	837 (100.0)	30 (3.6)	259 (30.9)	388 (46.4)	80 (9.6)	20 (2.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	27	58	6	2
	(100.0)	(2.0)	(27.0)	(58.0)	(6.0)	(2.0)
30歳代	189	7	48	102	20	7
	(100.0)	(3.7)	(25.4)	(54.0)	(10.6)	(3.7)
40歳代	259	8	80	130	32	8
	(100.0)	(3.1)	(30.9)	(50.2)	(12.4)	(3.1)
50歳代	203	2	63	108	22	3
	(100.0)	(1.0)	(31.0)	(53.2)	(10.8)	(1.5)
60歳代	346	12	87	188	38	7
	(100.0)	(3.5)	(25.1)	(54.3)	(11.0)	(2.0)
70歳代以上	446	26	151	159	40	8
	(100.0)	(5.8)	(33.9)	(35.7)	(9.0)	(1.8)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	10	75	107	23	6
	(100.0)	(4.3)	(31.9)	(45.5)	(9.8)	(2.6)
地区B	257	10	78	113	29	8
	(100.0)	(3.9)	(30.4)	(44.0)	(11.3)	(3.1)
地区C	413	12	114	216	41	7
	(100.0)	(2.9)	(27.6)	(52.3)	(9.9)	(1.7)
地区D	370	12	105	199	30	7
	(100.0)	(3.2)	(28.4)	(53.8)	(8.1)	(1.9)
地区E	190	11	56	75	26	7
	(100.0)	(5.8)	(29.5)	(39.5)	(13.7)	(3.7)
地区F	77	2	26	35	9	1
	(100.0)	(2.6)	(33.8)	(45.5)	(11.7)	(1.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

15. 住環境

現在の満足度は35.1%（「満足」5.4%+「どちらかといえば満足」29.7%）、不満度は12.4%（「どちらかといえば不満」9.2%+「不満」3.2%）で、それぞれ3番目、15番目（21.「シティセールス」と同率）となっています。

今後の重要度は62.1%（「重要」25.9%+「まあ重要」36.2%）で15番目となっており、加重平均値からみると第4象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（35.6%）が男性（34.3%）を上回っており、不満度は男性（13.3%）が女性（11.7%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（37.6%）で最も高く、不満度は40歳代（15.1%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区D（41.6%）で最も高く、不満度も地区E（20.0%）で最も高くなっています。

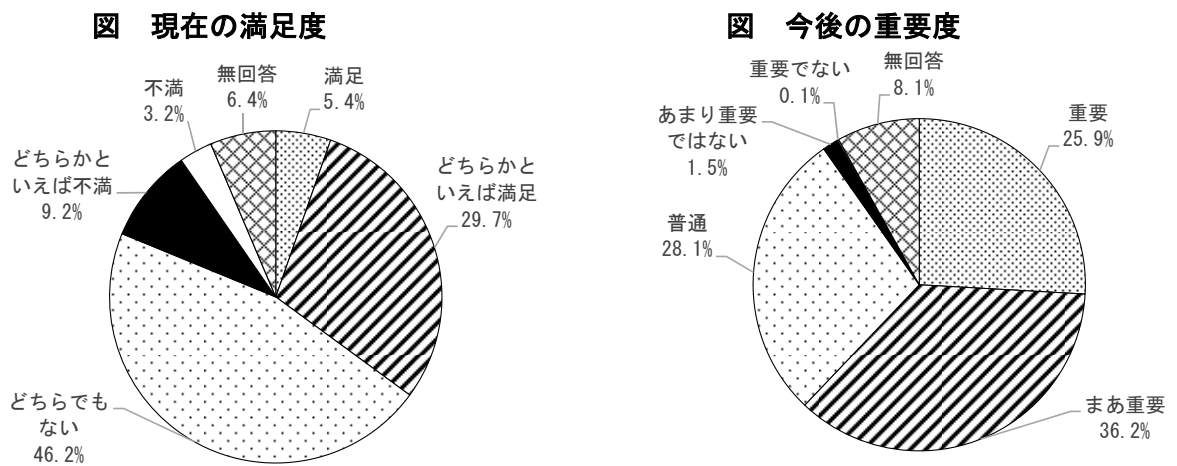


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	40	202	344	67	27
	(100.0)	(5.7)	(28.6)	(48.7)	(9.5)	(3.8)
女性	837	42	256	369	75	23
	(100.0)	(5.0)	(30.6)	(44.1)	(9.0)	(2.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	5	31	46	11	1
	(100.0)	(5.0)	(31.0)	(46.0)	(11.0)	(1.0)
30歳代	189	11	63	81	16	12
	(100.0)	(5.8)	(33.3)	(42.9)	(8.5)	(6.3)
40歳代	259	17	77	124	30	9
	(100.0)	(6.6)	(29.7)	(47.9)	(11.6)	(3.5)
50歳代	203	3	62	108	23	4
	(100.0)	(1.5)	(30.5)	(53.2)	(11.3)	(2.0)
60歳代	346	11	93	186	31	10
	(100.0)	(3.2)	(26.9)	(53.8)	(9.0)	(2.9)
70歳代以上	446	35	133	167	31	14
	(100.0)	(7.8)	(29.8)	(37.4)	(7.0)	(3.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	11	82	98	20	13
	(100.0)	(4.7)	(34.9)	(41.7)	(8.5)	(5.5)
地区B	257	17	70	118	23	9
	(100.0)	(6.6)	(27.2)	(45.9)	(8.9)	(3.5)
地区C	413	17	92	229	38	7
	(100.0)	(4.1)	(22.3)	(55.4)	(9.2)	(1.7)
地区D	370	20	134	160	31	6
	(100.0)	(5.4)	(36.2)	(43.2)	(8.4)	(1.6)
地区E	190	15	51	72	25	13
	(100.0)	(7.9)	(26.8)	(37.9)	(13.2)	(6.8)
地区F	77	2	28	36	5	2
	(100.0)	(2.6)	(36.4)	(46.8)	(6.5)	(2.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

16. 生活基盤

現在の満足度は42.2%（「満足」9.0%+「どちらかといえば満足」33.2%）、不満度は12.6%（「どちらかといえば不満」9.4%+「不満」3.2%）で、それぞれ1番目、12番目（9.「防犯・交通安全・消費者保護」と同率）となっています。

今後の重要度は69.9%（「重要」37.2%+「まあ重要」32.7%）で11番目となっており、加重平均値からみると第1象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（42.2%）、女性（42.1%）でほぼ同じとなっており、不満度は男性（13.9%）が女性（11.6%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（49.3%）で、不満度は40歳代（15.0%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区A、地区D（48.1%）で、不満度は地区Cで（17.5%）で最も高くなっています。

図 現在の満足度

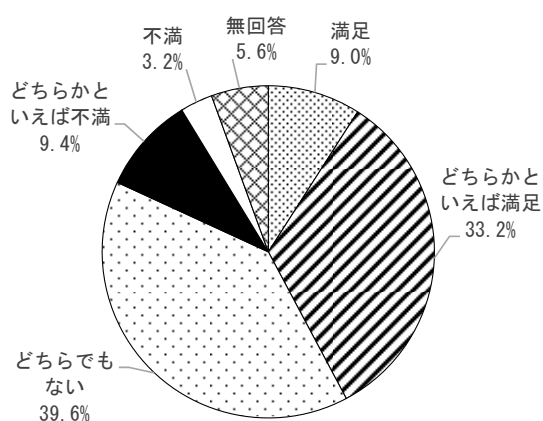


図 今後の重要度

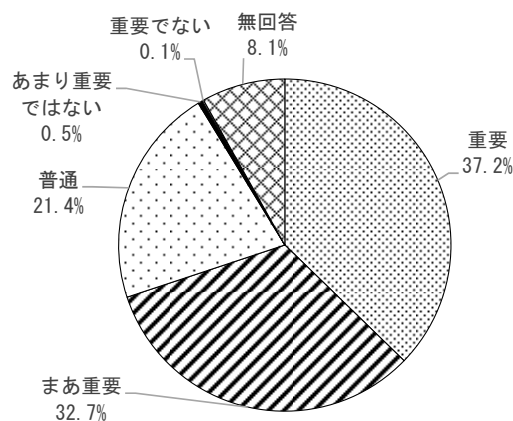


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	61	237	284	74	24
	(100.0)	(8.6)	(33.6)	(40.2)	(10.5)	(3.4)
女性	837	77	275	329	72	25
	(100.0)	(9.2)	(32.9)	(39.3)	(8.6)	(3.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	5	36	45	6	3
	(100.0)	(5.0)	(36.0)	(45.0)	(6.0)	(3.0)
30歳代	189	19	58	84	17	5
	(100.0)	(10.1)	(30.7)	(44.4)	(9.0)	(2.6)
40歳代	259	25	71	121	28	11
	(100.0)	(9.7)	(27.4)	(46.7)	(10.8)	(4.2)
50歳代	203	11	61	102	19	7
	(100.0)	(5.4)	(30.0)	(50.2)	(9.4)	(3.4)
60歳代	346	23	122	141	36	13
	(100.0)	(6.6)	(35.3)	(40.8)	(10.4)	(3.8)
70歳代以上	446	55	165	120	39	10
	(100.0)	(12.3)	(37.0)	(26.9)	(8.7)	(2.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	27	86	94	13	4
	(100.0)	(11.5)	(36.6)	(40.0)	(5.5)	(1.7)
地区B	257	22	78	95	32	11
	(100.0)	(8.6)	(30.4)	(37.0)	(12.5)	(4.3)
地区C	413	27	118	172	54	18
	(100.0)	(6.5)	(28.6)	(41.6)	(13.1)	(4.4)
地区D	370	35	143	149	24	4
	(100.0)	(9.5)	(38.6)	(40.3)	(6.5)	(1.1)
地区E	190	24	57	68	20	9
	(100.0)	(12.6)	(30.0)	(35.8)	(10.5)	(4.7)
地区F	77	3	29	35	3	3
	(100.0)	(3.9)	(37.7)	(45.5)	(3.9)	(3.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

17. 道路・交通

現在の満足度は22.4%（「満足」3.7%+「どちらかといえば満足」18.7%）、不満度は38.9%（「どちらかといえば不満」26.8%+「不満」12.1%）で、それぞれ12番目、1番目となっています。

今後の重要度は77.2%（「重要」42.0%+「まあ重要」35.2%）で3番目となっており、加重平均値からみると第2象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（23.4%）が女性（21.3%）を上回っており、不満度は男性（39.7%）が女性（38.5%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は20歳代以下（28.0%）で、不満度は50歳代（45.3%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区A（26.9%）で、不満度は地区F（50.7%）で最も高くなっています。

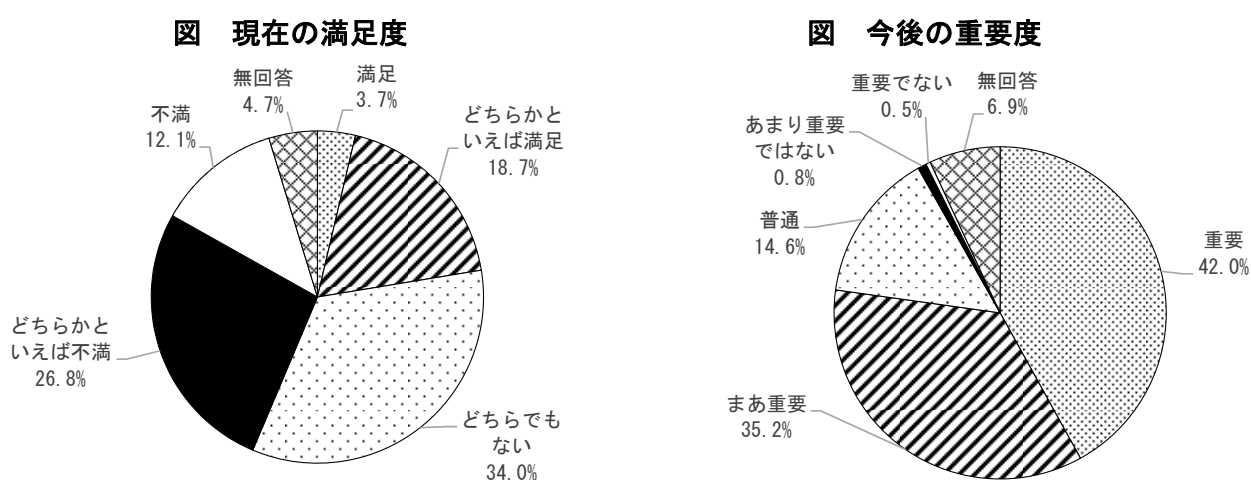


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	31 (4.4)	134 (19.0)	239 (33.9)	199 (28.2)	81 (11.5)
女性	837 (100.0)	25 (3.0)	153 (18.3)	286 (34.2)	215 (25.7)	107 (12.8)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	6	22	33	24	9
	(100.0)	(6.0)	(22.0)	(33.0)	(24.0)	(9.0)
30歳代	189	14	32	69	42	29
	(100.0)	(7.4)	(16.9)	(36.5)	(22.2)	(15.3)
40歳代	259	12	42	99	65	41
	(100.0)	(4.6)	(16.2)	(38.2)	(25.1)	(15.8)
50歳代	203	2	33	73	62	30
	(100.0)	(1.0)	(16.3)	(36.0)	(30.5)	(14.8)
60歳代	346	6	60	122	104	41
	(100.0)	(1.7)	(17.3)	(35.3)	(30.1)	(11.8)
70歳代以上	446	16	98	129	117	38
	(100.0)	(3.6)	(22.0)	(28.9)	(26.2)	(8.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	10	53	72	67	23
	(100.0)	(4.3)	(22.6)	(30.6)	(28.5)	(9.8)
地区B	257	13	53	81	67	32
	(100.0)	(5.1)	(20.6)	(31.5)	(26.1)	(12.5)
地区C	413	11	55	155	110	58
	(100.0)	(2.7)	(13.3)	(37.5)	(26.6)	(14.0)
地区D	370	11	83	137	94	32
	(100.0)	(3.0)	(22.4)	(37.0)	(25.4)	(8.6)
地区E	190	9	31	59	51	29
	(100.0)	(4.7)	(16.3)	(31.1)	(26.8)	(15.3)
地区F	77	2	11	21	25	14
	(100.0)	(2.6)	(14.3)	(27.3)	(32.5)	(18.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

18. 市街地形成

現在の満足度は17.3%（「満足」2.8%+「どちらかといえば満足」14.5%）、不満度は29.9%（「どちらかといえば不満」20.8%+「不満」9.1%）で、それぞれ16番目、2番目となっています。

今後の重要度は61.5%（「重要」30.0%+「まあ重要」31.5%）で16番目（22.「行財政運営」と同率）となっており、加重平均値からみると第3象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（17.4%）、女性（17.1%）ではほぼ同じとなっており、不満度は男性（30.9%）が女性（29.0%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は20歳代以下（23.0%）で、不満度は40歳代（36.0%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区A（20.8%）で、不満度は地区E（37.4%）で最も高くなっています。

図 現在の満足度

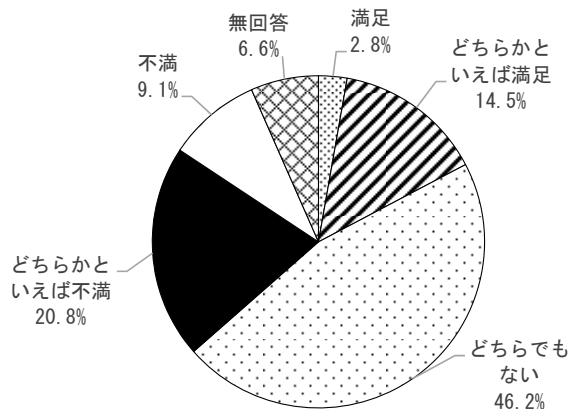


図 今後の重要度

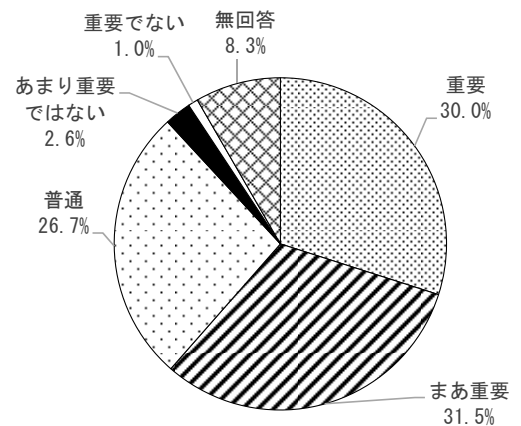


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	22	101	334	146	72
	(100.0)	(3.1)	(14.3)	(47.3)	(20.7)	(10.2)
女性	837	20	123	381	174	69
	(100.0)	(2.4)	(14.7)	(45.5)	(20.8)	(8.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	5	18	40	20	12
	(100.0)	(5.0)	(18.0)	(40.0)	(20.0)	(12.0)
30歳代	189	10	26	83	45	21
	(100.0)	(5.3)	(13.8)	(43.9)	(23.8)	(11.1)
40歳代	259	7	36	122	61	32
	(100.0)	(2.7)	(13.9)	(47.1)	(23.6)	(12.4)
50歳代	203	3	30	100	50	15
	(100.0)	(1.5)	(14.8)	(49.3)	(24.6)	(7.4)
60歳代	346	2	49	183	65	31
	(100.0)	(0.6)	(14.2)	(52.9)	(18.8)	(9.0)
70歳代以上	446	15	65	187	79	30
	(100.0)	(3.4)	(14.6)	(41.9)	(17.7)	(6.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	8	41	103	47	21
	(100.0)	(3.4)	(17.4)	(43.8)	(20.0)	(8.9)
地区B	257	8	45	108	51	24
	(100.0)	(3.1)	(17.5)	(42.0)	(19.8)	(9.3)
地区C	413	7	47	200	91	39
	(100.0)	(1.7)	(11.4)	(48.4)	(22.0)	(9.4)
地区D	370	13	64	180	70	26
	(100.0)	(3.5)	(17.3)	(48.6)	(18.9)	(7.0)
地区E	190	5	21	78	48	23
	(100.0)	(2.6)	(11.1)	(41.1)	(25.3)	(12.1)
地区F	77	1	5	46	13	8
	(100.0)	(1.3)	(6.5)	(59.7)	(16.9)	(10.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

19. 産業・就業支援

現在の満足度は10.7%（「満足」1.7%+「どちらかといえば満足」9.0%）、不満度は21.5%（「どちらかといえば不満」16.8%+「不満」4.7%）で、それぞれ23番目、3番目となっています。

今後の重要度は53.6%（「重要」21.6%+「まあ重要」32.0%）で18番目となっており、加重平均値からみると第3象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（10.7%）、女性（10.5%）ではほぼ同じとなっており、不満度は男性（23.5%）が女性（19.7%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（13.9%）で、不満度は50歳代（25.1%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（17.9%）で、不満度は地区E（23.7%）で最も高くなっています。

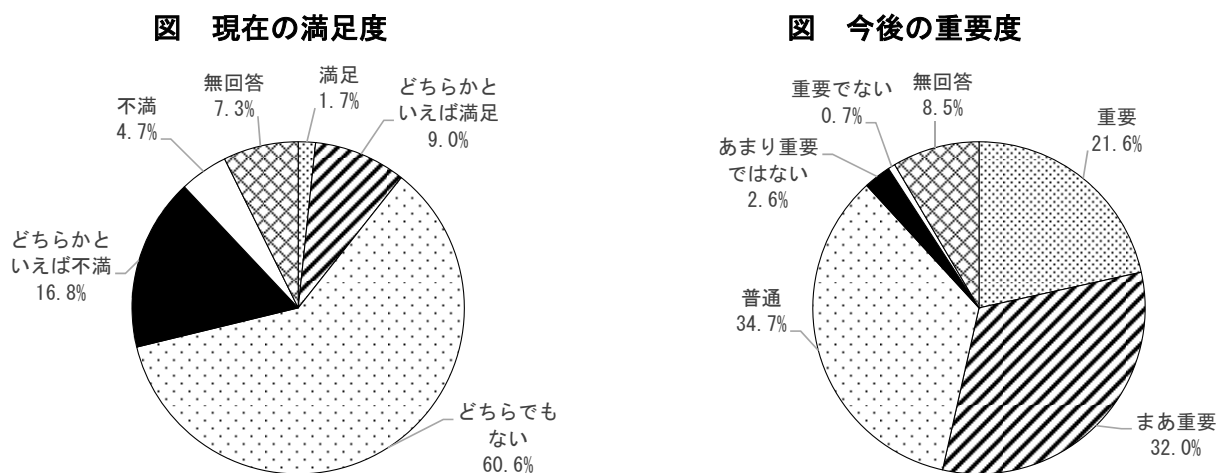


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	15	61	428	126	40
	(100.0)	(2.1)	(8.6)	(60.6)	(17.8)	(5.7)
女性	837	11	77	508	132	33
	(100.0)	(1.3)	(9.2)	(60.7)	(15.8)	(3.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	9	72	7	5
	(100.0)	(2.0)	(9.0)	(72.0)	(7.0)	(5.0)
30歳代	189	7	17	120	32	8
	(100.0)	(3.7)	(9.0)	(63.5)	(16.9)	(4.2)
40歳代	259	6	19	177	37	19
	(100.0)	(2.3)	(7.3)	(68.3)	(14.3)	(7.3)
50歳代	203	3	15	129	42	9
	(100.0)	(1.5)	(7.4)	(63.5)	(20.7)	(4.4)
60歳代	346	2	22	229	57	14
	(100.0)	(0.6)	(6.4)	(66.2)	(16.5)	(4.0)
70歳代以上	446	6	56	209	83	18
	(100.0)	(1.3)	(12.6)	(46.9)	(18.6)	(4.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	3	18	148	37	13
	(100.0)	(1.3)	(7.7)	(63.0)	(15.7)	(5.5)
地区B	257	8	38	129	50	10
	(100.0)	(3.1)	(14.8)	(50.2)	(19.5)	(3.9)
地区C	413	4	33	261	61	21
	(100.0)	(1.0)	(8.0)	(63.2)	(14.8)	(5.1)
地区D	370	9	24	240	64	15
	(100.0)	(2.4)	(6.5)	(64.9)	(17.3)	(4.1)
地区E	190	2	17	109	35	10
	(100.0)	(1.1)	(8.9)	(57.4)	(18.4)	(5.3)
地区F	77	0	7	49	11	4
	(100.0)	(0.0)	(9.1)	(63.6)	(14.3)	(5.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

20. みんなで地域づくり

現在の満足度は16.4%（「満足」1.9%+「どちらかといえば満足」14.5%）、不満度は9.2%（「どちらかといえば不満」7.7%+「不満」1.5%）で、それぞれ17番目（6.「社会保障」、22.「行財政運営」と同率）、21番目となっています。

今後の重要度は43.6%（「重要」14.5%+「まあ重要」29.1%）で21番目となっており、加重平均値からみると第4象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（16.8%）、女性（16.1%）ではほぼ同じとなっており、不満度も男性（11.5%）が女性（7.4%）を上回っています。

年代別にみると、70歳代以上が満足度（20.4%）、不満度（11.4%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（19.8%）で、不満度は地区F（15.6%）で最も高くなっています。

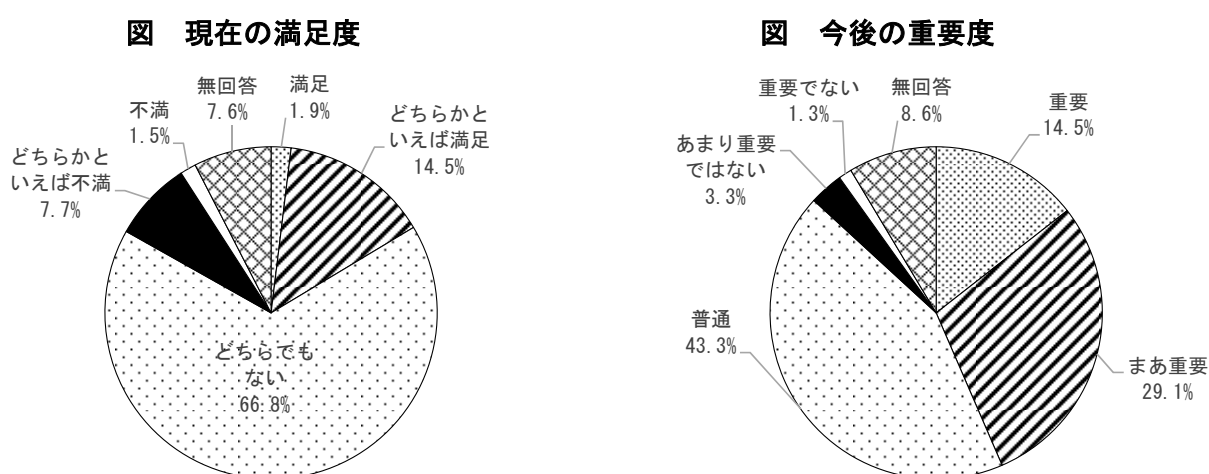


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	17	102	473	65	16
	(100.0)	(2.4)	(14.4)	(67.0)	(9.2)	(2.3)
女性	837	13	121	558	55	7
	(100.0)	(1.6)	(14.5)	(66.7)	(6.6)	(0.8)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	14	72	7	0
	(100.0)	(2.0)	(14.0)	(72.0)	(7.0)	(0.0)
30歳代	189	7	23	141	12	1
	(100.0)	(3.7)	(12.2)	(74.6)	(6.3)	(0.5)
40歳代	259	6	31	199	15	6
	(100.0)	(2.3)	(12.0)	(76.8)	(5.8)	(2.3)
50歳代	203	2	29	148	17	0
	(100.0)	(1.0)	(14.3)	(72.9)	(8.4)	(0.0)
60歳代	346	3	45	244	27	6
	(100.0)	(0.9)	(13.0)	(70.5)	(7.8)	(1.7)
70歳代以上	446	10	81	228	41	10
	(100.0)	(2.2)	(18.2)	(51.1)	(9.2)	(2.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	2	34	162	20	1
	(100.0)	(0.9)	(14.5)	(68.9)	(8.5)	(0.4)
地区B	257	9	42	163	19	2
	(100.0)	(3.5)	(16.3)	(63.4)	(7.4)	(0.8)
地区C	413	6	49	285	31	9
	(100.0)	(1.5)	(11.9)	(69.0)	(7.5)	(2.2)
地区D	370	8	53	261	25	2
	(100.0)	(2.2)	(14.3)	(70.5)	(6.8)	(0.5)
地区E	190	3	31	114	16	6
	(100.0)	(1.6)	(16.3)	(60.0)	(8.4)	(3.2)
地区F	77	2	13	46	9	3
	(100.0)	(2.6)	(16.9)	(59.7)	(11.7)	(3.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

21. シティセールス

現在の満足度は12.6%（「満足」1.9%+「どちらかといえば満足」10.7%）、不満度は12.4%（「どちらかといえば不満」9.7%+「不満」2.7%）で、それぞれ21番目、15番目（15.「住環境」と同率）となっています。

今後の重要度は38.2%（「重要」13.9%+「まあ重要」24.3%）で22番目となっており、加重平均値からみると第3象限に位置します。

性別にみると、満足度は女性（13.1%）が男性（12.1%）を上回っており、不満度は男性（14.1%）が女性（11.0%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（14.8%）で、不満度は50歳代（15.7%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（14.8%）で、不満度は地区F（15.6%）で最も高くなっています。

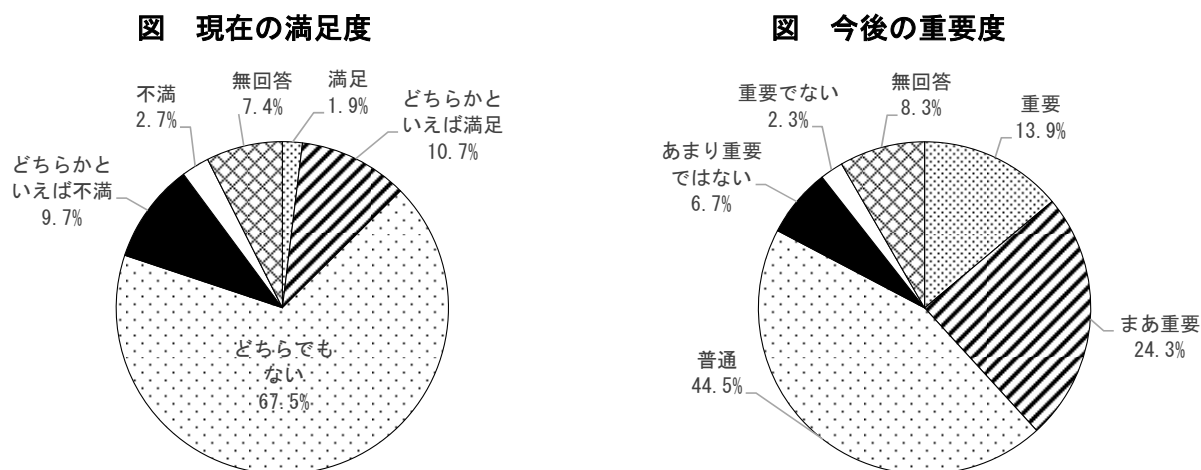


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	14	71	485	76	23
	(100.0)	(2.0)	(10.1)	(68.7)	(10.8)	(3.3)
女性	837	16	94	558	73	19
	(100.0)	(1.9)	(11.2)	(66.7)	(8.7)	(2.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	1	10	73	7	4
	(100.0)	(1.0)	(10.0)	(73.0)	(7.0)	(4.0)
30歳代	189	8	18	135	16	7
	(100.0)	(4.2)	(9.5)	(71.4)	(8.5)	(3.7)
40歳代	259	5	30	191	21	9
	(100.0)	(1.9)	(11.6)	(73.7)	(8.1)	(3.5)
50歳代	203	2	19	145	25	7
	(100.0)	(1.0)	(9.4)	(71.4)	(12.3)	(3.4)
60歳代	346	6	30	256	32	4
	(100.0)	(1.7)	(8.7)	(74.0)	(9.2)	(1.2)
70歳代以上	446	8	58	244	48	10
	(100.0)	(1.8)	(13.0)	(54.7)	(10.8)	(2.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	5	26	161	25	4
	(100.0)	(2.1)	(11.1)	(68.5)	(10.6)	(1.7)
地区B	257	6	32	163	33	2
	(100.0)	(2.3)	(12.5)	(63.4)	(12.8)	(0.8)
地区C	413	9	39	285	33	14
	(100.0)	(2.2)	(9.4)	(69.0)	(8.0)	(3.4)
地区D	370	6	39	258	38	8
	(100.0)	(1.6)	(10.5)	(69.7)	(10.3)	(2.2)
地区E	190	4	23	121	12	10
	(100.0)	(2.1)	(12.1)	(63.7)	(6.3)	(5.3)
地区F	77	0	5	55	8	4
	(100.0)	(0.0)	(6.5)	(71.4)	(10.4)	(5.2)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

22. 行財政運営

現在の満足度は16.4%（「満足」2.1%+「どちらかといえば満足」14.3%）、不満度は18.7%（「どちらかといえば不満」13.9%+「不満」4.8%）で、それぞれ17番目（6.「社会保障」、20.「みんな地域づくり」と同率）、4番目となっています。

今後の重要度は61.5%（「重要」30.9%+「まあ重要」30.6%）で16番目（18.「市街地形成」と同率）となっており、加重平均値からみると第3象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（17.9%）が女性（15.1%）を上回っており、不満度も男性（22.8%）が女性（15.5%）を上回っています。

年代別にみると、満足度は70歳代以上（23.3%）で、不満度は50歳代（23.6%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（19.8%）で、不満度は地区F（26.0%）で最も高くなっています。

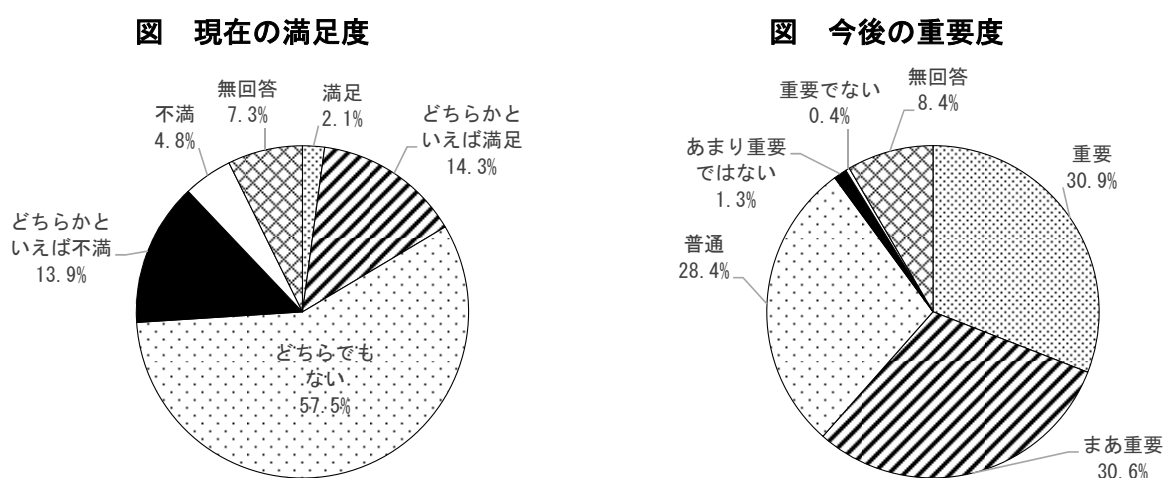


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706	18	109	387	121	40
	(100.0)	(2.5)	(15.4)	(54.8)	(17.1)	(5.7)
女性	837	15	111	501	95	34
	(100.0)	(1.8)	(13.3)	(59.9)	(11.4)	(4.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	1	8	71	8	7
	(100.0)	(1.0)	(8.0)	(71.0)	(8.0)	(7.0)
30歳代	189	7	21	134	14	7
	(100.0)	(3.7)	(11.1)	(70.9)	(7.4)	(3.7)
40歳代	259	5	31	169	33	19
	(100.0)	(1.9)	(12.0)	(65.3)	(12.7)	(7.3)
50歳代	203	3	22	125	39	9
	(100.0)	(1.5)	(10.8)	(61.6)	(19.2)	(4.4)
60歳代	346	4	48	207	50	17
	(100.0)	(1.2)	(13.9)	(59.8)	(14.5)	(4.9)
70歳代以上	446	13	91	181	72	15
	(100.0)	(2.9)	(20.4)	(40.6)	(16.1)	(3.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	5	36	129	36	15
	(100.0)	(2.1)	(15.3)	(54.9)	(15.3)	(6.4)
地区B	257	8	43	139	29	16
	(100.0)	(3.1)	(16.7)	(54.1)	(11.3)	(6.2)
地区C	413	5	46	253	55	20
	(100.0)	(1.2)	(11.1)	(61.3)	(13.3)	(4.8)
地区D	370	9	58	232	41	10
	(100.0)	(2.4)	(15.7)	(62.7)	(11.1)	(2.7)
地区E	190	6	26	93	37	11
	(100.0)	(3.2)	(13.7)	(48.9)	(19.5)	(5.8)
地区F	77	0	11	41	18	2
	(100.0)	(0.0)	(14.3)	(53.2)	(23.4)	(2.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

23. 共生社会

現在の満足度は10.8%（「満足」1.6%+「どちらかといえば満足」9.2%）、不満度は7.0%（「どちらかといえば不満」5.5%+「不満」1.5%）で、それぞれ22番目、23番目となっています。

今後の重要度は34.9%（「重要」12.1%+「まあ重要」22.8%）で23番目となっており、加重平均値からみると第3象限に位置します。

性別にみると、満足度は男性（11.2%）が女性（10.5%）を上回っており、不満度は男性（6.9%）、女性（7.0%）でほぼ同じとなっています。

年代別にみると、満足度は30歳代以下（14.3%）で、不満度は40歳代（8.5%）で最も高くなっています。

居住地区別にみると、満足度は地区B（14.0%）で、不満度は地区F（11.7%）で最も高くなっています。

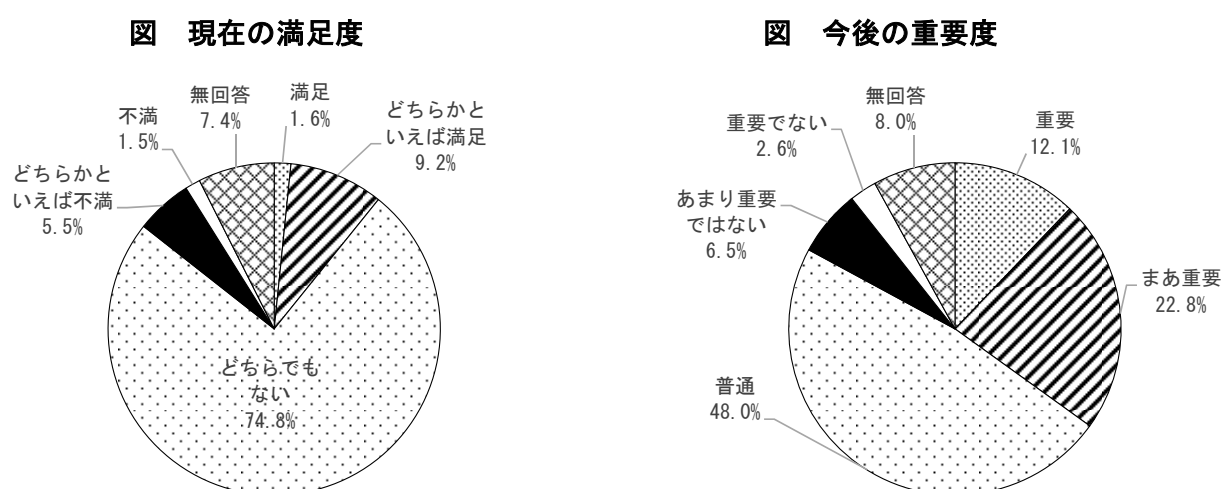


表 現在の満足度【性別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
男性	706 (100.0)	14 (2.0)	65 (9.2)	543 (76.9)	37 (5.2)	12 (1.7)
女性	837 (100.0)	11 (1.3)	77 (9.2)	611 (73.0)	48 (5.7)	11 (1.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 現在の満足度【年代別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
20歳代以下	100	2	12	73	4	4
	(100.0)	(2.0)	(12.0)	(73.0)	(4.0)	(4.0)
30歳代	189	7	20	145	9	2
	(100.0)	(3.7)	(10.6)	(76.7)	(4.8)	(1.1)
40歳代	259	4	24	208	17	5
	(100.0)	(1.5)	(9.3)	(80.3)	(6.6)	(1.9)
50歳代	203	2	13	168	15	1
	(100.0)	(1.0)	(6.4)	(82.8)	(7.4)	(0.5)
60歳代	346	2	22	276	18	7
	(100.0)	(0.6)	(6.4)	(79.8)	(5.2)	(2.0)
70歳代以上	446	8	51	284	22	4
	(100.0)	(1.8)	(11.4)	(63.7)	(4.9)	(0.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 現在の満足度【居住地区別】

	合計	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満
地区A	235	4	19	181	12	2
	(100.0)	(1.7)	(8.1)	(77.0)	(5.1)	(0.9)
地区B	257	9	27	181	15	6
	(100.0)	(3.5)	(10.5)	(70.4)	(5.8)	(2.3)
地区C	413	6	39	305	23	7
	(100.0)	(1.5)	(9.4)	(73.8)	(5.6)	(1.7)
地区D	370	5	33	294	15	2
	(100.0)	(1.4)	(8.9)	(79.5)	(4.1)	(0.5)
地区E	190	1	19	134	13	4
	(100.0)	(0.5)	(10.0)	(70.5)	(6.8)	(2.1)
地区F	77	0	4	59	7	2
	(100.0)	(0.0)	(5.2)	(76.6)	(9.1)	(2.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

5. 今後の人口減少を緩やかにする取組について

(1) 人口減少の見通しを知っていたか

問5 あなたは、現在人口増加基調を維持している本市においても、将来人口は、平成52年(2040年)には、7.4万人(常住人口)(国立社会保障・人口問題研究所の将来推計)に減少していることが予測されている状況をご存じでしたか。次の中からあてはまるものを選んで○をつけてください。

7割以上が、「知らなかった」と回答している

将来人口は、平成52年(2040年)には、7.4万人(常住人口)(国立社会保障・人口問題研究所の将来推計)に減少していることが予測されている状況を知っていたかについては、「知っていた」が23.2%、「知らなかった」70.9%となっています。

年代別にみると、「知っていた」は50歳代が(26.6%)で、「知らなかった」は20歳代以下(85.0%)で最も高くなっています。

居住地区別にみると、「知っていた」は地区A(28.5%)で、「知らなかった」は地区D(74.9%)で最も高くなっています。

図 人口減少の予測について (n=1,549)

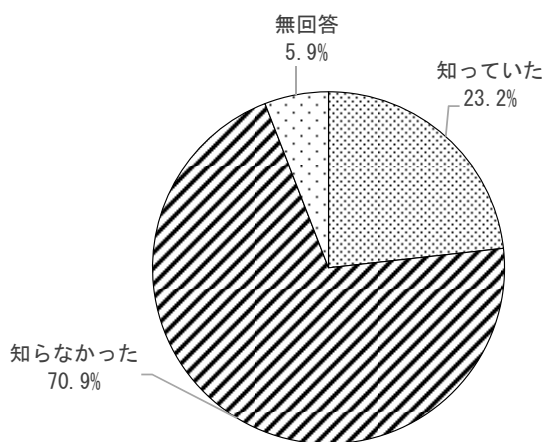


表 人口減少の予測について【年代別】

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
20歳代以下	100	12	85	3
	(100.0)	(12.0)	(85.0)	(3.0)
30歳代	189	27	151	11
	(100.0)	(14.3)	(79.9)	(5.8)
40歳代	259	57	192	10
	(100.0)	(22.0)	(74.1)	(3.9)
50歳代	203	54	141	8
	(100.0)	(26.6)	(69.5)	(3.9)
60歳代	346	90	229	27
	(100.0)	(26.0)	(66.2)	(7.8)
70歳代以上	446	118	298	30
	(100.0)	(26.5)	(66.8)	(6.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 人口減少の予測について【居住地区別】

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
地区A	235	67	154	14
	(100.0)	(28.5)	(65.5)	(6.0)
地区B	257	55	191	11
	(100.0)	(21.4)	(74.3)	(4.3)
地区C	413	99	286	28
	(100.0)	(24.0)	(69.2)	(6.8)
地区D	370	69	277	24
	(100.0)	(18.6)	(74.9)	(6.5)
地区E	190	48	135	7
	(100.0)	(25.3)	(71.1)	(3.7)
地区F	77	21	51	5
	(100.0)	(27.3)	(66.2)	(6.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(2) 人口減少社会に対応する取組について

問6 本市が将来的な人口減少を緩やかにするために、また、この人口減少社会に的確に対応するために、優先して取り組むべきこととして、特に効果が高いと考えられるものについて、あなたが考える度合いを、項目ごとに、1から5の中から選んで○をつけてください。

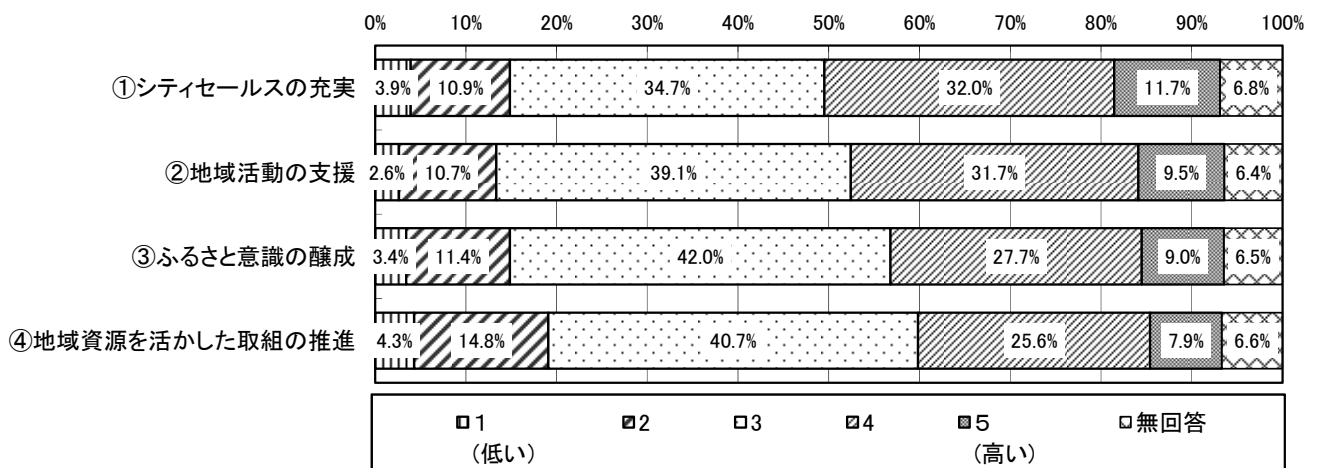
【四街道市への人の流れを創る】

「シティセールス」が最も高く、「地域資源」が最も低い

【四街道市への人の流れを創る】について優先して取り組むべきことは、「①シティセールスの充実」が43.7%（4が32.0%、5が11.7%）と最も高く、「④地域資源を活かした取組みの推進」が33.5%（4が25.6%、5が7.9%）と最も低くなっています。

図 優先して取り組む度合い【四街道市への人の流れを創る】(n=1,549)

(「4」・「5」の合計が高い順)



* 本項に掲載した以下の集計表について、合計は「無回答」を含んだ数値である。

(①シティセールスの充実)

「①シティセールスの充実」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、は30歳代が（15.9%）で最も高く、70歳代以上（9.6%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Bが（14.4%）で最も高く、地区F（7.8%）で最も低くなっています。

表 【四街道市への人の流れを創る】①シティセールスの充実【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	6	18	32	31	13
	(100.0)	(6.0)	(18.0)	(32.0)	(31.0)	(13.0)
30歳代	189	13	16	62	60	30
	(100.0)	(6.9)	(8.5)	(32.8)	(31.7)	(15.9)
40歳代	259	14	31	99	81	27
	(100.0)	(5.4)	(12.0)	(38.2)	(31.3)	(10.4)
50歳代	203	8	29	74	67	20
	(100.0)	(3.9)	(14.3)	(36.5)	(33.0)	(9.9)
60歳代	346	10	37	111	115	48
	(100.0)	(2.9)	(10.7)	(32.1)	(33.2)	(13.9)
70歳代以上	446	10	37	156	140	43
	(100.0)	(2.2)	(8.3)	(35.0)	(31.4)	(9.6)
合計	1549	61	169	537	495	181
	(100.0)	(3.9)	(10.9)	(34.7)	(32.0)	(11.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【四街道市への人の流れを創る】①シティセールスの充実【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	7	25	82	79	26
	(100.0)	(3.0)	(10.6)	(34.9)	(33.6)	(11.1)
地区B	257	10	34	93	58	37
	(100.0)	(3.9)	(13.2)	(36.2)	(22.6)	(14.4)
地区C	413	16	38	149	129	49
	(100.0)	(3.9)	(9.2)	(36.1)	(31.2)	(11.9)
地区D	370	14	37	116	143	44
	(100.0)	(3.8)	(10.0)	(31.4)	(38.6)	(11.9)
地区E	190	13	18	70	58	19
	(100.0)	(6.8)	(9.5)	(36.8)	(30.5)	(10.0)
地区F	77	1	15	25	26	6
	(100.0)	(1.3)	(19.5)	(32.5)	(33.8)	(7.8)
合計	1549	61	169	537	495	181
	(100.0)	(3.9)	(10.9)	(34.7)	(32.0)	(11.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(②地域活動の支援)

「②地域活動の支援」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（13.2％）で最も高く、50歳代（6.4％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Aが（12.8％）で最も高く、地区E（7.9％）で最も低くなっています。

表 【四街道市への人の流れを創る】②地域活動の支援【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	5	15	41	32	7
	(100.0)	(5.0)	(15.0)	(41.0)	(32.0)	(7.0)
30歳代	189	9	21	70	56	25
	(100.0)	(4.8)	(11.1)	(37.0)	(29.6)	(13.2)
40歳代	259	4	38	114	73	23
	(100.0)	(1.5)	(14.7)	(44.0)	(28.2)	(8.9)
50歳代	203	3	29	87	67	13
	(100.0)	(1.5)	(14.3)	(42.9)	(33.0)	(6.4)
60歳代	346	7	29	135	115	37
	(100.0)	(2.0)	(8.4)	(39.0)	(33.2)	(10.7)
70歳代以上	446	13	33	157	146	41
	(100.0)	(2.9)	(7.4)	(35.2)	(32.7)	(9.2)
合計	1549	41	166	605	491	147
	(100.0)	(2.6)	(10.7)	(39.1)	(31.7)	(9.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【四街道市への人の流れを創る】②地域活動の支援【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	6	21	87	77	30
	(100.0)	(2.6)	(8.9)	(37.0)	(32.8)	(12.8)
地区B	257	7	27	107	74	22
	(100.0)	(2.7)	(10.5)	(41.6)	(28.8)	(8.6)
地区C	413	5	52	165	126	35
	(100.0)	(1.2)	(12.6)	(40.0)	(30.5)	(8.5)
地区D	370	12	38	142	123	37
	(100.0)	(3.2)	(10.3)	(38.4)	(33.2)	(10.0)
地区E	190	6	19	79	60	15
	(100.0)	(3.2)	(10.0)	(41.6)	(31.6)	(7.9)
地区F	77	5	8	23	29	7
	(100.0)	(6.5)	(10.4)	(29.9)	(37.7)	(9.1)
合計	1549	41	166	605	491	147
	(100.0)	(2.6)	(10.7)	(39.1)	(31.7)	(9.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

③ふるさと意識の醸成

「③ふるさと意識の醸成」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、30歳代が（15.3%）で最も高く、50歳代（6.4%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Cが（10.4%）で最も高く、地区F（3.9%）で最も低くなっています。

表 【四街道市への人の流れを創る】③ふるさと意識の醸成【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	6	21	34	26	13
	(100.0)	(6.0)	(21.0)	(34.0)	(26.0)	(13.0)
30歳代	189	10	23	69	50	29
	(100.0)	(5.3)	(12.2)	(36.5)	(26.5)	(15.3)
40歳代	259	8	37	113	71	23
	(100.0)	(3.1)	(14.3)	(43.6)	(27.4)	(8.9)
50歳代	203	8	28	85	65	13
	(100.0)	(3.9)	(13.8)	(41.9)	(32.0)	(6.4)
60歳代	346	10	31	160	91	29
	(100.0)	(2.9)	(9.0)	(46.2)	(26.3)	(8.4)
70歳代以上	446	11	35	188	125	32
	(100.0)	(2.5)	(7.8)	(42.2)	(28.0)	(7.2)
合計	1549	53	177	650	429	140
	(100.0)	(3.4)	(11.4)	(42.0)	(27.7)	(9.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【四街道市への人の流れを創る】③ふるさと意識の醸成【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	6	27	107	62	19
	(100.0)	(2.6)	(11.5)	(45.5)	(26.4)	(8.1)
地区B	257	3	34	107	66	26
	(100.0)	(1.2)	(13.2)	(41.6)	(25.7)	(10.1)
地区C	413	11	51	174	104	43
	(100.0)	(2.7)	(12.3)	(42.1)	(25.2)	(10.4)
地区D	370	17	40	156	103	36
	(100.0)	(4.6)	(10.8)	(42.2)	(27.8)	(9.7)
地区E	190	10	14	75	67	12
	(100.0)	(5.3)	(7.4)	(39.5)	(35.3)	(6.3)
地区F	77	6	10	29	25	3
	(100.0)	(7.8)	(13.0)	(37.7)	(32.5)	(3.9)
合計	1549	53	177	650	429	140
	(100.0)	(3.4)	(11.4)	(42.0)	(27.7)	(9.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(④地域資源を活かした取組の推進)

「④地域資源を活かした取組の推進」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、20歳代以下が（10.0％）で最も高く、60歳代（6.6％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Eが（10.0％）で最も高く、地区F（5.2％）で最も低くなっています。

表 【四街道市への人の流れを創る】④地域資源を活かした取組みの推進【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	4	22	40	24	10
	(100.0)	(4.0)	(22.0)	(40.0)	(24.0)	(10.0)
30歳代	189	11	32	76	45	17
	(100.0)	(5.8)	(16.9)	(40.2)	(23.8)	(9.0)
40歳代	259	13	47	108	61	23
	(100.0)	(5.0)	(18.1)	(41.7)	(23.6)	(8.9)
50歳代	203	10	36	84	54	14
	(100.0)	(4.9)	(17.7)	(41.4)	(26.6)	(6.9)
60歳代	346	15	43	147	93	23
	(100.0)	(4.3)	(12.4)	(42.5)	(26.9)	(6.6)
70歳代以上	446	12	49	175	117	36
	(100.0)	(2.7)	(11.0)	(39.2)	(26.2)	(8.1)
合計	1549	67	229	631	396	123
	(100.0)	(4.3)	(14.8)	(40.7)	(25.6)	(7.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【四街道市への人の流れを創る】④地域資源を活かした取組みの推進【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	10	22	100	66	20
	(100.0)	(4.3)	(9.4)	(42.6)	(28.1)	(8.5)
地区B	257	9	43	98	70	17
	(100.0)	(3.5)	(16.7)	(38.1)	(27.2)	(6.6)
地区C	413	18	66	174	85	40
	(100.0)	(4.4)	(16.0)	(42.1)	(20.6)	(9.7)
地区D	370	17	60	145	106	23
	(100.0)	(4.6)	(16.2)	(39.2)	(28.6)	(6.2)
地区E	190	10	22	85	42	19
	(100.0)	(5.3)	(11.6)	(44.7)	(22.1)	(10.0)
地区F	77	2	15	28	24	4
	(100.0)	(2.6)	(19.5)	(36.4)	(31.2)	(5.2)
合計	1549	67	229	631	396	123
	(100.0)	(4.3)	(14.8)	(40.7)	(25.6)	(7.9)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

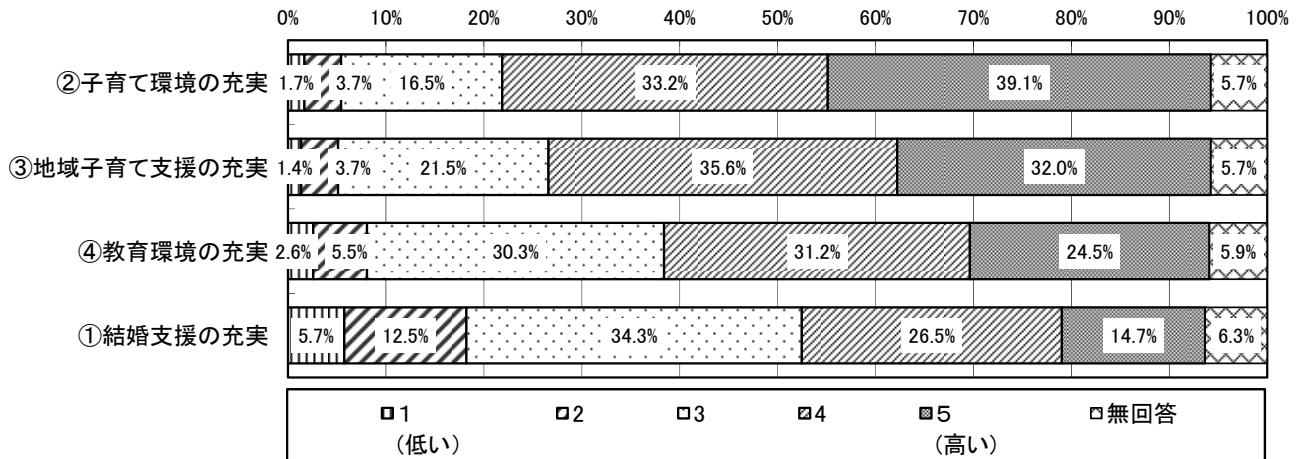
【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

「子育て環境の充実」が最も高く、「結婚支援の充実」が最も低い

【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】について優先して取り組むべきことは、「②子育て環境の充実」が72.3%（4が33.2%、5が39.1%）と最も高く、「①結婚支援の充実」が41.2%（4が26.5%、5が14.7%）と最も低くなっています。

図 優先して取り組む度合い【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】(n=1,549)

(「4」・「5」の合計が高い順)



* 本項に掲載した以下の集計表について、合計は「無回答」を含んだ数値である。

(①結婚支援の充実)

「①結婚支援の充実」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、20歳代以下が（21.0%）でも高く、40歳代（11.2%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Bが（17.1%）で最も高く、地区F（6.5%）で最も低くなっています。

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】①結婚支援の充実【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100 (100.0)	5 (5.0)	11 (11.0)	30 (30.0)	32 (32.0)	21 (21.0)
30歳代	189 (100.0)	18 (9.5)	28 (14.8)	60 (31.7)	40 (21.2)	38 (20.1)
40歳代	259 (100.0)	19 (7.3)	40 (15.4)	96 (37.1)	71 (27.4)	29 (11.2)
50歳代	203 (100.0)	12 (5.9)	30 (14.8)	76 (37.4)	55 (27.1)	28 (13.8)
60歳代	346 (100.0)	13 (3.8)	37 (10.7)	117 (33.8)	108 (31.2)	53 (15.3)
70歳代以上	446 (100.0)	21 (4.7)	45 (10.1)	152 (34.1)	105 (23.5)	56 (12.6)
合計	1549 (100.0)	89 (5.7)	193 (12.5)	531 (34.3)	411 (26.5)	227 (14.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】①結婚支援の充実【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235 (100.0)	18 (7.7)	29 (12.3)	79 (33.6)	62 (26.4)	33 (14.0)
地区B	257 (100.0)	12 (4.7)	38 (14.8)	77 (30.0)	65 (25.3)	44 (17.1)
地区C	413 (100.0)	17 (4.1)	48 (11.6)	147 (35.6)	102 (24.7)	67 (16.2)
地区D	370 (100.0)	22 (5.9)	47 (12.7)	130 (35.1)	109 (29.5)	49 (13.2)
地区E	190 (100.0)	12 (6.3)	20 (10.5)	74 (38.9)	47 (24.7)	27 (14.2)
地区F	77 (100.0)	8 (10.4)	9 (11.7)	23 (29.9)	25 (32.5)	5 (6.5)
合計	1549 (100.0)	89 (5.7)	193 (12.5)	531 (34.3)	411 (26.5)	227 (14.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(②子育て環境の充実)

「②子育て環境の充実」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（59.8％）で最も高く、70歳代以上（23.3％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Dが（45.7％）で最も高く、地区F（24.7％）で最も低くなっています。

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】②子育て環境の充実【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	1	1	8	34	56
	(100.0)	(1.0)	(1.0)	(8.0)	(34.0)	(56.0)
30歳代	189	6	5	14	47	113
	(100.0)	(3.2)	(2.6)	(7.4)	(24.9)	(59.8)
40歳代	259	4	11	43	75	123
	(100.0)	(1.5)	(4.2)	(16.6)	(29.0)	(47.5)
50歳代	203	3	5	31	89	73
	(100.0)	(1.5)	(2.5)	(15.3)	(43.8)	(36.0)
60歳代	346	6	15	51	122	135
	(100.0)	(1.7)	(4.3)	(14.7)	(35.3)	(39.0)
70歳代以上	446	6	20	106	148	104
	(100.0)	(1.3)	(4.5)	(23.8)	(33.2)	(23.3)
合計	1549	26	58	255	515	606
	(100.0)	(1.7)	(3.7)	(16.5)	(33.2)	(39.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】②子育て環境の充実【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	4	9	37	83	90
	(100.0)	(1.7)	(3.8)	(15.7)	(35.3)	(38.3)
地区B	257	5	13	47	83	90
	(100.0)	(1.9)	(5.1)	(18.3)	(32.3)	(35.0)
地区C	413	8	16	68	120	172
	(100.0)	(1.9)	(3.9)	(16.5)	(29.1)	(41.6)
地区D	370	3	9	49	129	169
	(100.0)	(0.8)	(2.4)	(13.2)	(34.9)	(45.7)
地区E	190	3	7	38	67	64
	(100.0)	(1.6)	(3.7)	(20.0)	(35.3)	(33.7)
地区F	77	3	3	14	32	19
	(100.0)	(3.9)	(3.9)	(18.2)	(41.6)	(24.7)
合計	1549	26	58	255	515	606
	(100.0)	(1.7)	(3.7)	(16.5)	(33.2)	(39.1)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(③地域子育て支援の充実)

「③地域子育て支援の充実」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、30歳代が（58.2%）で最も高く、70歳代以上（17.3%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Dが（37.0%）で最も高く、地区B（25.7%）で最も低くなっています。

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】③地域子育て支援の充実【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	0	1	23	38	38
	(100.0)	(0.0)	(1.0)	(23.0)	(38.0)	(38.0)
30歳代	189	5	2	27	40	110
	(100.0)	(2.6)	(1.1)	(14.3)	(21.2)	(58.2)
40歳代	259	3	12	43	90	108
	(100.0)	(1.2)	(4.6)	(16.6)	(34.7)	(41.7)
50歳代	203	3	5	42	93	58
	(100.0)	(1.5)	(2.5)	(20.7)	(45.8)	(28.6)
60歳代	346	4	16	67	140	103
	(100.0)	(1.2)	(4.6)	(19.4)	(40.5)	(29.8)
70歳代以上	446	6	21	129	151	77
	(100.0)	(1.3)	(4.7)	(28.9)	(33.9)	(17.3)
合計	1549	21	58	333	552	496
	(100.0)	(1.4)	(3.7)	(21.5)	(35.6)	(32.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】③地域子育て支援の充実【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	3	10	49	84	78
	(100.0)	(1.3)	(4.3)	(20.9)	(35.7)	(33.2)
地区B	257	2	9	57	101	66
	(100.0)	(0.8)	(3.5)	(22.2)	(39.3)	(25.7)
地区C	413	8	14	90	138	135
	(100.0)	(1.9)	(3.4)	(21.8)	(33.4)	(32.7)
地区D	370	3	8	71	141	137
	(100.0)	(0.8)	(2.2)	(19.2)	(38.1)	(37.0)
地区E	190	3	10	49	61	56
	(100.0)	(1.6)	(5.3)	(25.8)	(32.1)	(29.5)
地区F	77	2	6	15	26	22
	(100.0)	(2.6)	(7.8)	(19.5)	(33.8)	(28.6)
合計	1549	21	58	333	552	496
	(100.0)	(1.4)	(3.7)	(21.5)	(35.6)	(32.0)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(④教育環境の充実)

「④教育環境の充実」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（39.7％）で最も高く、70歳代以上（16.1％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Dが（27.8％）で最も高く、地区F（15.6％）で最も低くなっています。

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】④教育環境の充実【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	3	7	30	42	18
	(100.0)	(3.0)	(7.0)	(30.0)	(42.0)	(18.0)
30歳代	189	8	12	42	47	75
	(100.0)	(4.2)	(6.3)	(22.2)	(24.9)	(39.7)
40歳代	259	8	14	71	73	90
	(100.0)	(3.1)	(5.4)	(27.4)	(28.2)	(34.7)
50歳代	203	3	12	71	76	39
	(100.0)	(1.5)	(5.9)	(35.0)	(37.4)	(19.2)
60歳代	346	6	15	105	121	83
	(100.0)	(1.7)	(4.3)	(30.3)	(35.0)	(24.0)
70歳代以上	446	12	24	150	124	72
	(100.0)	(2.7)	(5.4)	(33.6)	(27.8)	(16.1)
合計	1549	40	85	470	484	379
	(100.0)	(2.6)	(5.5)	(30.3)	(31.2)	(24.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】④教育環境の充実【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	5	14	68	79	56
	(100.0)	(2.1)	(6.0)	(28.9)	(33.6)	(23.8)
地区B	257	6	11	85	73	61
	(100.0)	(2.3)	(4.3)	(33.1)	(28.4)	(23.7)
地区C	413	10	21	125	123	105
	(100.0)	(2.4)	(5.1)	(30.3)	(29.8)	(25.4)
地区D	370	8	23	107	119	103
	(100.0)	(2.2)	(6.2)	(28.9)	(32.2)	(27.8)
地区E	190	7	10	59	63	40
	(100.0)	(3.7)	(5.3)	(31.1)	(33.2)	(21.1)
地区F	77	4	5	24	26	12
	(100.0)	(5.2)	(6.5)	(31.2)	(33.8)	(15.6)
合計	1549	40	85	470	484	379
	(100.0)	(2.6)	(5.5)	(30.3)	(31.2)	(24.5)

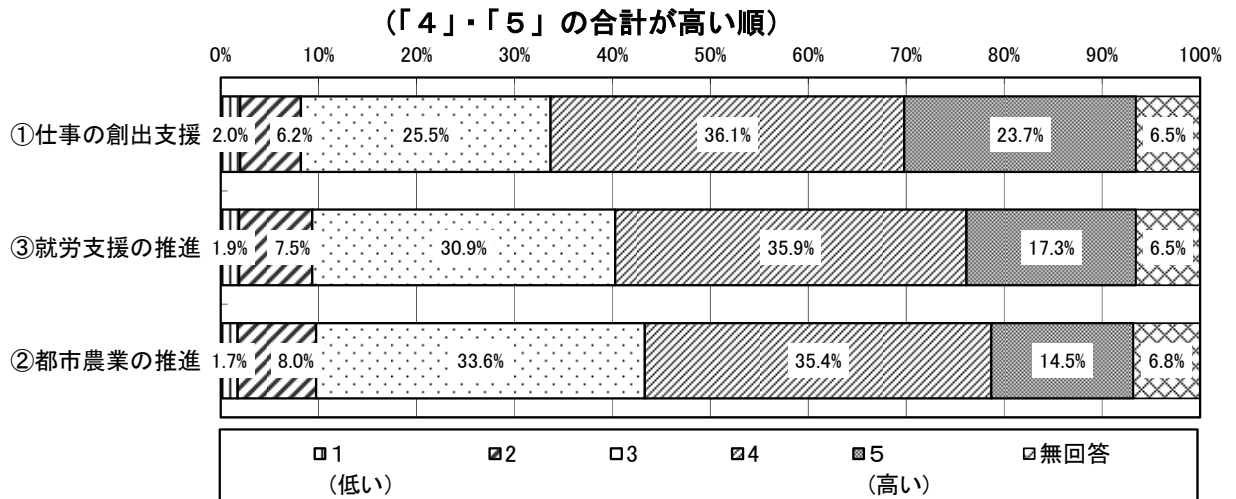
※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

【地域における安定した雇用を確保する】

「仕事の創出支援」が最も高く、「都市農業の推進」が最も低い

【地域における安定した雇用を確保する】について優先して取り組むべきことは、「①仕事の創出支援」が59.8%（4が36.1%、5が23.7%）と最も高く、「②都市農業の推進」が49.9%（4が35.4%、5が14.5%）と最も低くなっています。

図 優先して取り組む度合い【地域における安定した雇用を確保する】(n=1,549)



* 本項に掲載した以下の集計表について、合計は「無回答」を含んだ数値である。

①仕事の創出支援

「①仕事の創出支援」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、40歳代が（28.6%）で最も高く、70歳代以上（18.4%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Aが（29.8%）で最も高く、地区F（18.2%）で最も低くなっています。

表 【地域における安定した雇用を確保する】①仕事の創出支援【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100 (100.0)	1 (1.0)	3 (3.0)	30 (30.0)	39 (39.0)	27 (27.0)
30歳代	189 (100.0)	4 (2.1)	7 (3.7)	48 (25.4)	72 (38.1)	53 (28.0)
40歳代	259 (100.0)	5 (1.9)	15 (5.8)	59 (22.8)	102 (39.4)	74 (28.6)
50歳代	203 (100.0)	3 (1.5)	10 (4.9)	45 (22.2)	88 (43.3)	56 (27.6)
60歳代	346 (100.0)	5 (1.4)	21 (6.1)	88 (25.4)	143 (41.3)	73 (21.1)
70歳代以上	446 (100.0)	12 (2.7)	39 (8.7)	125 (28.0)	114 (25.6)	82 (18.4)
合計	1549 (100.0)	31 (2.0)	96 (6.2)	395 (25.5)	559 (36.1)	367 (23.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【地域における安定した雇用を確保する】①仕事の創出支援【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235 (100.0)	7 (3.0)	13 (5.5)	47 (20.0)	82 (34.9)	70 (29.8)
地区B	257 (100.0)	6 (2.3)	17 (6.6)	72 (28.0)	88 (34.2)	55 (21.4)
地区C	413 (100.0)	6 (1.5)	22 (5.3)	102 (24.7)	147 (35.6)	106 (25.7)
地区D	370 (100.0)	5 (1.4)	25 (6.8)	96 (25.9)	150 (40.5)	80 (21.6)
地区E	190 (100.0)	6 (3.2)	14 (7.4)	58 (30.5)	59 (31.1)	40 (21.1)
地区F	77 (100.0)	1 (1.3)	4 (5.2)	19 (24.7)	31 (40.3)	14 (18.2)
合計	1549 (100.0)	31 (2.0)	96 (6.2)	395 (25.5)	559 (36.1)	367 (23.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(②都市農業の推進)

「②都市農業の推進」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（18.5％）で最も高く、70歳代以上（12.1％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Dが（15.9％）で最も高く、地区F（9.1％）で最も低くなっています。

表 【地域における安定した雇用を確保する】②都市農業の推進【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100 (100.0)	2 (2.0)	5 (5.0)	36 (36.0)	42 (42.0)	15 (15.0)
30歳代	189 (100.0)	3 (1.6)	15 (7.9)	71 (37.6)	59 (31.2)	35 (18.5)
40歳代	259 (100.0)	5 (1.9)	25 (9.7)	89 (34.4)	99 (38.2)	38 (14.7)
50歳代	203 (100.0)	4 (2.0)	11 (5.4)	69 (34.0)	82 (40.4)	35 (17.2)
60歳代	346 (100.0)	2 (0.6)	23 (6.6)	118 (34.1)	139 (40.2)	46 (13.3)
70歳代以上	446 (100.0)	11 (2.5)	43 (9.6)	136 (30.5)	127 (28.5)	54 (12.1)
合計	1549 (100.0)	27 (1.7)	124 (8.0)	520 (33.6)	548 (35.4)	225 (14.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【地域における安定した雇用を確保する】②都市農業の推進【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235 (100.0)	4 (1.7)	15 (6.4)	73 (31.1)	97 (41.3)	32 (13.6)
地区B	257 (100.0)	4 (1.6)	24 (9.3)	93 (36.2)	80 (31.1)	35 (13.6)
地区C	413 (100.0)	7 (1.7)	30 (7.3)	142 (34.4)	141 (34.1)	64 (15.5)
地区D	370 (100.0)	5 (1.4)	34 (9.2)	121 (32.7)	137 (37.0)	59 (15.9)
地区E	190 (100.0)	6 (3.2)	15 (7.9)	65 (34.2)	62 (32.6)	26 (13.7)
地区F	77 (100.0)	1 (1.3)	5 (6.5)	25 (32.5)	30 (39.0)	7 (9.1)
合計	1549 (100.0)	27 (1.7)	124 (8.0)	520 (33.6)	548 (35.4)	225 (14.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(③就労支援の推進)

「③就労支援の推進」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（19.6％）で最も高く、70歳代以上（14.1％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Aが（19.6％）で最も高く、地区E（14.7％）で最も低くなっています。

表 【地域における安定した雇用を確保する】③就労支援の推進【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	1	5	37	38	19
	(100.0)	(1.0)	(5.0)	(37.0)	(38.0)	(19.0)
30歳代	189	4	16	59	67	37
	(100.0)	(2.1)	(8.5)	(31.2)	(35.4)	(19.6)
40歳代	259	3	19	82	104	48
	(100.0)	(1.2)	(7.3)	(31.7)	(40.2)	(18.5)
50歳代	203	3	15	65	85	34
	(100.0)	(1.5)	(7.4)	(32.0)	(41.9)	(16.7)
60歳代	346	7	22	107	130	65
	(100.0)	(2.0)	(6.4)	(30.9)	(37.6)	(18.8)
70歳代以上	446	10	38	128	132	63
	(100.0)	(2.2)	(8.5)	(28.7)	(29.6)	(14.1)
合計	1549	29	116	479	556	268
	(100.0)	(1.9)	(7.5)	(30.9)	(35.9)	(17.3)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【地域における安定した雇用を確保する】③就労支援の推進【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	4	15	72	84	46
	(100.0)	(1.7)	(6.4)	(30.6)	(35.7)	(19.6)
地区B	257	8	23	77	88	40
	(100.0)	(3.1)	(8.9)	(30.0)	(34.2)	(15.6)
地区C	413	7	23	130	146	79
	(100.0)	(1.7)	(5.6)	(31.5)	(35.4)	(19.1)
地区D	370	6	28	117	143	61
	(100.0)	(1.6)	(7.6)	(31.6)	(38.6)	(16.5)
地区E	190	4	17	58	70	28
	(100.0)	(2.1)	(8.9)	(30.5)	(36.8)	(14.7)
地区F	77	0	8	23	25	12
	(100.0)	(0.0)	(10.4)	(29.9)	(32.5)	(15.6)
合計	1549	29	116	479	556	268
	(100.0)	(1.9)	(7.5)	(30.9)	(35.9)	(17.3)

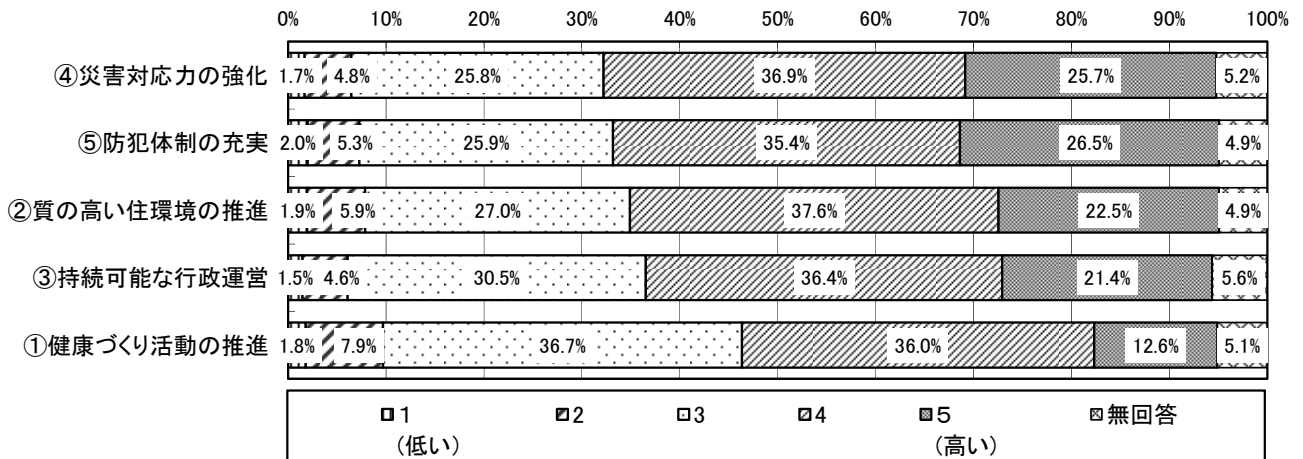
※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

【安心で快適な暮らしを守る】

「災害対応力の強化」が最も高く、「健康づくり活動の推進」が最も低い

【安心で快適な暮らしを守る】について優先して取り組むべきことは、「④災害対応力の強化」が62.6%（4が36.9%、5が25.7%）と最も高く、「①健康づくり活動の推進」が48.6%（4が36.0%、5が12.6%）と最も低くなっている。

図 優先して取り組む度合い【安心で快適な暮らしを守る】(n=1,549)
(「4」・「5」の合計が高い順)



* 本項に掲載した以下の集計表について、合計は「無回答」を含んだ数値である。

(①健康づくり活動の推進)

「①健康づくり活動の推進」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、60歳代が（14.7%）で最も高く、20歳代以下（9.0%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Cが（15.7%）で最も高く、地区E（7.4%）で最も低くなっています。

表 【安心で快適な暮らしを守る】①健康づくり活動の推進【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	1	12	43	34	9
	(100.0)	(1.0)	(12.0)	(43.0)	(34.0)	(9.0)
30歳代	189	9	17	80	53	23
	(100.0)	(4.8)	(9.0)	(42.3)	(28.0)	(12.2)
40歳代	259	5	29	105	88	29
	(100.0)	(1.9)	(11.2)	(40.5)	(34.0)	(11.2)
50歳代	203	5	12	87	78	19
	(100.0)	(2.5)	(5.9)	(42.9)	(38.4)	(9.4)
60歳代	346	2	21	121	137	51
	(100.0)	(0.6)	(6.1)	(35.0)	(39.6)	(14.7)
70歳代以上	446	5	31	131	166	62
	(100.0)	(1.1)	(7.0)	(29.4)	(37.2)	(13.9)
合計	1549	28	122	568	557	195
	(100.0)	(1.8)	(7.9)	(36.7)	(36.0)	(12.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【安心で快適な暮らしを守る】①健康づくり活動の推進【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	3	17	77	90	36
	(100.0)	(1.3)	(7.2)	(32.8)	(38.3)	(15.3)
地区B	257	1	22	91	95	30
	(100.0)	(0.4)	(8.6)	(35.4)	(37.0)	(11.7)
地区C	413	8	32	158	126	65
	(100.0)	(1.9)	(7.7)	(38.3)	(30.5)	(15.7)
地区D	370	8	32	139	142	40
	(100.0)	(2.2)	(8.6)	(37.6)	(38.4)	(10.8)
地区E	190	5	13	76	71	14
	(100.0)	(2.6)	(6.8)	(40.0)	(37.4)	(7.4)
地区F	77	3	6	25	31	8
	(100.0)	(3.9)	(7.8)	(32.5)	(40.3)	(10.4)
合計	1549	28	122	568	557	195
	(100.0)	(1.8)	(7.9)	(36.7)	(36.0)	(12.6)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(②質の高い住環境の推進)

「②質の高い住環境の推進」の優先度（5）の構成比を年代別にみると、30歳代が（35.4%）で最も高く、70歳代以上（16.4%）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Cが（26.2%）で最も高く、地区E（17.4%）で最も低くなっています。

表 【安心で快適な暮らしを守る】②質の高い住環境の推進【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	2	3	22	45	28
	(100.0)	(2.0)	(3.0)	(22.0)	(45.0)	(28.0)
30歳代	189	4	8	45	60	67
	(100.0)	(2.1)	(4.2)	(23.8)	(31.7)	(35.4)
40歳代	259	5	18	69	99	65
	(100.0)	(1.9)	(6.9)	(26.6)	(38.2)	(25.1)
50歳代	203	3	8	63	91	36
	(100.0)	(1.5)	(3.9)	(31.0)	(44.8)	(17.7)
60歳代	346	5	23	106	121	78
	(100.0)	(1.4)	(6.6)	(30.6)	(35.0)	(22.5)
70歳代以上	446	10	31	113	167	73
	(100.0)	(2.2)	(7.0)	(25.3)	(37.4)	(16.4)
合計	1549	30	92	419	583	349
	(100.0)	(1.9)	(5.9)	(27.0)	(37.6)	(22.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

表 【安心で快適な暮らしを守る】②質の高い住環境の推進【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	3	11	70	90	49
	(100.0)	(1.3)	(4.7)	(29.8)	(38.3)	(20.9)
地区B	257	5	12	71	98	55
	(100.0)	(1.9)	(4.7)	(27.6)	(38.1)	(21.4)
地区C	413	4	33	105	139	108
	(100.0)	(1.0)	(8.0)	(25.4)	(33.7)	(26.2)
地区D	370	10	20	99	146	84
	(100.0)	(2.7)	(5.4)	(26.8)	(39.5)	(22.7)
地区E	190	6	7	56	80	33
	(100.0)	(3.2)	(3.7)	(29.5)	(42.1)	(17.4)
地区F	77	2	7	17	29	18
	(100.0)	(2.6)	(9.1)	(22.1)	(37.7)	(23.4)
合計	1549	30	92	419	583	349
	(100.0)	(1.9)	(5.9)	(27.0)	(37.6)	(22.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（%）

(③持続可能な行政運営)

「③持続可能な行政運営」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（27.0％）で最も高く、70歳代以上（17.3％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Aが（22.6％）で最も高く、地区B（19.1％）で最も低くなっています。

表 【安心で快適な暮らしを守る】③持続可能な行政運営【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	1	3	34	42	20
	(100.0)	(1.0)	(3.0)	(34.0)	(42.0)	(20.0)
30歳代	189	3	7	70	53	51
	(100.0)	(1.6)	(3.7)	(37.0)	(28.0)	(27.0)
40歳代	259	4	12	81	102	56
	(100.0)	(1.5)	(4.6)	(31.3)	(39.4)	(21.6)
50歳代	203	2	8	67	82	41
	(100.0)	(1.0)	(3.9)	(33.0)	(40.4)	(20.2)
60歳代	346	5	15	95	131	85
	(100.0)	(1.4)	(4.3)	(27.5)	(37.9)	(24.6)
70歳代以上	446	8	24	124	154	77
	(100.0)	(1.8)	(5.4)	(27.8)	(34.5)	(17.3)
合計	1549	23	71	472	564	332
	(100.0)	(1.5)	(4.6)	(30.5)	(36.4)	(21.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【安心で快適な暮らしを守る】③持続可能な行政運営【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	6	8	69	87	53
	(100.0)	(2.6)	(3.4)	(29.4)	(37.0)	(22.6)
地区B	257	4	8	83	95	49
	(100.0)	(1.6)	(3.1)	(32.3)	(37.0)	(19.1)
地区C	413	0	22	125	147	90
	(100.0)	(0.0)	(5.3)	(30.3)	(35.6)	(21.8)
地区D	370	4	20	110	145	82
	(100.0)	(1.1)	(5.4)	(29.7)	(39.2)	(22.2)
地区E	190	6	8	61	61	41
	(100.0)	(3.2)	(4.2)	(32.1)	(32.1)	(21.6)
地区F	77	3	4	21	29	15
	(100.0)	(3.9)	(5.2)	(27.3)	(37.7)	(19.5)
合計	1549	23	71	472	564	332
	(100.0)	(1.5)	(4.6)	(30.5)	(36.4)	(21.4)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(④災害対応力の強化)

「④災害対応力の強化」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、40歳代が（32.0％）で最も高く、70歳代以上（21.7％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Fが（32.5％）で最も高く、地区E（22.6％）で最も低くなっています。

表 【安心で快適な暮らしを守る】④災害対応力の強化【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	2	4	22	48	24
	(100.0)	(2.0)	(4.0)	(22.0)	(48.0)	(24.0)
30歳代	189	3	6	49	72	54
	(100.0)	(1.6)	(3.2)	(25.9)	(38.1)	(28.6)
40歳代	259	3	11	66	92	83
	(100.0)	(1.2)	(4.2)	(25.5)	(35.5)	(32.0)
50歳代	203	2	4	65	82	49
	(100.0)	(1.0)	(2.0)	(32.0)	(40.4)	(24.1)
60歳代	346	5	21	89	129	89
	(100.0)	(1.4)	(6.1)	(25.7)	(37.3)	(25.7)
70歳代以上	446	10	27	107	149	97
	(100.0)	(2.2)	(6.1)	(24.0)	(33.4)	(21.7)
合計	1549	26	74	399	572	398
	(100.0)	(1.7)	(4.8)	(25.8)	(36.9)	(25.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【安心で快適な暮らしを守る】④災害対応力の強化【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	3	12	53	102	54
	(100.0)	(1.3)	(5.1)	(22.6)	(43.4)	(23.0)
地区B	257	4	14	66	88	68
	(100.0)	(1.6)	(5.4)	(25.7)	(34.2)	(26.5)
地区C	413	4	19	106	143	116
	(100.0)	(1.0)	(4.6)	(25.7)	(34.6)	(28.1)
地区D	370	7	16	97	150	90
	(100.0)	(1.9)	(4.3)	(26.2)	(40.5)	(24.3)
地区E	190	6	7	59	63	43
	(100.0)	(3.2)	(3.7)	(31.1)	(33.2)	(22.6)
地区F	77	2	4	17	25	25
	(100.0)	(2.6)	(5.2)	(22.1)	(32.5)	(32.5)
合計	1549	26	74	399	572	398
	(100.0)	(1.7)	(4.8)	(25.8)	(36.9)	(25.7)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(⑤防犯体制の充実)

「⑤防犯体制の充実」の優先度（５）の構成比を年代別にみると、30歳代が（32.3％）で最も高く、50歳代（21.2％）で最も低くなっています。

居住地区別にみると、地区Dが（29.7％）で最も高く、地区B（22.2％）で最も低くなっています。

表 【安心で快適な暮らしを守る】⑤防犯体制の充実【年代別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
20歳代以下	100	1	4	32	34	29
	(100.0)	(1.0)	(4.0)	(32.0)	(34.0)	(29.0)
30歳代	189	6	4	48	65	61
	(100.0)	(3.2)	(2.1)	(25.4)	(34.4)	(32.3)
40歳代	259	4	16	61	103	71
	(100.0)	(1.5)	(6.2)	(23.6)	(39.8)	(27.4)
50歳代	203	1	11	59	88	43
	(100.0)	(0.5)	(5.4)	(29.1)	(43.3)	(21.2)
60歳代	346	4	23	86	123	97
	(100.0)	(1.2)	(6.6)	(24.9)	(35.5)	(28.0)
70歳代以上	446	14	23	115	136	106
	(100.0)	(3.1)	(5.2)	(25.8)	(30.5)	(23.8)
合計	1549	31	82	401	549	410
	(100.0)	(2.0)	(5.3)	(25.9)	(35.4)	(26.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

表 【安心で快適な暮らしを守る】⑤防犯体制の充実【居住地区別】

	合計	優先度が低い 1	2	3	4	優先度が高い 5
地区A	235	5	10	66	82	60
	(100.0)	(2.1)	(4.3)	(28.1)	(34.9)	(25.5)
地区B	257	4	9	67	104	57
	(100.0)	(1.6)	(3.5)	(26.1)	(40.5)	(22.2)
地区C	413	5	26	113	132	113
	(100.0)	(1.2)	(6.3)	(27.4)	(32.0)	(27.4)
地区D	370	9	22	87	133	110
	(100.0)	(2.4)	(5.9)	(23.5)	(35.9)	(29.7)
地区E	190	5	11	50	70	45
	(100.0)	(2.6)	(5.8)	(26.3)	(36.8)	(23.7)
地区F	77	3	3	17	27	22
	(100.0)	(3.9)	(3.9)	(22.1)	(35.1)	(28.6)
合計	1549	31	82	401	549	410
	(100.0)	(2.0)	(5.3)	(25.9)	(35.4)	(26.5)

※上段：実数（人）、下段：構成比（％）

(3) 四街道市の魅力について

問7 本市に人を呼び込むには、本市が持つ魅力を最大限に活用・発信し、認知度を高めることが重要です。このような取組を行う際、本市がPRすべきものは何であるとお考えですか。次の項目ごとにその内容を記載してください。

【四街道市の誇り・宝物（シンボル）】

「自然環境」が最も多い。

【四街道市の誇り・宝物（シンボル）】としてPRすべきものは、「自然環境」（146件）が最も多く、次いで「水がおいしい」（38件）、「災害に強い」（36件）、「住環境の良さ」（32件）などが多くなっています。

表 四街道市の誇り・宝物（シンボル）の件数

n=813

四街道の誇り・宝物(シンボル)	件数
1 自然環境	146
2 水がおいしい	38
3 災害に強い	36
4 住環境の良さ	32
5 里山	28
6 ガス灯	27
7 お祭り	23
8 公園	22
9 立地の良さ	22
10 交通の便が良い	22

お祭り	和良比はだか祭り（16）、ふるさと祭り、産業まつり（3）
公園	中央公園（9）、総合公園（5）、運動公園（2）、吉岡運動公園（2）

【来訪者を案内したい市内の場所・イベント】

「お祭り」が最も多い。

【来訪者を案内したい市内の場所・イベント】としてPRすべきものは、「お祭り」(317件)が最も多く、次いで「四街道総合公園等の公園」(104件)、「四街道ガス灯ロードレース大会」(85件)などが多くなっています。

表 来訪者を案内したい市内の場所・イベントの件数

n=856

来訪者を案内したい市内の場所・イベント	件数
1 お祭り	317
2 四街道総合公園等の公園	104
3 四街道ガス灯ロードレース大会	85
4 花火大会	21
5 里山	19
6 桜	16
7 ガス灯通り	14
8 四街道文化センター(イベント含む)	13
9 イトーヨーカドー	11
9 神社・寺院	11

お祭り	ふるさとまつり (122)、和良比はだか祭り (82)、産業まつり (56)、公民館まつり、社協まつり、みそら祭り、盆踊り、ソーラン祭り、千代田鯉のぼり祭り (2)
四街道総合公園等の公園	四街道総合公園 (41)、四街道中央公園 (20)、美しが丘近隣公園 (2)、物井さとくらし公園、鷹の台公園 (1)
桜	福星寺 (11)

【四街道市のお土産として推奨したいもの】

「梨」が最も多い。

【四街道市のお土産として推奨したいもの】としてPRすべきものは、「梨」(187件)が最も多く、次いで「ピーナッツ」(137件)、「野菜」(38件)、「和菓子」(35件)などが多くなっています。

表 四街道市のお土産として推奨したいものの件数

n=789

四街道市のお土産として推奨したいもの	件数
1 梨	187
2 ピーナッツ	137
3 野菜	38
4 和菓子	35
5 いちご	22
6 よつぼくんのグッズ	20
7 農産物	19
8 パン	18
9 洋菓子	16
10 果物	11

和菓子	舟いち (15)、福島製菓店 (11)、芋羊羹 (1)
パン	ティンカーベル、四街道あんぱん (3)、鹿放パン、ボースィエル (2)、ハースブラウン (プレミアムあんぱん)、harupanハルパン (1)
洋菓子	ディジョン (5)、よつたまプリン (4)、ポヌール洋菓子店 (2)、四つグルメのクッキー (1)

(4) 四街道市をもっと魅力的にするモノ・コトについて

問8 本市をもっと魅力的にするモノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）は何であるとご考えですか。その内容を記載してください。

「文化施設」が最も多い。

【本市をもっと魅力的にするモノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）】は、「文化施設」（65件）が最も多く、次いで「子育て支援」（56件）、「総合商業施設」（47件）、「娯楽施設」（45件）などが多くなっています。

表 モノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）の件数

n=751

もっと魅力的にするモノ・コト		件数
1	文化施設	65
2	子育て支援	56
3	総合商業施設	47
4	娯楽施設	45
5	交通の利便性	40
6	市政	38
7	四街道ならではのもの（開発含む）	37
8	福祉	36
9	イベント、行事	35
10	駅前・中の開発	32

文化施設	図書館（21）、美術館（5）、文化財展示館、市民ギャラリー、出土器を収納する施設、文化センター（2）、3～500席のホール、絵画館（1）
総合商業施設	大型ショッピングモール（18）、イオン（9）、アウトレットモール（2）、飲食、物販等の有名店（3）
娯楽施設	映画館（19）、温泉・銭湯（6）、自然を生かしたレジャー施設（3）、植物園・動物園（1）
四街道ならではのもの	ゆるキャラ（5）、めずらしい施設やもの、よつぼくん（3）、野菜・果物を使用したお菓子（2）、新しい住宅地の開発、ご当地グルメ、桜並木、体験施設、農産物を生かした商品、ご当地ナンバー、梨マラソンの開催、シンボルタワー、ガス灯のキャラクター（1）
イベント・行事	スポーツイベント（5）、イベントのPR、伝統行事、若者が興味を持つイベント（2）

6. 自由意見

自由記述には803人から市政の各分野に関するさまざまな意見が寄せられました。分野別意見は下表のとおり延べ1,018件となりました。なお、分野別にその代表的な意見を掲載していますが、主旨を尊重しながら表現をまとめるとともに、誤字などを訂正しました。

表 自由意見の件数

	意見内容	件数		意見内容	件数
1	子ども家庭支援	39	14	循環型社会	10
2	高齢者支援	49	15	住環境	50
3	障害者支援	8	16	生活基盤	9
4	地域福祉	6	17	道路・交通	223
5	健康づくり	20	18	市街地形成	38
6	社会保障	2	19	産業・就業支援	88
7	防災・減災	11	20	みんなで地域づくり	26
8	消防・救急	5	21	シティセールス	127
9	防犯・交通安全・消費者保護	29	22	行財政運営	112
10	子ども教育	23	23	共生社会	8
11	生涯学習	13	24	アンケートについて	11
12	文化、スポーツ	37	25	その他	31
13	環境保全	43		合計	1,018

1. 子ども家庭支援（39件）

キッズスペースやイベントを増やす。時間貸できるような部屋を作る（自由に遊んだり、ママ会ができたりするような場所）。(女性、30歳代)

子供の医療費助成制度はとてもありがたいです。市外は負担額があるところが多く、四街道市は中三まで無料で利用することができ、助かっています。このまま続けて下さい。(女性、40歳代)

子育て世代が安心して住める街にするために、保育施設の充実、子育て支援事業等に力を入れて欲しい。(女性、50歳代)

保育園等の充実。(男性、70歳代以上)

子育てで日本一を目指している市長ですので、子育てのため予算を節約しないでほしい。将来若い人が住んで子育てしやすい市にして欲しい。(男性、60歳代)

2. 高齢者支援（49件）

高齢者について。いろんな場所で老化防止の運動等が行われているが、通える人は元気な人で、通えない人も大勢いると思う。テレビのない家はないので、ケーブルテレビ等を利用して、誰でもできる（簡単な）体操や予防ケアについての情報を毎日流す。共働きや子供がいても、老老介護でも、安心して任せることのできる施設や訪問医療の充実。(女性、60歳代)

近頃、高齢者の交通事故が多くなり、運転免許などを返還したら、今はまだ体が動くけどもっと年齢を重ねた時に、買物や病院へ行くのに苦勞するかと思うと先が心配。テレビで見たような、ものすごい田舎に車でお店のように商品を積んで、庭先まで来てくれるサービスがあると、年を取った時に便利だなあと思う。(男性、60歳代)

介護サービスなど、高齢者へのサービス充実(男性、70歳代以上)

四街道市も昔に比べて高齢者の方が増えて来ました。60～70代の方々は、30～40代の方々よりもはつらつとしていらっしやるように見える（そう心掛けていらっしやるのだと思いますが）ので、才能やパワーをもっと表に出して（ただし無理のないように）、四街道市を元気にしてもらいたいです。(女性、40歳代)

3. 障害者支援（8件）

福祉や特別支援教育について、もっと市民の方が理解、活用できるようになると良いと思います。先生方がもっと交流したり、研修し合ったりできると良いと思います。（女性、50歳代）

四街道は福祉に力を入れている割に中途半端。障害者にやさしい街づくりをすること、街の顔である駅前を綺麗に、障害者も通りやすい段差の少ない綺麗な道路を整備して欲しい。（女性、70歳代以上）

盲学校の人たちへもっと配慮して欲しい（点字を増やすなど）。（女性、20歳代以下）

4. 地域福祉（6件）

動ける人、働ける人、生き生きとしている人向けばかりに目が向いていませんか。多くの老人、病人、弱者はひたすら静かに日々を過ごすことができるだけで精一杯です。四街道市にこだわらず、隣接の佐倉市、千葉市と合流して、大きな地域の多彩なシステムを共有する道もあると思っています。（女性、70歳代以上）

老人も子供の障害を持つ方も、生き生きと過ごせる町にするためであれば、日々頑張っって働きたい。発言力のある人のためだけでなく、幅広い、様々な人の生き方をサポートしてくれる市であって欲しい。（女性、40歳代）

福祉の充実（男性、50歳代）

5. 健康づくり（20件）

いじめや社会人のストレスなど、気軽に相談やカウンセリングが受けられるサービスがあると良いと思う。（女性、30歳代）

医療施設、介護施設の充実。下志津病院をはじめ、諸々の施設と市の連携によるサービスの向上を図る施策を考えて欲しい。千葉市などの隣接市を有効活用して、有名大学の誘致も視野に入れてはいかがか。（男性、50歳代）

市のがん検診を個別受診する時に、千葉市の医療機関でも受けられるようにして欲しい。鷹の台には病院が少ない。特に婦人科。（男性、40歳代）

市立（市民）の総合病院の設置（男性、70歳代以上）

6. 社会保障（2件）

健康保険証ですが、あまりに薄くてなくしそうなので、せめてお店のポイントカードくらいの厚みのあるものにならないのかと思います。（女性、60歳代）

7. 防災・減災（11件）

災害の少ない市。子供も年寄りも安心して暮らせる市だと思っています。（女性、70歳代以上）

防災については心配が多くあります。基本的な生活に安心の持てる市政が、市からの市民の流出を止めるのではないかと思います。子供達が四街道に住みたいと思う市政を期待します（戻って来るも含むです）。（女性、40歳代）

各地域で防災イベント（訓練）としての炊き出し兼バーベキューなどを行うことは、ご近所との交流を図ることができて良いイベントだと思う。本当に災害が起きてからでは混乱することは目に見えているので、炊き出し訓練を行う地域には、市が助成金を出すようにすれば、四街道市の防災意識も高くなるのではないのでしょうか？是非ご検討を！（男性、50歳代）

8. 消防・救急（5件）

救急病院の充実が必要です。倒れた時、指定された病院で良い病院がありません。（男性、20歳代以下）

駅の近くにある消防署は駅に近い利便性を消防署以外の施設として使った方が良いと思う。（女性、30歳代）

9. 防犯・交通安全・消費者保護（29件）

市内の街灯をLEDに変えて頂いたのは大変良いことで感謝します。（男性、70歳代以上）

防犯カメラを増やし、安全な暮らしができるようにして欲しい。（男性、30歳代）

暗い場所の街灯を増やす、防犯カメラの設置など、防犯対策を住宅街にもお願いします。（女性、30歳代）

自転車のマナーの悪さが目立つので注意して欲しい。（女性、20歳代以下）

お年寄りや子供達が安心、安全に暮らせるまちづくりをして欲しい。市の放送が聞き取りにくく、ほとんどわからない。歩道の段差は車椅子等の方が通りやすくなれば良いのと思う。夜の駅近く、塾通いの子供達が多いのに、

客引きらしきグループが歩道に立っている。大人でも怖いと感じる。(女性、60歳代)

10. 子ども教育 (23件)

子供達が安心して学校へ通学できるように、安全な通学コースの整備をして欲しい。また小学校の教員の異動が多いので、もっと定着させて欲しい。(女性、40歳代)

ハコモノを嫌う会派がありますが、必要なものは必要です。将来、子供達の学習意欲が湧き、コミュニケーション豊かな場所が必要だと思います。少なすぎる。(男性、60歳代)

教育費の無料など、子育て日本一の街目指してもっと子育て世代への支援をして欲しい。(男性、40歳代)

11. 生涯学習 (13件)

地域の情報拠点として、市立図書館の充実を力を入れるべきである。四街道市のまちづくりの考える素材を市民自らが考え、ともに見つけていくための資料、情報を調べる人的サービスには優れた司書が大切。子供の読書活動の推進や子育て支援、健康、医療情報支援など子育てしやすい魅力ある市のために果たす役割、機能は大きいと考えます。(男性、50歳代)

公民館、図書館の充実。(女性、60歳代)

12. 文化、スポーツ (37件)

市民の文化、芸術、教養を高め、意欲を引き出し、集い、憩いの場となる場所である文化ホール、図書館を近代化かつ最新技術の建物に新築して欲しい。四街道の顔となるような！！(女性、60歳代)

みんなが集まれる場所が街の中心にあるといいなと思います。ジムや文化的なものなど、文化センターをもう少し綺麗に建て直してもいいのでは。高齢者の人がくつろげる、健康センター等。市民の意見でイベントを考えてもいいのではないかと思います。(女性、30歳代)

市内で料金が安く、使い勝手が良いスポーツジムなどを整備して欲しい！（リハビリ含む）。(男性、70歳代以上)

自然の中でキャンプができれば利用したい（お酒持ち込み可。コテージなどあり。海上のキャンプ場のようなところ）。(男性、20歳代以下)

13. 環境保全 (43件)

飛行機の騒音、むく鳥の鳴き声。最近、侵入や盗難が多く不安なので、安心しておだやかに毎日過ごせたらいいなと思っています。(女性、40歳代)

豊かな自然が残っているところが大好きです。これからも残して欲しいです。(女性、20歳代以下)

公園周りの散歩道には犬のフンがあるが、処理もしないで散歩している人が多い。駅までの道も同じように、飼い主がそのままにしている人が見られる。高齢者も含め、社会貢献するような地域社会をつくるべきと考える。社会的にマナーが悪い人が目立つ（全世代で）(男性、50歳代)

新69号浜野道路ができれば、吉岡は不法投棄でゴミだらけに、町が汚いと住みにくいと思います。中心部だけではなく、市全体に行き届く市政・・・をお願いします。(男性、30歳代)

駅前の桜並木伐採、四小の校舎裏の古木伐採は残念でした。事前告知があれば、まだよかったです。(男性、30歳代)

14. 循環型社会 (10件)

ゴミの各戸収は現在一定の条件で行われているが、全戸各戸収集はかなりの予算がかかるのでしょうか。実現を期待しています。(男性、70歳代以上)

中央公園に新しいトイレができていました。産業まつり時、気持ちよく使用させて頂きました。ありがとうございます。娘や孫たちと一緒に産業まつりを楽しみました。(女性、60歳代)

15. 住環境 (50件)

空き店舗、空き家が目立つ。空き家等は家主との話し合い等で、市で借り上げ、住人を入れるようにしたら良いと思う。(女性、60歳代)

駅前や通りの花壇が季節ごとに変わり、とてもきれいで好きです。これからも続けて下さい。(女性、30歳代)

住宅地が増え、緑地が減少しているように思います。公園面積を増やしたり（四街道総合公園も）、サイクリングロードや、長い散策路があってもいい。（男性、50歳代）

16. 生活基盤（9件）

雨が降ると水がたまり、通行できなくなるので、何とかして欲しいと思います。（女性、60歳代）

下水がないため、浄化槽が必要であり、メンテが大変である。ガスもプロパンのため、冬のガス代が高く、負担が多い。（男性、30歳代）

よく冠水をするのですが、早急な対応、消防車のポンプで水上げしてくださるのでありがたいと思っています。（女性、40歳代）

17. 道路・交通（223件）

交通の利便性を大きく害している市街地中心部の道路の混雑の解消。国道51号線へのアクセスの悪さ。（男性、40歳代）

四街道市は佐倉市や千葉市への抜け道として利用される道路が多く、その多数は細く、また住宅街の中を通り、危険な道です。市の施設へ向かう道では、車道、歩道ともに狭く、また歩道はデコボコで、小中高の学生が自転車で通行する際危険です。古い町、古い道。少しずつでも安全な道に工事をして欲しいです。（女性、40歳代）

ロータリーは朝、晩共、バス、送迎の車、タクシーと混雑しており大変です。何とかなると良いと思っています。（女性、60歳代）

JRはバスの最終が早いので、そこが改善されるともっと都内などで働く人が四街道に住もう、家を買おうと思おうと思います。（女性、40歳代）

公共バスの本数を増やすか、電車（物井、四街道）の時間帯に合わせた運行を実施して欲しい。バス会社がダメな場合は市が補完する形で循環バスか、バス会社と協議して改善を図って頂きたい（車のない人、および運転できない人は生活できない）（男性、60歳代）

交通の便がJRしかないので不便です。日中の電車の数が少ないです。終電ももっと遅い時間でも良いと思う。踏切があるために渋滞が頻繁に起こる。市内の内側だけの整備ではなく、内から外へ出るための道路を整備して欲しい。（女性、50歳代）

18. 市街地形成（38件）

市街化調整区域の開発抑制と市街化区域の都市基盤の効率化。（男性、30歳代）

やはり四街道の入口となる駅周辺を開発することが一番の課題だと思います。（女性、40歳代）

四街道駅南口が閑散としていて、駅前とは思えない店の少なさ。南口方面は新しい住宅、販売中の宅地も多いので、魅力的にすることで定住者は増加すると思う。（男性、40歳代）

四街道は交通機関がJRしかなく、四街道駅を利用する人が多いと思います。乗用車での駅への送迎が多い割には駅前バス・タクシーが中心で、送迎車は安心して乗り降りができない状態だと思います。駅前整備の計画を耳にしたりしますが、多額な費用がかかると思うので、みんなが安全で使いやすい駅前になるように検討して頂きたい。（女性、50歳代）

19. 産業・就業支援（88件）

難しいところですが、子供が気軽にに行ける遊び場や、映画館を作って欲しいです。ヨーカドーだけでなく、イオン、ベイシアなども作って町の活性化に取り組んで欲しいと思います。（女性、40歳代）

積極的な企業誘致、商業の一点集中化、飲食店街の形成と繁栄。（男性、70歳代以上）

市内に雇用を作ることが最も必要であり重要。雇用さえあれば人口増につながり、市内の商業なども活性化し、税収増を生み出す。職住近接を念頭に政策を進めて頂きたい。財源がないのに「何が欲しいか」と尋ねても実現不可能でしょう。「働く場所を作る」これだけやれば、人口はどんどん増え、相乗効果であらゆる政策の充実を図ることができます。（男性、60歳代）

高齢化に向かう農業等について対策が必要。若い力を育てるような対策を望みます。（女性、70歳代以上）

20. みんなで地域づくり（26件）

地区の困りごとを、組長→区長→市に要望すると早く対処して頂いていますので助かります（U字溝直し、電灯設置）。（女性、50歳代）

四街道ふるさと祭り時、同時に地方に取り残されている郷土芸能の亀崎囃子、栗山囃子（その他）を競演。花火の打ち上げ……。老若男女、子が集い楽しめるイベント作りへの一考を……。 （男性、70歳代以上）

きめ細かく市民の要望を聞くチャンスを増やし、市民の要望、現在困っていることを吸い上げて欲しい。市民ファーストの精神で。(女性、70歳代以上)

21. シティセールス (127件)

まだ四街道は田舎市の印象が強いので、若い人がわざわざ足を運んで他所から訪れるようなモダンさのある商店があれば、だんだん住んでみたい市につながるのではないかと。そして生きるための水が買わなくても良いように魅力のある特色が続くようになれば、都会からもっと人口が流れて来るようになると思う。(女性、70歳代以上)

人口減少を阻止する対策として、新たな企業誘致をはかり、地元雇用をはかることが肝要と思慮されます。(男性、50歳代)

子供達が帰って来なくなるまちづくりがもっと必要と感じる。企業(できれば大きい)を誘致し、市民の就職を地元でできるようにし、減少を防ぐ。(男性、60歳代)

花いっぱい美しい街。空き家を若い人たちに安く提供するシステムを作る。子供は社会の財産だと認めて、みんなで暖かく育てていく。(女性、60歳代)

子育て世代の新規転入と転出防止のため、支援と設備の整備をして欲しい。(男性、30歳代)

四街道の住民は近隣と比べ、均質的な点が長所だと思う。誇りとなるモノ・コトは特にない。そこを無理して追い求めるより、住みやすさ、そのための教育、福祉、環境の充実を図るべき。必要な財源確保には千葉市に隣接、空港への中間、東関東という立地を活かした企業誘致などの産業振興と思う。(男性、40歳代)

イベント等で人を呼ぶのではなく、ベッドタウンとして暮らしやすい町だとPRすべきだと思う(そもそも観光地ではないと思います)。若い世帯がたくさん住んでもらえよう、子育てや教育、医療(小児科など)に力を入れて欲しい。また防災にも力を入れて欲しい。(女性、30歳代)

22. 行財政運営 (112件)

市役所の窓口がわかりやすく、明るい感じでとても良い。コンシェルジュがいるところが相談しやすくとても良いのでずっと続けて下さい。(女性、40歳代)

意見や要望を求めることも大事ではありますが、それ以前に市政に興味を持って頂く為に、なにをどうしたら興味を持って頂けるか考えた方が良いのではと思います。人は目につくことから意識が高まっていくと思います。(男性、60歳代)

駅にある市政窓口でも住民票記載事項証明ができるようにして欲しい。(女性、20歳代以下)

大きな資金を要する施設や事業を計画する時は、市民の理解を得られるようなやり方、スタイルを確立すべきと思う。これが四街道市の自慢できる市政となれば良いと思う。(男性、70歳代以上)

税金を適正に使用して欲しい。四街道市の財務状況が豊かになれば、住民も帰って来ると思う。30代子持ちの家庭で何が不安かと言うと、将来自分たちが年金で生活できるのか？子供達も不便を感じず生活できるのか？ということです。県や国と連携して、身近な市が私達の味方になって、将来を保障して欲しい。(女性、30歳代)

23. 共生社会 (8件)

女性の働きやすい環境づくり。(男性、60歳代)

外国人市民との交流機会の増加(男性、50歳代)

英語を使って英会話の町にする。姉妹都市であるリバモアともっと交流する。(男性、30歳代)

市役所の職員さんにはいつも丁寧に接して頂いております。問4のところで「外国人が地域で暮らせる環境づくり」とありましたが、自然な移住は良いのですが、外国の人よりまず日本人が住みやすい環境を優先して頂きたいです。生活習慣も異なり、安易に誘招すると、住民同士のトラブルが増えそうで心配です。(女性、30歳代)

24. アンケートについて (11件)

30年以上四街道市に住んでいますが、上記のアンケートの答えが全く出て来ませんでした。何か「コレ！」というものが四街道市に出来れば良いと思います。自分には全く思いつきません。(男性、30歳代)

今回のアンケートは設問があまりにも多すぎ、回答が大変でした。もう少し少なくし、さらにわかりやすい表現にして下さい。(男性、60歳代)

このアンケートは複雑すぎて、回答が大変でした。自分自身もあまり四街道市のことがわかっていないと感じました。よつぼくんも今日初めて知りました。知名度が低いと思います。(男性、20歳代以下)

25. その他 (31件)

私は四街道に住んで65年になります。来たときはびっくりしました。でも駅の周辺に住んだので、生活するのはすごく便利で良いところだと思ったのですが、65年移り変わって町全体がさびれてしまったことは非常にさみしく思います。買物も年老いてすごく不便になり、ちょっと休もうとしても喫茶店もありません。移り行く時代を見守っています。(女性、70歳代以上)

同市に移住して、まだ年数が浅いので、何も言えませんが、都会でもなく、田舎でもなく住み良い街だと思っています。(女性、70歳代以上)

他県から引っ越して来ましたが、いまちいい所がわかりません。四街道はココがいいという所があればいいのですが・・・。(女性、40歳代)

地元の皆さんが安心して住める四街道にしたいものです。(男性、70歳代以上)

特にないです。今のままで良いと思う。良くもなく、悪くもなく、普通がいいです。(男性、40歳代)

Ⅲ. アンケート票サンプル

四街道市市民意識調査

—後期基本計画の策定に向けて—

日ごろより、市政にご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、四街道市では、社会的潮流の変化に対応した新たなまちづくりを進め、より多くの方々から、住み続けたい、住んでみたいと思っただけの四街道、次世代に誇りと自信を持って継承できる四街道の確立に向け、市の計画行政の中心的な役割を担う計画として、平成31年度を開始年度とする総合計画（後期基本計画）策定の準備を進めています。

今回のアンケート調査は、その一環として、市民の皆様に住み良さのほか、四街道市のまちづくりに対する満足度や今後の重要度などについてご意見をお伺いし、後期基本計画策定の参考とさせていただくことを目的とするものです。

アンケート調査の実施にあたり、市内にお住まいの18歳以上の方、3,000人を無作為に抽出しましたところ、あなたを対象とさせていただくことになりました。

このアンケートは、無記名ですべて統計的に処理いたしますので、お答えをいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

四街道市長 佐渡 斉

◆記入にあたってのお願い

- お答えは、この調査（封筒）のあて名の方ご本人がご記入ください。
- お答えは、このアンケート調査票に直接ご記入ください。
- 黒のボールペンまたはHBより濃い鉛筆でご記入ください。
- お答えの中で「その他」を選択した場合、その内容をカッコ内に具体的にご記入ください。
- アンケート調査票は、無記名式ですので、住所・氏名の記入は一切必要ありません。

◆返送期限に関するお願い

- ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

11月28日（月）までに

郵便ポストへ投函してください。（※切手を貼る必要はありません。）



<本調査に関する問い合わせ先>

四街道市役所 経営企画部 政策推進課 担当：企画調整グループ

ドラマチック四街道プロジェクト
ナビゲーター よつぼくん

TEL：043-421-6161 FAX：043-424-8920

1. はじめにあなたご自身のことについておうかがいします

※統計処理をおこなうために必要な情報ですので、全員の方がお答えください。(平成 28 年 11 月 1 日現在)

F1 あなたの性別を次のうちどちらかを選んで○をつけてください。

1. 男性

2. 女性

F2 あなたの年齢を次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 20歳代以下

3. 40歳代

5. 60歳代

2. 30歳代

4. 50歳代

6. 70歳代以上

F3 あなたのお住まいの地域を次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 亀崎

12. 鹿渡

23. つくし座

2. 物井

13. 和良比

24. さつきヶ丘

3. 長岡

14. 山梨

25. さちが丘

4. 栗山

15. 吉岡

26. 美しが丘

5. 内黒田

16. 小名木

27. めいわ

6. 萱橋

17. 成山・中台・中野

28. 池花

7. 下志津新田

18. 南波佐間・上野・和田

29. 鷹の台

8. 四街道

19. みのり町

30. もねの里

9. 大日(緑ヶ丘、桜ヶ丘)

20. 千代田

31. 中央

10. 大日(9. 以外)

21. 旭ヶ丘

11. 鹿放ヶ丘

22. みそら

F4 あなたのご家族の構成について次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし

3. 2世代世帯(親と子)

5. その他の世帯

2. 1世代世帯(夫婦だけ)

4. 3世代世帯

F5 あなたを含め、現在、同居されているご家族について、次の中からあてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 小学校入学前の子どもがいる

4. 65歳以上の家族がいる

2. 小・中学生の子どもがいる

5. その他()

3. 介護を必要とする家族がいる

6. 独身

問2 あなたは、これからも四街道市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. ずっと住み続けたい	4. できれば移転したい
2. 当分は住んでいたい	5. すぐに移転したい
3. どちらともいえない	

問2-2へ

問2-1 問2で「1」または「2」を選ばれた方におうかがいします。お答えの理由について、次の中からあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 日常生活（買い物等）に便利だから	8. 教育、文化の程度がよいから
2. 医療や福祉面で安心だから	9. 仕事や商売の関係で
3. 通勤、通学に便利だから	10. 近所との人間関係が良好だから
4. 自然環境に恵まれているから	11. 現在住む家に満足しているから
5. 騒音、大気汚染などの公害が少ないから	12. 生まれ育ったところだから
6. 災害や交通事故などが少なく安全だから	13. 永年住み慣れ、愛着があるから
7. 公共施設が整っているから	14. その他（ ）

問2-2 問2で「4」または「5」を選ばれた方におうかがいします。お答えの理由について、次の中からあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 日常生活（買い物等）に不便だから	8. 教育、文化の程度がよくないから
2. 医療や福祉面で不安だから	9. 仕事や商売の関係で
3. 通勤、通学に不便だから	10. 近所との人間関係がうまくいかないから
4. 自然環境が悪いから	11. 現在住む家に不満があるから
5. 騒音、大気汚染などの公害が多いから	12. 生まれ育ったところではないから
6. 災害や交通事故などが不安だから	13. 将来は故郷に帰りたいから
7. 公共施設が整っていないから	14. その他（ ）

問3 あなたは、四街道市を好きと感じていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

1. 好きと感じている	4. やや嫌いと感じている
2. まあ好きと感じている	5. 嫌いと感じている
3. どちらともいえない	

3. 日常生活の活動についておうかがいします

問3 あなたは、日常生活における次の活動について、主にどの市町村を利用していますか。それぞれの活動について、最もよくあてはまる市町村を1つずつ選んで○をつけてください。

項 目	四街道市内	四街道市外					
		千葉市	佐倉市	成田市	八千代市	その他 県内	県外
1. 通勤・通学（幼稚園・保育園などへの送迎も含む）							
2. 食料品の買い物							
3. 衣料品の買い物							
4. 家電製品・家具などの買い物							
5. 芸術鑑賞・映画鑑賞など							
6. スポーツ・サークル活動など							
7. 病院への通院・福祉施設への通所など							

4. 四街道市のまちづくりについておうかがいします

問4 あなたは、次の項目（1～23）について、どの程度満足されていますか。また、今後どのくらい重要だと思えますか。「現在の満足度」については、日ごろの印象や日常生活から、「これからの重要度」については、市全体のことをお考えいただきながら、あなたご自身のお考えに最もよくあてはまる「現在の満足度」と「これからの重要度」をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

記入例

	現在の満足度					これからの重要度				
	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	重要	まあ重要	普通	あまり重要ではない	重要でない
あなたがお考えの「現在の満足度」と「これからの重要度」にそれぞれ <u>1つずつ</u> ○を記載してください。										
1. 子ども家庭支援 ○○○、○○○○、		○				○				

項 目	現在の満足度				これからの重要度					
	満 足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不 満	重 要	まあ重要	普 通	あまり重要ではない	重要でない
1. 子ども家庭支援 保育内容の充実や施設の整備、子どもたちが成長できる環境づくり ひとり親家庭等の生活安定の取組み										
2. 高齢者支援 高齢者やその家庭の状況にあわせた福祉サービスの提供といきがいづくり 地域包括ケア体制の整備充実										
3. 障害者支援 障害の特性に合わせた生活支援の充実 障害児の集団生活への適応訓練や障害者の就労支援等の充実										
4. 地域福祉 障害の有無や年齢の相違にかかわらず安心して生活できる協力的な社会の構築										
5. 健康づくり 健康は自分で守る考え方の普及と年齢層に合わせた健康づくり活動の促進 広域的な医療連携体制の充実										
6. 社会保障 社会保障制度の周知・啓発と適正な運用・運営										
7. 防災・減災 防災・危機管理体制の強化と、事業者を含めた地域と連携した防災対策の推進 公共施設耐震化と避難所の防災機能の強化										
8. 消防・救急 市民の生命と財産を守るための消防・救急体制の強化										
9. 防犯・交通安全・消費者保護 関係機関や地域の住民等と協力・連携した安全・防犯対策の実施 消費生活センターの相談機能の充実										
10. 子ども教育 幼児・義務教育の教育内容の充実と教育環境の整備、家庭・地域・学校の連携 青少年健全育成の推進										
11. 生涯学習 市民の生涯にわたる主体的な学習活動の幅広い支援 社会教育施設の整備と学習機会の提供										
12. 文化、スポーツ 文化に触れる機会の充実と活動の場の確保 スポーツ・レクリエーション環境の整備										

項 目	現在の満足度					これからの重要度				
	満 足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不 満	重 要	まあ重要	普 通	あまり重要ではない	重要でない
13. 環境保全 総合的かつ計画的な環境行政の推進 優良な自然環境の保全と環境美化活動 や公害防止対策、環境衛生対策の推進										
14. 循環型社会 省資源・省エネルギーの実践や3Rの取 組みの推進 ごみに対する意識の高揚と適正処理										
15. 住環境 公園整備や緑地、里山、谷津田等の保全 総合的な住宅施策の推進と良好な住環 境の形成										
16. 生活基盤 河川、排水路、排水施設の整備 公共下水道の計画的整備と安全で安定 した水の供給										
17. 道路・交通 利便性を高める幹線道路、生活道路整備 道路のバリアフリー化や適切な維持管 理、バス路線の維持と便数の増加等										
18. 市街地形成 市街地における居住環境の向上や成台 中等の土地区画整理事業の支援 JR駅周辺の機能強化										
19. 産業・就業支援 空き店舗等の解消や地域イベント等に よる中心市街地の活性化、創業支援や中 小企業者支援、農林業の生産基盤の整備										
20. みんなで地域づくり 市民と行政が協力した地域課題の解決 や市民参加機会の拡充 コミュニティ活動や活動拠点整備支援										
21. シティセールス 交流人口や定住人口の増加のためのシ ティセールスの推進、市民も来訪者も楽 しめるイベント等の開催										
22. 行財政運営 継続的な行財政改革と計画的な行政運 営、市政に関する情報の公開 健全な財政運営の推進										
23. 共生社会 男女共同参画社会のための施策の推進 市民の国際理解を深め、外国人が地域 で暮らせる環境づくり										

5. 今後の人口減少を緩やかにする取組についておうかがいします

日本全体で人口減少が加速しています。このような中、国や地方が一体となって人口減少克服のための取組を進めています。

本市では、将来的な人口減少と人口構成の不均衡に対して取り組むべき施策として、「四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。市が進めるこれらの取組に関し、あなたのご意見を伺います。



総合戦略は、本市が目指すべき将来の方向として「四街道市への人の流れを創る」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「地域における安定した雇用を確保する」、「安心して快適な暮らしを守る」を基本目標として掲げています。

問5 あなたは、現在人口増加基調を維持している本市においても、将来人口は、平成52年（2040年）には、7.4万人（常住人口）（国立社会保障・人口問題研究所の将来推計）に減少していることが予測されている状況をご存じでしたか。次の中からあてはまるものを選んで○をつけてください。

1. 知っていた

2. 知らなかった

問6 本市が将来的な人口減少を緩やかにするために、また、この人口減少社会に的確に対応するために、優先して取り組むべきこととして、特に効果が高いと考えられるものについて、あなたが考える度合いを、項目ごとに、1から5の中から選んで○をつけてください。

項目	あなたの評価	優先して取り組む度合い				
		低い	←————→			高い
記入例		1	2	3	④	5
【四街道市への人の流れを創る】						
①市の認知度を高めるため、市の持つ魅力の情報発信等によるシティセールスの充実		1	2	3	4	5
②地域の絆を深め、住みやすい地域とするため、社会福祉協議会や市民自治組織等の地域活動の支援		1	2	3	4	5
③地域への愛着を高めるため、伝統文化の継承やイベント開催によるふるさと意識の醸成		1	2	3	4	5
④交流人口拡大のため、体験型農業等をはじめとする旅行商品の開発など、地域資源を活かした取組の推進		1	2	3	4	5

項目	あなたの評価	優先して取り組む度合い				
		低い	←————→			高い
【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】						
①未婚化・晩婚化の解消に向け、婚活事業への支援や若者の就業支援等による結婚支援の充実		1	2	3	4	5
②安心して子育てできるよう、保育園・保育サービスの拡充等による子育て環境の充実		1	2	3	4	5
③子どもたちの安全・安心な居場所を提供するため、地域の協力のもと、放課後子ども教室等の地域子育て支援の充実		1	2	3	4	5
④次代を担う四街道っ子を育むため、少人数学級、少人数指導等のきめ細かな指導や普通教室への空調設備整備等の快適で学習しやすい教育環境の充実		1	2	3	4	5
【地域における安定した雇用を確保する】						
①新たな雇用の創出に向け、中小企業者に対する支援や企業誘致、創業支援等などによる仕事の創出支援		1	2	3	4	5
②農業者等の所得向上に向け、農業者の経営安定化、6次産業化の推進、地産地消の推進等による都市農業の推進		1	2	3	4	5
③就職を希望する方への雇用情報の提供や関係機関と連携した各種セミナーの開催、高齢者の就業機会の確保や女性就労に関する講座などによる就労支援の推進		1	2	3	4	5
【安心で快適な暮らしを守る】						
①市民が安心して充実した生活が送れるよう、健康に関する知識の普及・啓発等による健康づくり活動の推進		1	2	3	4	5
②住み続けることへの魅力を高めるため、住宅の耐震化やリフォーム等の支援、道路等の社会資本の整備による質の高い住環境の推進		1	2	3	4	5
③将来にわたって必要な行政サービスを維持・提供していくため、事業内容の継続的な見直し、国・県による支援制度の積極的な活用、自治体間の連携強化などによる持続可能な行政運営		1	2	3	4	5
④災害等から、市民の生命、財産を守るため、地域防災計画の推進、防災倉庫の新設、防災備蓄品の充実等による災害対応力の強化		1	2	3	4	5
⑤市民の安心で快適な暮らしを守るため、防犯パトロールの実施や防犯カメラの適切な管理等による防犯体制の充実		1	2	3	4	5

※ 市は、将来人口が平成 52 年(2040 年)に 8.6 万人、平成 72 年(2060 年)に 7.8 万人を維持し、人口減少が緩やかとなるよう総合戦略に基づく取り組みを進めています。

なお、総合戦略につきましては、市ホームページ、市情報公開コーナーで公開しています。

問7 本市に人を呼び込むには、本市が持つ魅力を最大限に活用・発信し、認知度を高めることが重要です。このような取組を行う際、本市がPRすべきものは何であるとお考えですか。次の項目ごとにその内容を記載してください。

項 目	PRすべきもの
四街道市の誇り・宝物（シンボル）	
来訪者を案内したい市内の場所・イベント	
四街道市のお土産として推奨したいもの	

問8 本市をもっと魅力的にするモノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）は何であるとお考えですか。その内容を記載してください。

◆ おわりに、四街道市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。

お忙しいところ最後までご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

四街道市役所 経営企画部政策推進課

住 所：〒284-8555 千葉県四街道市鹿渡無番地

電 話：043-421-6161

F A X：043-424-8920

E-m a i l：yseisaku@city.yotsukaido.chiba.jp